取扱説明書

デジタルインテリジェントネットワーク　NYC-Giシリーズ

ボタン電話装置

技術基準適合認証品

◆本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店へお申しつけください。
◆この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外では使用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
◆本装置（オプション用品等も含む）の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、正常に機能しなかったことによる付随的な保証や、通話などの機会を逸したために発生した損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◆本製品の設置及び修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対おやめください。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

指定電話機	お客様の設定は、次の通りです。 □ ① 全ての電話機 □ ② □番と□番の電話機	【取付けされる方へ】 左記のいずれかに、 ☑印 及び 電話機番号 を記入し、 お客様へご説明ください。

NAKAYO

F-4638-6
916638A6

目　次

1．ご使用の前に…… 5

2．各部のなまえとはたらき…… 7

3．カレンダーの設定…… 8
（1）年、月、日、曜日の設定…… 8
（2）時計の調整…… 9

4．外線に電話をかけるとき…… 10
（1）送受器をとってかけるとき…… 10
（2）送受器をとらずにかけるとき（ワンタッチ外線自動発信）…… 11
（3）送受器をとるだけでかけるとき（オフフック自動発信）…… 13
（4）最後にかけた相手に再度かけ直すとき（リダイヤル）…… 14
（5）2～3回前の相手にかけ直すとき（サーチリダイヤル）…… 15
（6）相手が話し中のとき（スーパーリトライ）…… 16
（7）外線指定捕捉…… 17

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき…… 18
（1）短縮ダイヤルを登録するとき…… 18
（2）短縮ダイヤル発信…… 21
（3）短縮ダイヤルの相手先名称／着信時の相手先名称の登録方法…… 22
（4）短縮ダイヤル事業所番号変換…… 24
（5）短縮ダイヤル自動変換…… 27
（6）ワンタッチダイヤルでかけるとき…… 31
（7）ワンタッチダイヤルを登録するとき…… 32
（8）ワンタッチチェーンダイヤルでかけるとき…… 34

6．外線への特殊なかけかた…… 36
（1）相手の電話番号を確認した上で、外線発信するとき（プリセットダイヤル）…… 36
（2）外線発信予約をするとき（外線発信ウェイティング）…… 37
（3）LCR機能…… 39

7．外線からの着信に応答するとき…… 40
（1）外線からの電話を受けるとき（外線着信応答）…… 40
（2）送受器をとるだけで電話を受けるとき（オフフック自動応答）…… 41
（3）キャッチホンをご利用のとき…… 42
（4）外線自動応答メッセージ…… 43
（5）外線お待たせメッセージ…… 45
（6）ストレートラインDI…… 47
（7）留守モード…… 53

8．外線を保留するとき…… 54
（1）外線通話を一時保留するとき…… 54
（2）自己保留…… 55

9．外線を転送するとき…… 56
（1）外線からの電話を他の電話機へ転送するとき…… 56

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき…… 59
（1）転送電話機能…… 59
（2）リモート操作による転送先の変更…… 62
（3）手動転送…… 64

11．外線通話に割り込みたいとき…… 65
（1）他の人の通話に割り込みたいとき（外線割込通話）…… 65
（2）外線通話中に他の内線電話を加えて話しがしたいとき（外線アッドオン）…… 66
（3）外線通話中に他の外線の人と同時に話しがしたいとき（2外線アッドオン）…… 67

目　次

12．バーチャルライン方式の外線着信に応答するとき…… 69
（1）外線着信に応答するとき…… 69
（2）通話を保留するとき…… 70
（3）保留してある外線に応答するとき…… 72
（4）外線捕捉時の保留中 パーク ボタンを押したときの動作…… 73

13．外線通話の特殊な機能…… 74
（1）ダイレクトインライン（DIL）…… 74
（2）ダイレクトインダイヤル（DID）…… 75
（3）DI/DIDキャッチホン…… 76
（4）DI/ISDN着信拒否…… 77
（5）3者通話からの転送…… 78
（6）トーン切替…… 79
（7）外線通話モニタ（聴話）…… 80
（8）3分アラーム…… 81

14．ハンズフリーの使い方…… 82
（1）通話するとき…… 82
（2）外線を保留するとき…… 85
（3）ハンズフリー通話中に切り替えるとき…… 86

15．外線の更に便利な使い方…… 87
（1）リモコン…… 87
（2）ファックス使用中表示…… 89
（3）電話／ファックス自動切替…… 90
（4）テナント機能…… 91
（5）サービスクラス…… 92

16．夜間切替…… 93
（1）夜間切替 ボタンで切り替える場合…… 93
（2）タイマで切り替える場合…… 95
（3）リモート操作による夜間切替操作…… 97
（4）外付けのスイッチで切り替える場合…… 98

17．内線を個別に呼び出すとき…… 99
（1）送受器をとってかけるとき…… 99
（2）送受器をとらずにかけるとき…… 102
（3）リセットコール…… 103
（4）リセットコール割込通話…… 104
（5）内線代表…… 105
（6）内線キャンプオン…… 106

18．内線を一斉に呼び出すとき…… 107
（1）内線一斉呼出を行なうとき…… 107

19．内線を一斉に呼び出すとき（グループ呼出）…… 108
（1）グループ別に呼出すとき…… 108

20．内線からの呼び出しに応答するとき…… 109
（1）内線の着信に応答するとき…… 109
（2）外線通話中に内線着信があったとき…… 110
（3）内線ハンズフリー応答…… 111
（4）他の電話機の着信に代理応答するとき…… 112

21．内線通話を保留するとき…… 113
（1）内線通話を保留するとき…… 113
（2）内線保留に応答するとき…… 114

22．内線通話を転送するとき…… 115

23．内線で3者通話をするとき…… 116

目　次

24．ドアホンと通話するとき…… 117
（1）ドアホン着信に応答するとき…… 117

25．テレビドアホンと通話するとき…… 119
（1）ドアホン着信に応答するとき…… 119

26．更に便利な使い方…… 121
（1）コードレス＋ボタン電話機…… 121
（2）内線名称の登録方法…… 123
（3）不在転送（内線への転送）…… 125
（4）不在転送（外線への転送）…… 126
（5）着信拒否…… 127
（6）話中・応答遅延転送…… 128
（7）簡易不在転送…… 130
（8）不在表示…… 132
（9）なんでもワンタッチボタン…… 134
（10）センサー入力…… 136
（11）外部スピーカを使用するとき…… 137
（12）BGM…… 139
（13）VRUに録音したメッセージを聞かせる場合…… 140
（14）内線をワンタッチで呼び出すとき（DSS/BLF機能）…… 142
（15）イヤホンマイクの使い方…… 144

27．困ったときに販売店に連絡する方法…… 148
（1）相談サービス機能…… 148

28．割引料金適用日を登録するとき…… 149

29．通話料金に関する表示…… 151
（1）通話時間と通話料金の表示…… 151
（2）予算使用率…… 152

30．通話料金を集計するとき…… 154
（1）最後の通話料金のモニタ…… 154
（2）電話機毎の料金モニタ…… 155
（3）累計金額及び予算使用率のモニタ…… 156
（4）通話料金をクリア（精算）するとき…… 158

31．プログラマブルキーの登録方法…… 160
（1）自電話機への登録方法…… 160
（2）他電話機への登録方法…… 161
（3）機能番号と内容…… 163

32．停電用電話機の使い方…… 164

33．アナログインタフェース付電話機（TEL OA）の使い方…… 165

34．単独電話機の使い方…… 166
（1）外線にかけるとき…… 166
（2）外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき…… 167
（3）外線指定捕捉…… 169
（4）外線からの着信に応答するとき…… 170
（5）外線を保留するとき…… 171
（6）外線を転送するとき…… 172
（7）他の電話機の着信に代理応答するとき…… 173
（8）内線通話を保留するとき…… 174
（9）内線通話を転送するとき…… 176
（10）話中・応答遅延転送…… 177
（11）その他の操作について…… 178

目　次

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき…… 179
（1）外線から専用線を経由して電話をかけるとき「公ー専接続」…… 179
（2）専用線を経由して相手システムの外線を使って電話をかけるとき「専ー公接続」…… 181
（3）外線から主装置経由で別の外線を使って電話をかけるとき「公ー公接続」…… 183
（4）外線から専用線経由で相手システムの外線を使って電話をかけるとき「公ー専ー公接続」…… 185

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき…… 187
（1）通話明細記録を印字するとき「終話印字」…… 188
（2）累計金額を印字するとき「今回料金（累計金額）印字／前回料金（累計金額）印字」…… 190
（3）通話料金をクリア（精算）して印字するとき「累計金額のクリア（精算）印字」…… 192

37．プリペイド（P．P）システムを利用するとき…… 194

38．ID番号を使って外線に電話をかけるとき…… 196

39．多機能コンソールの使い方…… 198
（1）DSS/BLFとして使用するとき…… 198
（2）オートダイヤルとして使用するとき…… 202
（3）コンソールの記入紙への記入方法…… 204
（4）コンソールの角度調整方法…… 205

40．その他の機能…… 206
（1）内線通話中にプッシュ信号を送るとき「内線PBダイヤル送出」…… 206
（2）不在中に単独電話機にかかってきた電話を転送するとき「不在転送（外線への転送)」…… 207
（3）かけてきた人にかけ直すには（着信履歴）…… 208
（4）外線着信音を鳴らさずに相手番号を表示器に表示させる（鳴動音なし着信表示）…… 210
（5）保留に応答した後の相手番号の表示…… 210
（6）INSナンバー・ディスプレイ対応…… 211
（7）ISDNの＃ダイヤルスタート…… 211
（8）INSボイスワープ．INSボイスワープセレクト…… 212
（9）迷惑電話おことわりサービス…… 214
（10）INSナンバー・リクエスト…… 215
（11）国際通話料金管理機能の変更…… 216
（12）「i（アイ）・ナンバー」サービス対応…… 217
（13）ボイスメモ機能ー着信通知（ポケットベルを呼び出す場合）…… 218
（14）Viシリーズ電話機接続…… 219

41．示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法…… 220

42．短縮ダイヤルカードの取付方法…… 222

43．ボタン電話機の角度調整方法…… 225

44．停電のときのご注意及び操作…… 226

45．故障かな？と思ったら…　…… 226

46．アフターサービスについて…… 226

付録 Giシリーズ電話機の使い方順序早見表
（1）外線通話関係…… 付-1
（2）内線通話関係…… 付-2
（3）登録関係…… 付-3
（4）通話料金集計…… 付-5
（5）予算登録…… 付-5
（6）留守モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を
使って外部からコントロールする方法…… 付-6

1．ご使用の前に

このたびは、GIシリーズボタン電話装置をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」には、操作方法とあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。
また、この取扱説明書の文中で データ設定早見表No. の項目は取付け時にシステムデータの設定が必要な場合がありますので、販売店にご相談ください。尚、（ ）で記載されているものは、ご利用内容によっては設定が必要な場合があります。
指定電話機欄に○印がついている機能は指定電話機からのみ操作が可能な機能です。
また、 オプション の記載されている項目は、外線の種類などによっては、別売のオプション用品が必要な場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
プログラマブルキー の欄に記載のある機能は、お客様の操作で記載してあるプログラマブルキーの登録が必要です。
また、（ ）は機能番号を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

①主装置および電話機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
②AC100Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
③電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
④主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず主装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
⑤ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
⑥電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に修理をご依頼ください。
⑦テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
⑧主装置および電話機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
⑨ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
⑩主装置および電話機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
⑪主装置のカバーは外さないでください。感電の原因となります。また、お客様による主装置の取り外し、設置は絶対しないでください。けがや感電の原因となります。点検・調整・清掃・修理・移動は、販売店にご依頼ください。
⑫お客さまが用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ販売店に確認してください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となります。
⑬万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用できなくなった場合は、販売店にご連絡ください。お客さまによるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となります。
⑭電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に修理を依頼してください。
⑮主装置から異常音がしたり、主装置本体のカバーが極度に熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検を依頼してください。
⑯万一、主装置および電話機内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
⑰万一、主装置および電話機から煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
⑱万一、主装置を倒したり、主装置のカバーを破損した場合、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

①主装置および電話機を壁掛用に取り付ける場合は、主装置および電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
②主装置および電話機を調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
③主装置および電話機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置および電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
④主装置および電話機や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置および電話機や電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
⑤電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
⑥主装置および電話機を直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
⑦主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような使い方により通風孔をふさがないでください。
●仰向けや横倒し、逆さまにする。
●収納棚や本棚、タンスの中、押入れの中などの風通しの悪い場所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどをかける。
⑧主装置のアースは必ず設けてください。アースが無い場合は火災・感電の原因や落雷等で壊れる恐れがあります。
⑨主装置に乗らないでください。（特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。）倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
⑩近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
⑪勝手に電話機の接続を変えないでください。火災・故障の原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

おねがい

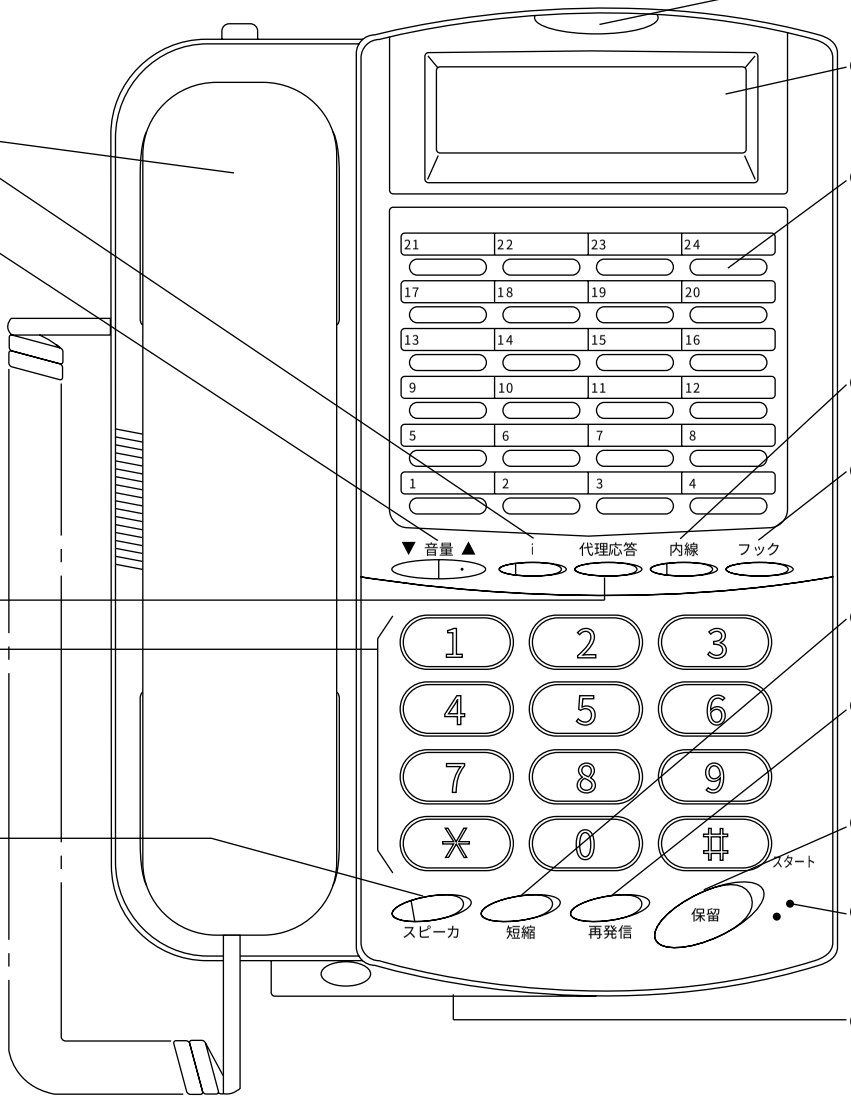
誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

①主装置および電話機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。
●ちり・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
●製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
●テレビ・ラジオ・電気こたつ・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。
やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
●衝撃・振動のある場所。
②机や椅子で電話機ケーブルを踏みつけたりしますと電話機が使えなくなるなどの障害が発生しますので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。
③硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、主装置・電話機の寿命が短くなることがあります。
④主装置および電話機を、落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障・誤動作の原因となります。
⑤道路に近くてCB無線が混入する場合、または放送局のアンテナに近くて雑音が混入する場合は、販売店にご相談ください。
⑥主装置および電話機をベンジン・シンナー・アルコール・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。
⑦各種機能等の追加、および変更について
次のような場合は、別途料金が必要になります。
●現在ご利用いただいている各種機能を変更される場合。（NTTの通話料金改定も含む）
●新たにオプションをご利用になる場合。（オプションは別売となっております。）

2．各部のなまえとはたらき

小型ＬＣＤ電話機

図の電話機は 24ボタンタイプです。



● 送受器
相手とお話しするときに使います。

● i ボタン
いろいろな機能を設定するときに使います。

● ▼音量▲ ボタン
通話中に相手の声の大きさを調整するときに使います。
また、着信音やスピーカ音量などの調整にも使います。
▲…音を大きくしたいときに押します。
▼…音を小さくしたいときに押します。
①着信音……待機中または着信音が鳴っているときに上記操作をします。（4段階調整）
②受話音量…送受器を上げて通話中のときに上記操作をします。（3段階調整）
③スピーカ受話音量…スピーカ受話中に上記操作をします。（4段階調整）

● 代理応答 ボタン
他の電話機の着信に応答するときに使います。

● ダイヤル ボタン
外へ電話をかけるときや、内線呼出をするときに使います。また、カナ文字を登録するときにも使います。
ISDN外線を使用するとき、相手番号を押した後に ＃ を押すと、すぐにダイヤルを送ることができます。
（P211をご参照ください。）

● スピーカ ボタン（ランプ）
このボタンを押すと（点火しているとき）、送受器を上げた状態と同じ働きをします。

※プログラマブルキーとは使用していない 外線 ボタンをワンタッチダイヤルや各機能ボタンに設定して自分に合った電話機にするためのボタンのことです。
（P160をご参照ください。）

● 着信／メッセージ ランプ
着信、保留、メッセージ等の状態をランプで表示します。

● ディジタル表示部（小型LCD）
日時、ダイヤル番号、通話料金などが表示されます。
(16文字2行)

● 外線／（プログラマブルキー） ボタン（ランプ付き）※
外へ電話をかけるとき、外から電話を受けるときに使います。外線を設定していないボタンは、プログラマブルキーとして使います。また、ランプについては自分で使っている場合は（緑）、他の人が使っている場合は（赤）で表示します。

● 内線 ボタン
内線発信のときに使います。

● フック ボタン
このボタンを押すと、一度受話器を置いた（通話が切れる）状態になります。また、キャッチホンにも利用できます。

● 短縮 ボタン
短縮ダイヤルの登録、発信時に使います。

● 再発信 ボタン
最後にかけた番号をもう一度ダイヤルするときなどに使います。

● 保留 ボタン
外線・内線の通話を保留するときに使います。

● マイク
内線ハンズフリー応答(送受器を取らずに応答する)及び通話のときに使います。

● 短縮ダイヤルカード
短縮番号の相手先を記入します。

電話機の種類は、下記のとおりです。

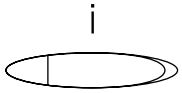
No.	種　類	略号	概　要	No.	種　類	略号	概　要	No.	種　類	略号	概　要
1	標準電話機	SD	小型LCD付	5	アナログインタフェース付電話機	OA	小型LCD付、単独電話機接続可能	9	ISDN回線用停電電話機	PFI	小型LCD付、ISDN停電時発信用
2	停電用電話機	PF	小型LCD付、停電時発着信用	6	ホームユース電話機	HK	LCDなし、ハンズフリー回路なし				
3	大型LCD電話機	LD	大型LCD付	7	コードレス電話機	CL	小型LCD付、ハンズフリー回路なし	10	CTI対応電話機	ND	小型LCD付、CTI用
4	相談機能付電話機	HLP	小型LCD付、停電時発着信用、相談サービスボタン付	8	アナログインタフェース付電話機	OA2	小型LCD付、単独電話機接続可能	11	ハンドルコードレス電話機	HCL	小型LCD付

3．カレンダーの設定

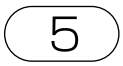
年、月、日、曜日、時、分を設定できます。

年、月、日、曜日の設定

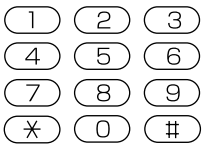
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
—	—	—	—



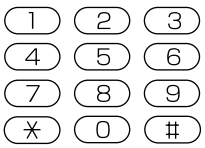
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
([スピーカ]ランプも消えていること。)
⇩
[i]ランプが点灯します。



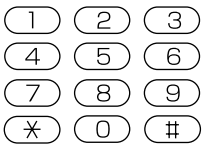
❷ [5]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になり、「カレンダー」と表示されます。



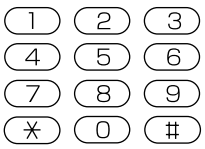
❸ 年（2桁）を押します。
（西暦の下2桁）



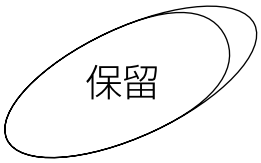
❹ 月（2桁）を押します。
（1月～9月は、01～09）



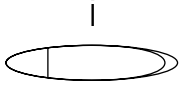
❺ 日（2桁）を押します。
（1日～9日は、01～09）



❻ 曜日コード（1桁）を押します。
（0：日曜日～6：土曜日）



❼ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。

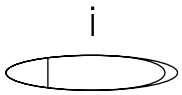


❽ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

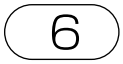
3．カレンダーの設定

時計の調整

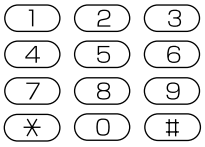
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―



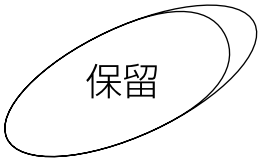
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること。）
⇩
[i]ランプが点灯します。



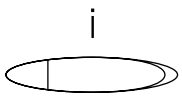
❷ [6]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になり、「トケイチョウセイーーー」と表示されます。



❸ 時（2桁で24時間制）と、分（2桁）を押します。



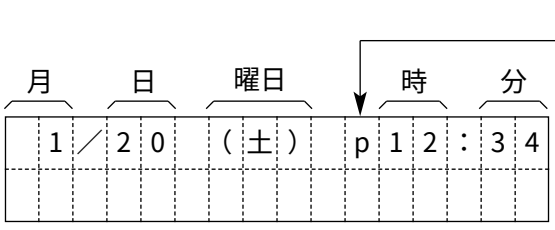
❹ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❺ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

●設定後は下記の表示（例）となります。



p：PMを表します。
表示なし：AMを表します。

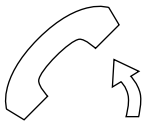
●電話機で表示する時計は目安です。時計は、1ヵ月あたり2～3分程度の誤差が生じる場合があります。

4．外線に電話をかけるとき

外線発信にはいくつかの方法がありますので、使いやすいかけ方を選んでください。

送受器をとってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
—	—	—	—



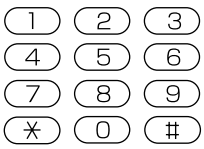
❶ 送受器をとります。

外線

❷ 空いている 外線 ボタンを押します。

⇩

外線ランプが緑で点滅します。



❸ 相手の電話番号を押します。

⇩

表示部に電話番号が表示されます。

❹ 相手が応答すると通話ができます。

ご注意

●外線ボタンを押したときは必ず、外線発信音（ツー）を確認した後、その後の操作を行なってください。

4．外線に電話をかけるとき

送受器をとらずにかけるとき（ワンタッチ外線自動発信）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（103）	―	―	―

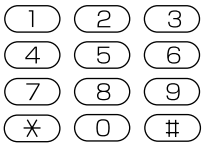
外線ボタンを押してかける場合

外線

❶ 空いている外線ボタンを押します。

⇩

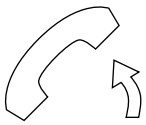
スピーカランプが点灯し、外線ランプ（緑色）が点滅します。また、スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。



❷ 相手の電話番号を押します。

⇩

表示部に電話番号が表示されます。



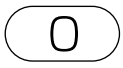
❸ スピーカで相手の応答を確認し、相手が応答したら、送受器をとります。

❹ 相手と通話ができます。

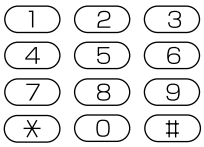
4．外線に電話をかけるとき

送受器をとらずにかけるとき（ワンタッチ外線自動発信）

外線ボタンを押さずにかける場合



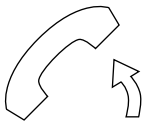
❶ 0ボタンを押します。



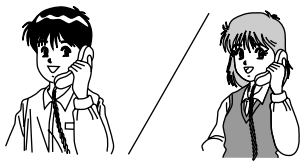
❷ 相手の電話番号を押します。

⇩

表示部に電話番号が表示されます。



❸ スピーカで相手の応答を確認し、相手が応答したら、送受器をとります。



❹ 相手と通話ができます。

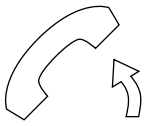
補足説明

- 0ボタンを押してかける場合は、空き外線の老番よりつかみます。
- 送受器をとってから0ボタンを押してかけることもできます。

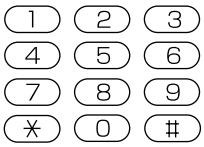
4．外線に電話をかけるとき

送受器をとるだけでかけるとき（オフフック自動発信）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
104	ー	ー	ー



❶ 送受器をとります。



❷ 相手の電話番号を押します。

❸ 相手が応答すると通話ができます。

補足説明

●空いている外線の老番からつかみます。
●外線がすべて塞がっていた場合は、内線ダイヤルトーン（ツツツ…）が聞こえます。また、無音にすることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

ご注意

●取付時の設定により着信があった場合に本操作を行なうと、着信に対して応答することもあります。

4．外線に電話をかけるとき

最後にかけた相手に再度かけ直すとき（リダイヤル）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（103，113）	―	―	―

最後にかけた相手にワンタッチでかけることができます。

ワンタッチ外線自動発信機能が設定されている場合

❶ 送受器を置いたまま 再発信 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

自動的に外線をつかみ、最後にかけた電話番号が自動的にダイヤルされます。また、表示部には最後にかけた電話番号が表示されます。

ワンタッチ外線自動発信機能が設定されていない場合

外線

❶ 外線 ボタンを押します。

❷ 再発信 ボタンを押します。

⇩

最後にかけた電話番号が自動的にダイヤルされます。また、表示部には最後にかけた電話番号が表示されます。

補足説明

●リダイヤルできる電話番号は、最大24桁です。

ご注意

●チェーンダイヤル及びワンタッチチェーンダイヤルでかけたときの再発信はできません。

知っていると便利なこと

●短縮ダイヤルなどでかけたときもリダイヤルできます。
●かけてきた人にかけ直すこともできます。詳しくは、P208を参照してください。

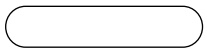
4．外線に電話をかけるとき

2〜3回前の相手にかけ直すとき（サーチリダイヤル）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（113）	ー	プリセット（75）	ー

プリセット ボタンを使って2回または3回前にかけた相手にかけることができます。

プリセット



❶ 送受器を置いたまま プリセット ボタンを押します。（スピーカ ランプも消えていること）

⇩

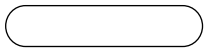
プリセット ランプが点灯します。

再発信

❷ 再発信 ボタンを押します。

- 再発信ボタン1回押すと直前にかけたダイヤル
- 再発信ボタン2回押すと2回前にかけたダイヤル
- 再発信ボタン3回押すと3回前にかけたダイヤル
- 4回目以降は上記を繰り返します。

外線



❸ 外線 ボタンを押します。

⇩

プリセット ランプが消え、自動的に外線をつかみ、最後にかけた電話番号が自動的にダイヤルされ、表示部にはかけた電話番号が表示されます。

補足説明

- ❷の状態で約20秒間、ボタン操作を停止するとプリセットは取消され、元の状態に戻ります。
- プリセット ボタンの設定は、P160を参照してください。

知っいてると便利なこと

- ❸で 外線 ボタンの代わりに スピーカ ボタンを押すか送受器をとるだけで、自動的に外線につながるようにもできます。
  （詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

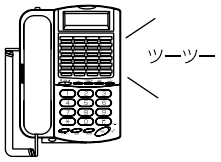
4．外線に電話をかけるとき

相手が話し中のとき（スーパーリトライ）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（114）	―	―	―

スーパーリトライ

相手が話し中のときにワンタッチ操作で自動的に発信操作を繰り返します。なかなかつながらない相手や忙しくて電話をかけ直すのが大変なときに便利です。



❶ 送受器を置いたまま（スピーカ受話）外線に発信し、相手がお話し中（ツーツー…）であることを確認します。

❷ 再発信 ボタンを押します。

⇩

発信操作を設定回数分行ないます。

⇩

設定回数分リトライしても相手を呼び出せない場合は、アラーム（ピピ）を送出します。

❸ アラームが聞こえたら 再発信 ボタンを押します。

⇩

再度発信操作を設定回数分行ないます。

補足説明

●相手がトーキー等の場合は、続けて 再発信 ボタンを押します。

●途中でやめるときは、送受器を上げるか スピーカ ボタンを押します。

●設定回数を16回～99回にしてある場合は、約3分間隔で3回ずつ発信を繰り返します。
（初期値は15回に設定されています。）

ご注意

●リトライ中に相手を呼び出せた場合（電話をかけた方に呼出音が送出されている状態）、または相手が応答しても応答を確認できない場合は、一定時間経過後（約55秒）に外線を切断します。

●NCC発信した場合、NCCからの話し中の音の種類により、動作しないことがあります。

●❸の操作を行なわない場合は、一定時間経過後に外線を切断します。

知っていると便利なこと

●送受器をとった状態で行なうこともできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

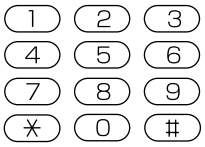
4．外線に電話をかけるとき

外線指定捕捉

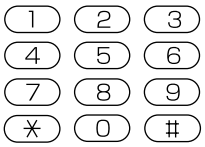
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
106	ー	ー	ー

ダイヤル操作で外線番号を指定して外線をつかむことができます。

❶ 内線 ボタンを押します。



❷ 外線指定用特番（1または2桁）を押します。



❸ 外線番号（2桁）を押します。

補足説明

●外線番号（2桁）とダイヤルの関係を下記に示します。
（例）外線1の場合は、01を押します。外線2の場合は、02を押します。

ご注意

●指定した外線が空いていなかった場合は、外線の状態により下記に示す応答操作となります。
・着信外線を指定すると外線着信応答となります。
・保留中の外線を指定すると保留外線応答となります。
・通話中の外線を指定すると外線指定割込通話となります。但し、オプションの会議通話ユニット（CFU）が必要です。

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

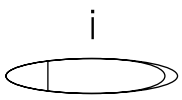
相手の電話番号を2桁または3桁の番号に登録することができます。システム短縮を登録するときは、指定電話機*より行ないます。電話機短縮を登録するときは、各電話機で行ないます。

＊指定電話機は初期設定では内線番号が一番若番の電話機です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

短縮ダイヤルを登録するとき

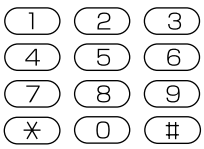
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（108）	○（システム短縮）	ー	ー

登録するとき

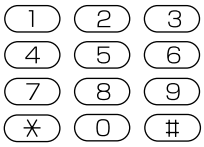


❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。

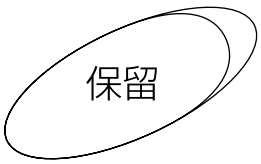
❷ ［短縮］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅となり、「タンシュクトウロク」と表示されます。



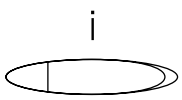
❸ 短縮番号（2桁または3桁）を押します。



❹ 記憶させたい相手の電話番号（最大24桁）を押します。
※着信時に相手先名称を表示させたい場合は、市外局番から登録してください。
（P22、23参照）



❺ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅となります。



❻ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルを登録するとき

補足説明

●短縮番号は、初期設定でシステム短縮00～79 ” 電話機短縮 “ 80～99 ” となっています。
●短縮ダイヤルのメモリ数を変更したいとき使用可能なメモリ数は下記のとおりです。

	システム短縮（短縮ダイヤルNO.）	電話機短縮（短縮ダイヤルNO.）
メモリ数	80（00～79）	20（80～99）
	500（000～499）	10（80～89）
	1000（000～999）	0

●PBXの内線に主装置が接続されている場合、PBX経由で外線発信する場合に必要な0ダイヤルは自動挿入されますので、登録は不要です。（設定によっては、自動挿入されない場合もあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●相手番号として短縮ダイヤルに登録できるもの（詳しい使い方については、販売店にお問い合わせください。）

項　　目	記憶させるボタン	LCD表示	記　　事
ダイヤル0～9，＊，＃	0～9，＊，＃	0～9，＊，＃	
ポーズ	再発信	P	ポーズ時間（※4）
トーン切替（ダイヤル回線のとき）	＃	＃	
ハイフン “ ー ” 表示	代理応答	ー	代理応答の位置のボタン（※1）
グループ1の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋1	M＃1	ダイヤル3個分（※2，3）
グループ2の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋2	M＃2	ダイヤル3個分（※2，3）
グループ3の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋3	M＃3	ダイヤル3個分（※2，3）
グループ4の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋4	M＃4	ダイヤル3個分（※2，3）
グループ5の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋5	M＃5	ダイヤル3個分（※2，3）
グループ6の外線を自動捕捉	短縮＋＃＋6	M＃6	ダイヤル3個分（※2，3）
ワンタッチチェーンダイヤル	短縮＋××（×） 短ダ番号	M××（×）	ワンタッチチェーンダイヤル機能参照（P34）

※1：PBXにGiシリーズが接続されていて短縮ダイヤルに、PBXの内線番号を登録する場合などは、先頭に 代理応答 ボタンを登録させます。通常は表示されませんが、ワンタッチチェーンダイヤルの中に登録された短縮ダイヤルの場合は表示されます。（ダイヤル1個分）
※2：先頭に登録した場合のみ有効です。
※3：グループとは複数の外線を1つにまとめることをいいます。尚、使用方法につきましては、販売店にお問い合わせください。
※4：ISDN回線を使用している場合は、相手の電話番号＋ポーズ＋…は登録できません。（発信不可となります。）

ご注意

●転送電話の場合は、 短縮 ボタンによるワンタッチチェーンダイヤルの短縮ダイヤルは使用できません。
●トーン切替は1桁目に登録しても無効です。2桁目以降に登録してください。

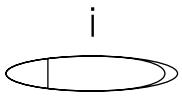
知っていると便利なこと

●連続して登録するときは、❸～❺を繰り返して行ないます。
●短縮番号の相手先を変更するときは、変更したい短縮番号の上から❸～❺の操作を行います。
（後から登録した番号にかわります。）
●登録されている番号を消す場合は、❸の後に フック ボタンを押します。
●別の短縮番号の内容を確認したい場合は、❸の後に短縮番号を1つずつプラス／マイナスして確認できます。（ 外線1 ＝マイナス， 外線2 ＝プラス）

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルを登録するとき

外線及び内線通話中に短縮ダイヤルを確認するとき



❶ 外線又は内線通話中に[i]ボタンを押します。

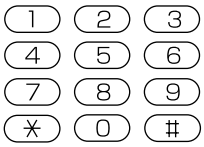
⇩

[i]ランプが点灯します。

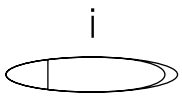
❷ [短縮]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが遅い点滅となり、「タンシュクトウロク」と表示されます。



❸ 確認したい短縮番号（2桁または3桁）を押します。



❹ [i]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが消えます。

❺ 元の通話状態に戻ります。

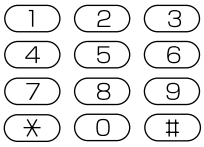
5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル発信

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(103，110)	―	―	―

ワンタッチ外線自動発信が設定されている場合

❶ 送受器を置いたまま 短縮 ボタンを押します。

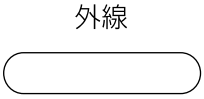


❷ 相手の短縮番号（2桁または3桁）を押します。

⇩

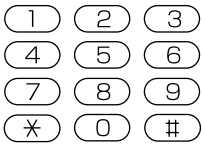
登録されている番号が自動的にダイヤルされます。また、表示部に相手先の電話番号が表示されます。

ワンタッチ外線自動発信が設定されていない場合



❶ 外線 ボタンを押します。

❷ 短縮 ボタンを押します。



❸ 相手の短縮番号（2桁または3桁）を押します。

⇩

登録されている番号が自動的にダイヤルされます。また、表示部に相手先の電話番号が表示されます。

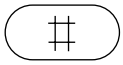
5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルの相手先名称／着信時の相手先名称の登録方法

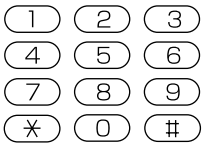
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
ー	○（システム短縮）	ー	ー

❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。

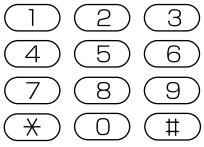
❷ ［短縮］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になり、「タンシュクトウロク」と表示されます。



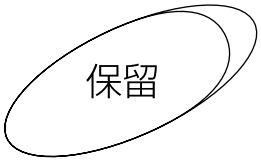
❸ ［#］ボタンを押します。
⇩
表示が「タンシュク　メイショウ　トウロク」に変わります。



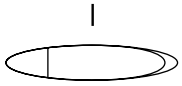
❹ 相手先名称を登録したい短縮番号（2桁または3桁）を押します。



❺ ダイヤルで名称（カナ文字）を設定します。
（P23参照）
※システム短縮は最大12文字，電話機短縮は最大7文字



❻ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❼ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤルの相手先名称／着信時の相手先名称の登録方法

補足説明

●ダイヤルとカナ文字の対応を以下に示します。
文字の選択は対応のダイヤルボタンを1回押すたびに表示文字が変わります。

表示文字一覧表

回数／ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	Q	Z	1
2	カ	キ	ク	ケ	コ	ゥ	A	B	C	2
3	サ	シ	ス	セ	ソ	ェ	D	E	F	3
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ャ	G	H	I	4
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ュ	J	K	L	5
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ョ	M	N	O	6
7	マ	ミ	ム	メ	モ	ッ	P	R	S	7
8	ヤ	ユ	ヨ	ー	：	／	T	U	V	8
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	SP	W	X	Y	9
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ォ	＝	＊	＃	0
＊	カーソル左に移動									
＃	カーソル右に移動									

SP：スペース

●システム短縮の登録は指定電話機からのみ、電話機短縮の登録は各電話機ごとに行ないます。

ご注意

●名称は1文字ずつ表示を見ながら設定してください。

知っていると便利なこと

●連続して登録する時は、❹～❻を繰り返して行ないます。
●相手先名称を変更する時は、❹～❻を操作し直してください。
●登録されている名称を消去する場合は、❹で[フック]ボタンを押します。
●別の短縮番号の内容を確認したい場合は、❹の後に短縮番号を1つずつプラス／マイナスして確認できます。（[外線1]＝マイナス，[外線2]＝プラス）
●ISDN回線や「ナンバー・ディスプレイ」機能をご利用の場合、着信時にはシステム短縮に登録された相手先名称が表示されます。（ROM版数8-5より適用）但し、ISDN回線にて別のGiシリーズからの転送電話で着信したときは、登録の有無に関わらず「テンソウ！」と表示されます。

メモリ数	着信時の相手先名称に使用できる短縮番号
80	00～79（80個）
500,1000	000～199（200個）

※着信時に相手先名称を表示させる場合、短縮ダイヤルに登録する電話番号は必ず市外局番から登録し、“ー”以外の記号（[代理応答]ボタンで登録）は登録しないでください。短縮ダイヤルの登録はP18を参照してください。
※ET-CIU-Giに添付の「ナンバー・ディスプレイ機能　取扱説明書」の5章に記載されている相手名称登録、ET-「 」DTIB-Gi等に添付の「ET-DTIB-Gi/ET-DSUDTI-Gi　取扱説明書」の6章および7章に記載されている相手名称登録および相手の内線名称登録はできませんのでご了承ください。

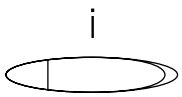
5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル事業所番号変換

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（111）	○	短縮2（70）	ー

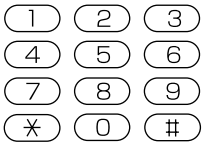
登録するとき

短縮番号を4桁の違う番号に変換し、その番号で短縮ダイヤル発信することができます。

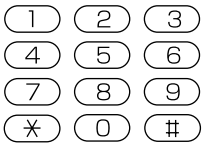


❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること。）
⇩
［i］ランプが点灯します。

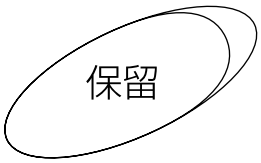
❷ ［短縮2］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



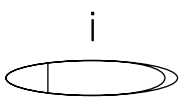
❸ 短縮番号（2または3桁）を押します。
〔システム短縮ダイヤル80メモリの場合は00～79、500または1000メモリの場合は000～299〕



❹ 事業所番号（4桁）を押します。



❺ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅となります。



❻ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル事業所番号変換

補足説明

●短縮2ボタンの設定はP160を参照してください。
●変換番号の登録は、指定電話機から設定します。
●登録数は短縮ダイヤルのメモリ数により異なります。
（80メモリの場合は80個、500または1000メモリの場合は300個です。）

ご注意

●事業所番号が1～3桁の場合も、必ず4桁で登録してください。
（例）（1）事業所番号が“ 1 ”の時は発信番号は“ 0001 ”となります。
（2）事業所番号が“ 12 ”の時は発信番号は“ 0012 ”となります。
（3）事業所番号が“ 123 ”の時は発信番号は“ 0123 ”となります。
●❸で電話機短縮ダイヤル番号は設定できません。

知っていると便利なこと

●連続して登録する時は、❸～❺項を繰り返して行ないます。
●事業所番号を消したい場合は、❹でフックボタンを押します。
●別の短縮番号の内容を確認したい場合は、❸の後に短縮番号を1つずつプラス／マイナスして確認できます。（外線1＝マイナス，外線2＝プラス）

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

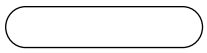
短縮ダイヤル事業所番号変換

発信するとき

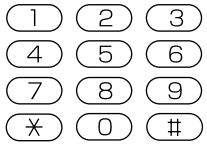
外線

❶ 外線ボタンを押します。

短縮2



❷ 短縮2ボタンを押します。



❸ 事業所番号（4桁）を押します。

補足説明

- 短縮2ボタンの設定はP160を参照してください。
- 変換番号の登録は、指定電話機から設定します。
- 登録数は短縮ダイヤルのメモリ数により異なります。
  80メモリの場合は80個、500または1000メモリの場合は300個です。

知っていると便利なこと

- ワンタッチ外線自動発信機能有りの場合は、❶は不要です。

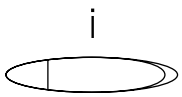
5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル自動変換

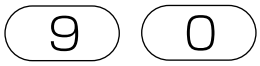
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(112)	○	ー	ー

あらかじめ自動変換する年.月.日，システム短縮番号及びダイヤルを設定しておくと、設定日に自動的にシステム短縮ダイヤルが変換されます。

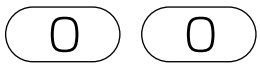
変換日時の登録方法



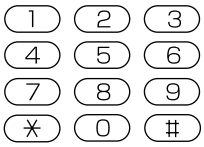
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
([スピーカ]ランプも消えていること。)
⇩
[i]ランプが点灯します。



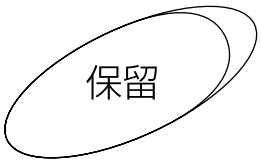
❷ [9][0]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



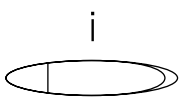
❸ [0][0]ボタンを押します。



❹ 年（西暦の下2桁)、月（2桁)、日（2桁)、時（24時間制で2桁)、分（2桁）を押します。



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル自動変換

補足説明

●❺にて登録したときの表示例を下記に示します。

［表示例］

タ	ン	シ	ュ	ク	ヘ	ン	カ	ン	；	ヘ	ン	カ	ン	ヒ	゛
0	1		1	0	／	1	0		1	3	：	0	0		
年			月			日			時			分			

ご注意

●誤って現在時間よりも前の時間を登録すると登録した時点で変換されますのでご注意ください。

●電話機短縮ダイヤルは自動変換できません。

知っていると便利なこと

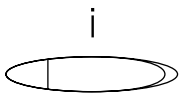
●登録されている内容を消去する場合は、❸の後に フック ボタンを押します。（❹は省略します。）

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

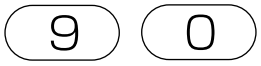
短縮ダイヤル自動変換

短縮ダイヤルの変換ダイヤル登録方法

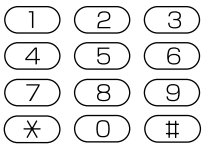
変換する短縮番号とダイヤルを変換エリアに登録します。



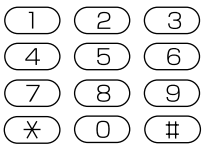
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
([スピーカ]ランプも消えていること。)
⇩
[i]ランプが点灯します。



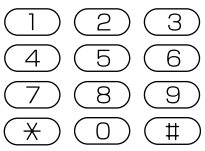
❷ [9][0]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



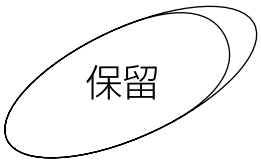
❸ 変換エリア番号2桁（01～80）を押します。
(登録されている場合は現在の登録内容が表示されます。)



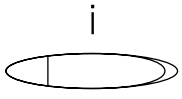
❹ 短縮番号（2桁～3桁）を押します。



❺ 変換する相手先番号及び、記号（最大24桁）を押します。



❻ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❼ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

短縮ダイヤル自動変換

補足説明

●最大80個のシステム短縮ダイヤルが変換できます。
●登録できるダイヤル及び記号は、短縮ダイヤル登録と同じです。
●❻にて登録したときの表示例を下記に示します。
［表示例］

知っていると便利なこと

●消去する場合は❸の後に フック ボタンを押します。（❹，❺は省略します。）
●続けて登録する場合は❸～❻項を繰り返します。

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

ワンタッチダイヤルでかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（115）	―	ダイヤル（00）	―

ダイヤルボタンを設定した空き外線ボタンに短縮ダイヤルを登録することにより、ワンタッチで相手先へ発信できます。

ワンタッチ外線自動発信が設定されている場合

ダイヤル

❶ 送受器を取らずに登録したダイヤルボタンを押します。

ワンタッチ外線自動発信が設定されていない場合

外線

❶ 外線ボタンを押します。

ダイヤル

❷ 登録したダイヤルボタンを押します。

⇩

自動的に登録した番号がダイヤルされます。

補足説明

●ダイヤルボタンの設定は、P160を参照してください。

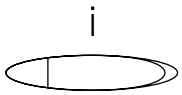
●ワンタッチダイヤルの登録は、P32を参照してください。

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

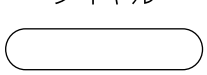
ワンタッチダイヤルを登録するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	ダイヤル（00）	―

[ダイヤル]ボタンを設定した空き外線ボタンに短縮ダイヤルを登録します。

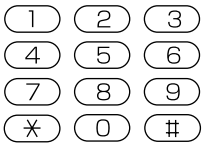


❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。

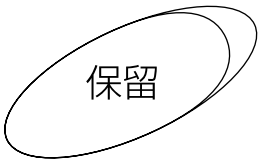


❷ [ダイヤル]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。

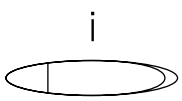
❸ [短縮]ボタンを押します。



❹ ワンタッチダイヤルに登録したい短縮番号（2桁または3桁）を押します。
〔2桁の場合：00～99
3桁の場合：000～999〕



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

ワンタッチダイヤルを登録するとき

補足説明

●[ダイヤル]ボタンの設定は、P160を参照してください。

ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の[ダイヤル]ボタンが必要です。

知っていると便利なこと

●登録した番号を消すときは❸で[フック]ボタンを押します。（❹は省略します。）

●連続して登録する場合は、❷～❺の操作を繰り返して行ないます。

●指定電話機から他の電話機の登録をする場合は、下記の操作を行ないます。（指定電話機がわからないときは、販売店にお問い合わせください。指定電話機が「全ての電話機」になっていても、本操作はデータ設定用電話機No.1のみ可能となります。）

❶送受器を置いたまま（[スピーカ]ランプも消えていること）[i]ボタンを押します。
⇨[i]ランプが点灯します。

❷[9][3]ボタンを押します。⇨[i]ランプが遅い点滅になります。

❸登録先の電話機の収容位置（3桁）を押します。

❹[＃]ボタンを押します。

❺[ダイヤル]ボタンを設定した外線ボタンの番号（01～24の2桁）を押します。

❻[短縮]ボタンを押します。

❼短縮番号（2桁又は3桁）を押します。〔2桁の場合：00～99，3桁の場合：000～999〕

❽[保留]ボタンを押します。⇨[i]ランプが早い点滅になります。

❾[i]ボタンを押します。⇨[i]ランプが消えます。

尚、連続して登録する場合は、❹～❽を繰り返し、違う電話機に登録する場合は❸から繰り返します。また、登録した番号を消すときは❻で[フック]ボタンを押します。（❼は省略します。）

※電話機の収容位置を確認するときは、各電話機で[i]+[8]の操作をします。

（例）

収容位置 内線番号

1	0	1	=	1	0									

5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

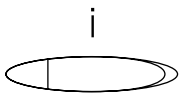
ワンタッチチェーンダイヤルでかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
117	―	―	―

短縮ダイヤルに短縮番号を登録することにより、1回の短縮ダイヤル操作で最大48桁のダイヤルを外線に送出することができます。このことをワンタッチチェーンダイヤルといいます。

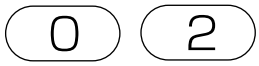
登録方法（例）

例として、短縮番号[0][2]に短縮番号[0][0]と短縮番号[0][1]を登録する方法を示します。
あらかじめ短縮番号[0][0]に「0123456789」を登録し、短縮番号[0][1]に「061234」を登録しておきます。

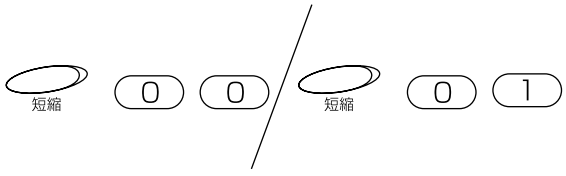


❶ [i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。

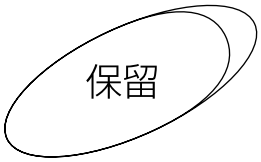
❷ [短縮]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



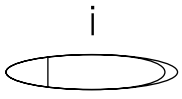
❸ 短縮番号[0][2]ボタンを押します。



❹ [短縮][0][0]，[短縮][0][1]ボタンを押します。



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

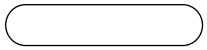
5．外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

ワンタッチチェーンダイヤルでかけるとき

発信方法（例）

例としてP34の（例）で登録した短縮番号[0][2]を使ってかける方法を示します。

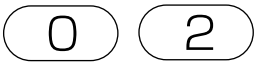
外線



❶ 空き[外線]ボタンを押します。

短縮

❷ [短縮]ボタンを押します。



❸ 2個の短縮番号を登録した短縮番号[0][2]ボタンを押します。

⇩

外線に0123456789061234が送出されます。

補足説明

●最大48桁まで1つの短縮ダイヤル（ワンタッチダイヤル）で発信することができます。
●短縮番号が2桁の場合は、1つの短縮番号に最大8個の短縮番号を登録させることができます。短縮番号が3桁の場合は最大6個の短縮番号を登録させることができます。
●❸を操作すると下記の表示となります。

外線へ送出するダイヤルを表示

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	6	1	2	3	4
												＊	0	2	

短縮番号

ご注意

●短縮番号を登録した短縮を他の短縮番号に登録しても発信はできません。例えば、上記の場合短縮番号[0][2]ボタンを他の短縮ダイヤル（例えば[0][3]ボタン）に登録しても発信はできません。
●短縮番号を登録した短縮は、転送電話の発信番号にすることはできません。

6．外線への特殊なかけかた

相手の電話番号を確認した上で、外線発信するとき（プリセットダイヤル）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（107）	ー	プリセット（75）	ー

プリセット

❶ 送受器を置いたまま［プリセット］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［プリセット］ランプが点灯します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❷ 相手先の電話番号（最大24桁）を押します。

外線

❸ 空いている［外線］ボタンを押します。
⇩
［プリセット］ランプが消え、❷でセットしたダイヤルが外線に送出されます。

❹ スピーカで相手の応答を確認します。

❺ 送受器をとると相手と通話ができます。

補足説明

- ❷の状態で約20秒間、ボタン操作を停止するとプリセットは取消され、元の状態に戻ります。
- ［プリセット］ボタンの設定は、P160を参照してください。

知っいてると便利なこと

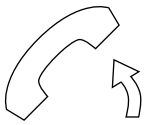
- ❸で［外線］ボタンの代わりに［スピーカ］ボタンを押すか送受器をとるだけで自動的に外線につながるようにもできます。
（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

6．外線への特殊なかけかた

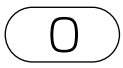
外線発信予約をするとき（外線発信ウェイティング）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
105	ー	ー	ー

発信可能な外線がすべて使用中の場合、いずれかの外線が空いたら発信できるように予約をすることができます。



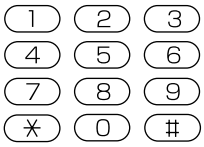
❶ 外線がすべて使用中の状態で送受器をとります。



❷ 0ボタンを押します。

⇩

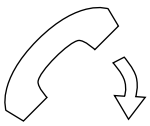
話し中の音（ツーツーツー…）が聞こえます。



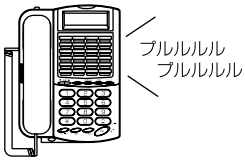
❸ 外線発信ウェイティング特番（1桁）を押します。

⇩

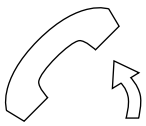
予約できた場合は、保留音が聞こえます。



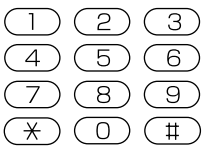
❹ 送受器を置いて待ちます。



❺ 外線が空いたら、予約操作をした電話機を呼び出します。



❻ 応答すると、空きとなった外線を自動的につかみます。



❼ 相手の電話番号を押します。

❽ 相手が応答すると通話ができます。

次ページへつづく

6．外線への特殊なかけかた

外線発信予約をするとき（外線発信ウェイティング）

補足説明

●外線発信ウェイティング特番は設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●❸において送受器を置かずにいると保留音を約20秒聞いた後、無音状態となります。（単独電話機は保留音の後にハウラー音（ピー）が聞こえます。）
●❺で電話機を呼び出している最中に空いた外線に着信があると、電話機の呼出しは停止します。

ご注意

●呼び出された電話機が一定時間(約12秒)応答しないと予約は取消されます。
●外線が空きとなったときに予約操作した電話機が使用中の場合は、予約は取消されます。
●予約は最大16個まで受け付けます。それ以上の予約操作は無効（話中音）となります。
●外線ボタンを押してからの外線発信ウェイティングの登録はできません。

知っいてると便利なこと

●単独電話機でも使用できます。

6．外線への特殊なかけかた

LCR機能

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
120	○（緊急処置）	ー	ー

NTTの他にNCC（JT/DDI/KDD）と契約すると市外へかけるときに今まで通りのかけかたで自動的に料金メリットのある契約回線（JT/DDI/KDD）を選んで発信します。（注：DDI/KDDは現在KDDIとして合併）

NTTバイパス発信

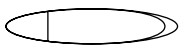
NCC（JT/DDI/KDD）と契約していても下記の操作を行なうとNTT回線を強制的につかんで発信することができます。

操作

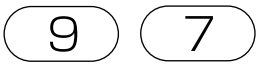
外線をつかんだらNTTバイパス発信特番 9 9 をダイヤルしてから相手先をダイヤルします。

NCC回線が故障した場合の緊急処置

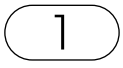
NCC回線が故障した場合などの緊急処置として全外線をNTT回線で発信させることができます。
対処する場合は、指定電話機より下記操作を行ないます。



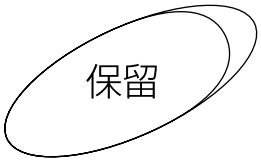
❶ 送受器を置いたまま i ボタンを押します。
（スピーカ ランプも消えていること。）
⇩
i ランプが点灯します。



❷ 9 7 ボタンを押します。
⇩
i ランプが遅い点滅になります。



❸ 1 ボタンを押します。
（LCR機能に戻す場合は 0 ボタンを押します。）



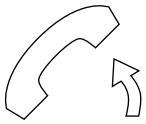
❹ 保留 ボタンを押します。
⇩
i ランプが早い点滅になります。

❺ i ボタンを押します。
⇩
i ランプが消えます。

7．外線からの着信に応答するとき

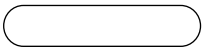
外線からの電話を受けるとき（外線着信応答）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―



❶ 着信音が聞こえたら送受器をとります。

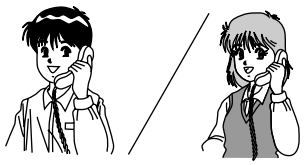
外線



❷ 赤ランプが早く点滅している外線ボタンを押します。

⇩

着信した外線ボタンのランプの色が“赤”から“緑”に替わります。



❸ 相手と通話ができます。

補足説明

●着信鳴動電話機は着信／メッセージランプが早い点滅となります。

●ダイヤルインや「i（アイ）・ナンバー」サービス（P218）で特定の電話機のみ着信する場合は、対応する電話機の送受器をとるだけで応答できます。また、他の電話機は応答できません。

ご注意

●サービスクラスG（乙）の電話機では応答できません。

●テナント外の外線には応答できません。

知っていると便利なこと

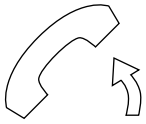
●着信鳴動電話機が、一定時間応答しない場合は音を変えて注意を促すこともできます。このことを着信警報といいます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●着信鳴動電話機が一定時間応答しない場合は、上記の他に指定した他の電話機も鳴動させることができます。このことをスライド着信といいます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

7．外線からの着信に応答するとき

送受器をとるだけで電話を受けるとき（オフフック自動応答）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
204	―	―	―



❶ 着信音が聞こえたら送受器をとります。

⇩

着信した外線ボタンのランプの色が“赤”から“緑”に替わります。

❷ 相手と通話ができます。

補足説明

●着信鳴動電話機は着信／メッセージランプが早い点滅となります。

ご注意

●サービスクラスG（乙）の電話機では応答できません。
●テナント外の外線には応答できません。

7．外線からの着信に応答するとき

キャッチホンをご利用のとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（404）	―	―	―

フック

❶ 外線と通話中、その外線にキャッチホン着信があったとき フック ボタンを押します。

⇩

新たに着信した相手と通話ができます。

フック

❷ フック ボタンを押します。

⇩

再び元の相手との通話に戻ります。

ご注意

●キャッチホンを使用する場合は、NTTとの契約が必要です。

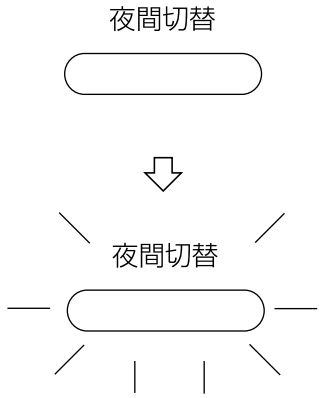
7．外線からの着信に応答するとき

外線自動応答メッセージ

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
221	ー	夜間切替（85）	ET-VRU-Gi ET-EMU-Gi ET-「」MOTH-Gi

夜間切替操作を行なうことにより指定した外線の着信に自動応答し、メッセージを送出します。

［切替操作の例］



❶ 夜間切替操作を行ない夜間モードに切替えます。（切替操作はP93を参照してください。）

⇩

夜間切替 ランプが点灯になります。

❷ 外から電話がかかってきたら、着信に自動応答しメッセージを送出します。

❸ メッセージを送出後、外線を切断します。

次ページへつづく

7．外線からの着信に応答するとき

外線自動応答メッセージ

補足説明

●夜間切替ボタンの設定はP160を参照してください。
●外線に送出するメッセージの音源は、外部音源またはVRUの音源の2種類のうちいずれかを選ぶことができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●メッセージは夜間のモード（夜間／外出／休日）それぞれに送出できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●外線が先に復旧した場合は、話中音を検出して、外線を切断します。（外線の状態によっては話中音を検出できない場合もあります。）

ご注意

●複数外線の着信については、2外線目以降はメッセージの途中から聞くことになります。
●メッセージ音源をVRUとした場合、下記状態時にはメッセージの代わりに保留音が送出されます。
・VRUが主装置に実装されていない場合
・VRUにメッセージを録音している最中
・VRUに録音したメッセージを確認している最中
尚、VRUへのメッセージ録音方法はP140を参照してください。

知っていると便利なこと

●メッセージ送出後、外線を切断せずに一般着信にすることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●着信してから自動応答するまでの時間を変更することができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

7．外線からの着信に応答するとき

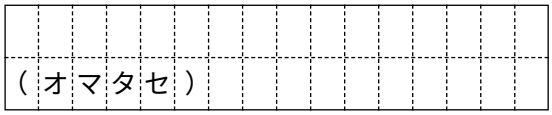
外線お待たせメッセージ

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
219	ー	お待たせ（71）	ET-VRU-Gi ET-EMU-Gi ET-「」MOTH-Gi

外線着信時、手が離せずに応答できない場合は、電話機の操作を行なうことにより着信に自動応答して、発呼者にお待たせメッセージを聞かせてから自動的に外線を保留します。その後、手が空いてから保留に応答するとお待たせ中の相手と通話ができます。

自動モード

あらかじめ お待たせ ボタンを押しておくと以後の着信に対して自動応答し、お待たせメッセージを送出します。解除する場合は、再度 お待たせ ボタンを押します。



この位置に表示（通常は内線番号を表示）

❶ お待たせ ボタンを押します。

⇩

お待たせ ランプが点灯します。

補足説明

- お待たせ ボタンの設定はP160を参照してください。
- 操作できる電話機は、テナント毎に8台まで設定できます。（夜間切替操作電話機と共通）
- 対象の着信は、一般の外線着信、DIL着信及びストレートラインDI着信です。
- お待たせメッセージ機能を解除するとき

  お待たせ ランプ点灯中に お待たせ ボタンを押します。

  お待たせ ランプが滅火し、解除されます。
- メッセージ送出中及び外線保留中に外線の話中音（BT）を検出した場合（外線側が電話を切ったとき）は外線を切断します。
- 複数外線に着信した場合は2外線目以降のお待たせメッセージは途中から送出されます。

ご注意

- 解除忘れ防止のため約1時間（データ設定で1～9時間、1時間単位に設定可。詳細は販売店にお問い合わせください。）で自動的に解除されます。
- お待たせメッセージ送出後、外線は保留状態になり、外線には保留音*を送出します。外線保留状態が約30秒継続し、その間応答がない場合は切断処理となります。切断処理方法についての詳細は販売店にお問い合わせください。

  ＊ROM版数8-19までは、基本の内部保留音となります。ROM版数8-20より、外線を保留したときに送出される保留音となります。ただし、保留音にVRUを使用している場合、お待たせメッセージと保留音が同じVRU基板のときは、内部保留音となります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- メッセージをVRUに設定した場合でVRU未実装又はVRUの録音中・確認中の場合はメッセージの代わりに内部保留音が送出されます。

知っていると便利なこと

- ISDN回線を使用している場合やダイヤルイン（DI）での着信時に、あらかじめ お待たせ ボタンを押しておくとメッセージの代わりに話中音（プープープー）を返すこともできます。（「DI/ISDN着信拒否」、P77参照）

  ただし、「外線お待たせメッセージ」と「DI/ISDN着信拒否」との併用はできません。

7．外線からの着信に応答するとき

外線お待たせメッセージ

手動モード

手が離せないときに外線着信があったとき お待たせ ボタンを押すと、着信中の外線のみ自動応答し、メッセージを聞かせてから自動的に外線を保留します。その後、手が空いてから保留に応答するとお待たせ中の外線と通話ができます。

お待たせ

❶ 外線着信があったら お待たせ ボタンを押します。

⇩

メッセージが送出されます。

補足説明

- お待たせ ボタンの設定はP160を参照してください。
- 操作できる電話機は、テナント毎に8台まで設定できます。（夜間切替操作電話機と共通）
- お待たせ ボタンを押した後の着信に対して自動応答メッセージを聞かせる場合は、再度 お待たせ ボタンを押します。
- 対象の着信は、一般の外線着信、DIL着信及びストレートラインDI着信です。
- メッセージ送出中及び外線保留中に外線の話中音（BT）を検出した場合は外線を切断します。
- 複数外線が着信中に お待たせ ボタンを押した場合は、本操作が有効となる着信中外線全てに自動応答しメッセージを送出します。

ご注意

- お待たせメッセージ送出後、外線は保留状態になり、外線には保留音を送出します。外線保留状態が約30秒し、その間応答がない場合は切断処理となります。切断処理方法についての詳細は販売店にお問い合わせください。
- メッセージをVRUに設定した場合でVRU未実装又はVRUの録音中・確認中の場合はメッセージの代わりに保留音が送出されます。

7．外線からの着信に応答するとき

＊アナログ回線時のみ必要

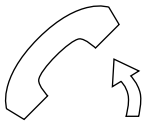
ストレートラインDI

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
218	―	―	ET-PBU-Gi ET-「」MOTH-Gi

ダイヤルイン番号毎に DILIN ボタンを割り当てると、ダイヤルイン着信において特定の1台の電話機に着信させるのではなく、一般の外線着信と同じようにグループ内の複数の電話機で着信に応答できます。

発信

DILIN ボタンを使って外線をつかむことができます。



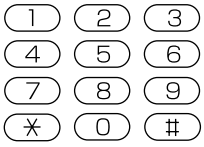
❶ 送受器をとります。

DILIN

❷ 空いている（ランプの消えている） DILIN ボタンを押します。

⇩

自電話機の DILIN ランプが緑の点滅になります。他電話機（グループ内）の DILIN ランプは赤の点灯になります。



❸ 相手の電話番号を押します。

補足説明

- ストレートラインDIに設定された外線の老番側からつかみます。
- DILIN ボタンは取付時に設定しますので、工事者におまかせください。
- ISDN回線の「i（アイ）・ナンバー」サービス（P218）も、ダイヤルインと同様にストレートラインDIを利用することができます。

ご注意

- DILIN ランプが消えていても全ての外線が使用中の場合はつかめません。その場合は、内線話中音(BT）が送出されます。

知っていると便利なこと

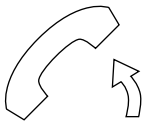
- 送受器をとらずにワンタッチオンフックダイヤルでも発信可能です。この場合は、外線をつかめなくても話中音は送出されません。
- ISDN回線のダイヤルインの場合、グローバル着信もストレートラインDIを利用することができます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。（ROM版数8-5より適用）

7．外線からの着信に応答するとき

ストレートラインDI

着信応答

ダイヤルイン（DI）着信に対して一般の外線着信のように DILIN ボタンで応答できます。



❶ 送受器をとります。

DILIN

❷ 着信表示している DILIN ボタンを押します。

⇩

応答した電話機の DILIN ランプは緑の点滅になります。
グループ内の他電話機の DILIN は赤の点灯になります。

❸ 外線通話となります。

知っていると便利なこと

- ●オフフック応答機能が設定されている場合は、送受器をとるだけで応答できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ● DILIN ボタンを押してから送受器をとっても応答できます。

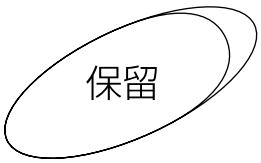
7．外線からの着信に応答するとき

ストレートラインDI

保留

通話中の外線を保留できます。

外線を保留するとき（一般保留）



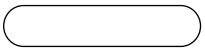
❶ 外線通話中に[保留]ボタンを押します。

⇩

自電話機の[DILIN]ランプは緑の点滅となります。
他電話機（グループ内）の[DILIN]ランプは赤の点滅となります。
自電話機の[着信／メッセージ]ランプは遅い点滅となります。

外線を保留するとき（外線自己保留）

自己保留



❶ 外線通話中に[自己保留]ボタンを押します。

⇩

自電話機の[DILIN]ランプは緑の点滅となります。
他電話機（グループ内）の[DILIN]ランプは赤の点灯となります。
自電話機の[着信／メッセージ]ランプは遅い点滅となります。

補足説明

- [着信／メッセージ]ランプは[保留]ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 他外線をつかむか、他の電話機が保留外線に応答すると[着信／メッセージ]ランプは消えます。
- 自己保留中に保留警報が働いた場合は、自己保留は解除され一般保留になります。

ご注意

- 自己保留中に送受器を置くと一般保留になります。

知っていると便利なこと

- 単独電話機の場合は、フッキングまたは“２”ダイヤルで保留します。

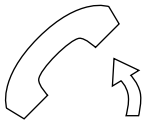
7．外線からの着信に応答するとき

ストレートラインDI

保留応答

保留中の外線に応答できます。

DILIN ランプで表示される保留外線に応答するとき



❶ 送受器をとります。

DILIN

❷ 対応の DILIN ボタンを押します。

❸ 外線と通話できます。

ご注意

●DILIN ボタンで応答できるのは、自グループ内で DILIN ランプが保留点滅している場合に限ります。

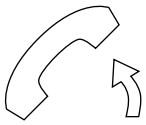
知っていると便利なこと

●対応の DILIN ボタンを押してから送受器をとっても応答できます。

7．外線からの着信に応答するとき

ストレートラインDI

DILINランプで表示されない保留外線に応答するとき



❶ 送受器をとります。

9

❷ 保留応答番号9ボタンを押します。

❸ 外線と通話ができます。

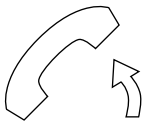
補足説明

●保留応答番号で応答する場合は、2回線以上保留があると外線番号の若番側より応答します。

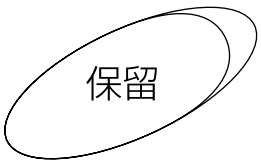
知っていると便利なこと

●保留応答番号を変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●自分で保留した外線に応答する場合は保留自己外線応答番号を押します。

着信／メッセージランプが保留点滅している電話機で応答するとき



❶ 送受器をとります。



❷ 保留ボタンを押します。

⇩

着信／メッセージランプが消えます。

❸ 外線と通話ができます。

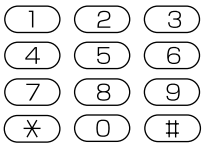
7．外線からの着信に応答するとき

ストレートラインDI

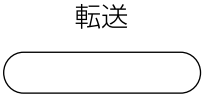
転送

転送ボタンを操作して通話中の外線を転送できます。

❶ 外線と通話中に内線ボタンを押します。



❷ 転送したい相手の内線番号を押して呼び出します。



❸ 相手が応答してから、通話して転送ボタンを押しますと外線が転送されます。

ご注意

- 転送ボタンの設定はP160を参照してください。
- 2回線以上保留した場合は、最後に保留した外線が転送されます。
- 転送先の電話機がサービスクラスG（乙）の場合には転送できません。

知っていると便利なこと

- 内線ボタンの代わりに保留ボタンでもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ❸で転送ボタンの代わりに送受器を置くことにより転送することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 相手が応答する前に転送ボタンを押すと外線簡易転送になります。また、転送ボタンの代わりに送受器を置くことにより外線簡易転送することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

7．外線からの着信に応答するとき

留守モード

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
228	―	―	―

外線着信時に一定時間応答しない場合に留守モードに切り替えることができます。留守モードになると外部からのリモート操作により、転送電話機能や夜間切替などの切替や変更が可能となります。

留守モードに切り替える操作

外線の状態により操作が異なります。

外線の状態	留守モードに切り替える操作
一般外線 ダイレクトインライン（DIL）の外線 ダイヤルイン（DI）の外線 ストレートラインDIの外線 i（アイ）・ナンバーの外線	着信後、一定時間応答しないと自動的に留守モードになります。
外線自動応答メッセージがセットしてある外線	・メッセージを聞いているときに、PB信号（9 9 9 #）をダイヤルします。 ・一般着信後、一定時間で自動的に留守モードになります。
転送電話機能（転送メッセージなし）がセットしてある外線	・一定時間、転送先が応答しない場合は、自動的に留守モードになります。 ・転送先が応答して通話になったら、PB信号（9 9 9 #）をダイヤルします。留守モードに切り替わると転送先の外線は切り離されます。
転送電話機能（転送メッセージあり）がセットしてある外線	・転送中及び転送先が応答後の通話中に、PB信号（9 9 9 #）をダイヤルします。留守モードに切り替わると転送先の外線は切り離されます。

留守モードから操作及び変更できる機能

留守モードから操作及び変更可能な機能を下記に示します。（詳しくはそれぞれの機能説明を参照してください。）

①夜間切替→P97参照
②転送電話機能の切替（ON／OFF）→P61参照
③転送電話機能の転送先の変更（転送先番号の変更）→P62参照
④転送電話機能の転送先切替（A面／B面の変更）→P63参照
⑤リモコン→P87参照
⑥ボイスメモへの接続→ボイスメモの内線番号をダイヤルします。
⑦不在転送機能の転送先の変更→P126、P207参照

補足説明

●外線着信から留守モードまでの時間は約90秒です。（時間を変更することもできます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●ダイレクトインダイヤル（DID）を使っても同様に操作及び変更できます。

ご注意

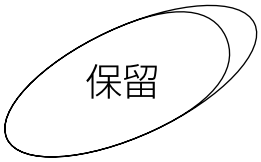
●留守モードに設定できる外線はシステム当たり1つの外線または1つのダイヤルイン（DI）加入者番号です。ISDN回線は1本でアナログ回線2本分に相当しますが、留守モードに設定できるのは1つの外線のみです。（例：ISDN回線1本を外線1、外線2で使用していても、留守モードに設定できるのは外線1または外線2のみ）
●リモート操作を行なう場合、パスワード（4桁）が必要です。工場出荷時はパスワードは0000に設定されています。パスワードを変更したり、パスワードをなしにすることもできます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

8．外線を保留するとき

外線通話を一時保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（301）	―	―	―

外線を保留するとき



❶ 外線通話中に 保留 ボタンを押します。

⇩

外線には、保留音が流れます。

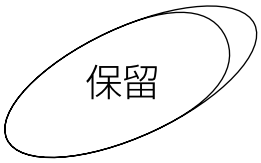
外線ボタンを押して保留した外線に戻るとき

❶ 保留した 外線 ボタンを押します。

⇩

保留した相手と再び通話ができます。

保留ボタンを押して外線に戻るとき



❶ 着信／メッセージ ランプが遅い点滅をしているときに 保留 ボタンを押します。

⇩

保留した相手と再び通話ができます。

補足説明

●保留した場合、電話機のランプが点滅します。

電話機	ランプ	ランプ状態
保留した電話機	外線ランプ	緑の点滅
	メッセージランプ	赤の遅い点滅
他の電話機	外線ランプ	赤の遅い点滅

着信／メッセージ ランプは保留ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。

ご注意

● 外線を保留するとき の❶の操作後、送受器を置いても外線は切れません。

知っていると便利なこと

●外線を保留して一定時間（30秒、60秒、90秒の3者択一）を過ぎると保留した電話機に警報音と 外線 及び 着信／メッセージ ランプで時間経過を知らせることもできます。（この機能を保留警報といいます。）但し、保留した電話機がスピーカ受話になっていると警報音はでません。（詳しくは販売店にお問い合わせください。）

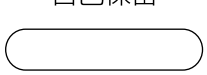
8．外線を保留するとき

自己保留

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（304）	ー	自己保留（98）	ー

自己保留ボタンを押すことにより、自分だけの保留（他の電話機から応答できない）とすることができます。

自己保留するとき

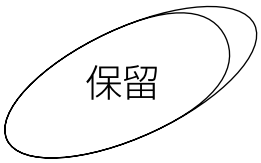


❶ 外線通話中に自己保留ボタンを押します。

⇩

外線には、保留音が流れます。

通話に戻るとき



❶ 保留ボタンを押します。

補足説明

●自己保留ボタンの設定はP160を参照してください。

●保留した場合、電話機のランプが点滅します。

電話機	ランプ	ランプ状態
保留した電話機	外線ランプ	緑の点滅
	メッセージランプ	赤の遅い点滅
他の電話機	外線ランプ	赤の点火

着信／メッセージランプは保留ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。

ご注意

●自己保留ボタンで保留後、送受器を置くと自己保留は解除され、一般の保留となります。

知っていると便利なこと

●外線を保留して一定時間（30秒、60秒、90秒の3者択一）を過ぎると保留した電話機に警報音と外線及び着信／メッセージランプで時間経過を知らせることもできます。（この機能を保留警報といいます。）但し、保留した電話機がスピーカ受話になっていると警報音はでません。（詳しくは販売店にお問い合わせください。）

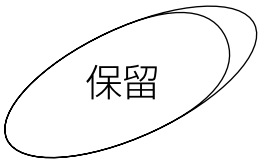
9．外線を転送するとき

外線からの電話を他の電話機へ転送するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

口頭で連絡して転送するとき（口頭転送）

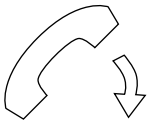
転送したい人が近くにいるときは一旦、保留して、口頭で連絡することにより外線を転送します。



❶ 外線通話中に 保留 ボタンを押します。

⇩

外線には、保留音が流れます。

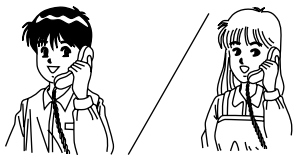


❷ 送受器を置きます。

❸ 「○○さん、○番に電話です。」と口頭で連絡します。

外線

❹ 呼ばれた人は送受器をとり、保留中の 外線 ボタン（赤の遅い点滅）を押します。



❺ 保留してあった外線と通話ができます。

9．外線を転送するとき

外線からの電話を他の電話機へ転送するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
308，309	―	―	―

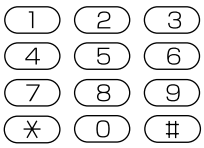
転送先が応答してから転送するとき（オンフック転送）

転送先を呼び出し、相手応答後に転送する旨を伝え送受器を置くと外線と転送先との通話になります。

❶ 外線通話中に 内線 ボタンを押します。

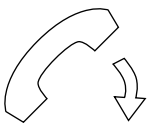
⇩

外線には、保留音が流れます。

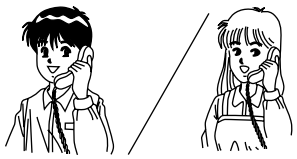


❷ 転送したい相手の内線番号を押します。

❸ 相手が応答したら用件を伝えます。



❹ 送受器を置きます。



❺ 呼ばれた人に外線が転送され、外線通話となります。

補足説明

●❶～❸のとき、保留した 外線 ボタンを押すと、外線保留の通話に戻れます。

ご注意

●内線番号を誤ったときは フック ボタンを押して❷の操作から行なってください。

知っていると便利なこと

●保留 ボタンを押してから❷～❹の操作をしても転送できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●送受器を置く代わりに 転送 ボタンを押すと、転送できます。 転送 ボタンの設定はP160を参照してください。

9．外線を転送するとき

外線からの電話を他の電話機へ転送するとき

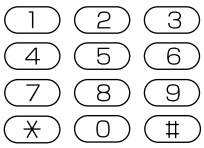
転送先が応答する前に転送するとき（簡易転送）

転送したい相手が応答する前に送受器を置くとそのまま外線を転送することができます。

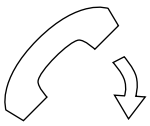
❶ 外線通話中に 内線 ボタンを押します。

⇩

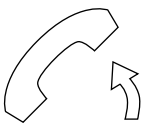
外線には、保留音が流れます。



❷ 転送したい相手の内線番号を押します。



❸ 送受器を置きます。



❹ 呼ばれた人は送受器をとります。

❺ 外線の相手と通話ができます。

補足説明

●転送を受ける人がいないときは、保留中の 外線 ボタンを押すと、再び外線の相手と通話ができます。

ご注意

●転送した電話が使用中の場合は、転送できません。

●転送先のダイヤルを間違ったりしたときなど、すぐ外線に戻りたい場合は、 外線 ボタンを押すと、再び外線の相手と通話ができます。

知っていると便利なこと

●送受器を置く代わりに 転送 ボタンを押すと、転送できます。 転送 ボタンの設定はP160を参照してください。

●一定時間相手が応答しないときは、転送元を呼出し、通話を戻すことができます。（この機能をオートマチックリコールといいます。）

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

外からかかってきた電話をあらかじめ指定しておいた相手へ自動転送（転送電話機能）するか、あるいは、一旦受けてから任意の外線に手動で転送するかの2通りあります。また、転送電話機能には3つのモードがありますので有効なモードを使用してください。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

モード	機　能　概　要
通常モード	転送先1ヵ所に発信します。
追っかけモード	転送先が一定時間応答しない場合は、もう1ヵ所に発信します。
ツインビームモード	2ヵ所の転送先に同時に発信します。

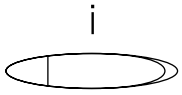
＊アナログ回線時のみ必要

転送電話機能

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
401（自動の場合）	○	ー	ET-TRI（1）-Gi ET-TRI（2）-Gi

外からかかってきた電話をあらかじめ設定しておいた相手（2ヵ所まで）に転送できます。（このことを転送電話機能といいます。）

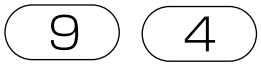
転送先の登録方法



❶ [i]ボタンを押します。

⇩

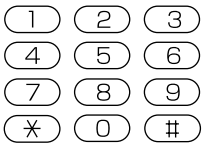
[i]ランプが点火します。



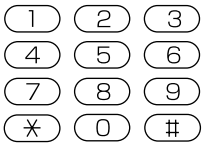
❷ [9][4]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが遅い点滅になります。

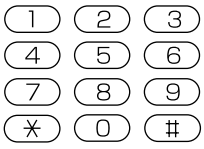


❸ 着信外線番号（2桁）を押します。

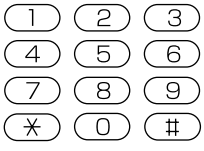


❹ 夜間切替のモード（1桁）を押します。

（0：昼モード
1：夜間モード
2：外出モード
3：休日モード
4：全モード一括登録）



❺ A面（転送先1ヵ所目）に設定するシステム短縮番号（00～79）を押します。

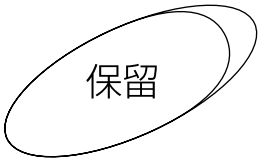


❻ B面（転送先2ヵ所目）に設定するシステム短縮番号（00～79）を押します。

次ページへつづく

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

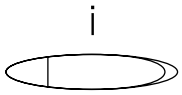
転送電話機能



❼ 保留 ボタンを押します。

⇩

i ランプが早い点滅になります。



❽ i ボタンを押します。

⇩

i ランプが消えます。

補足説明

●❼の操作時の表示は下記の表示例のようになります。

［表示例］

テ	ン	ソ	ウ	サ	キ		カ゛	イ	セ	ン	；	0	1	
1	：	ヤ	カ	ン	モ	ー	ト゛	＝	7	8	,	7	9	

夜間モード番号（※）　モード名称（※）　A面短縮番号　B面短縮番号

●ストレートラインDI機能で転送電話を行なう場合は、DILIN番号毎に転送先を設定します。この場合は、❸で外線番号の代わりに # ＋DILIN番号（01～96）を押します。また、そのときの❼の操作時の表示は下記の表示例のようになります。

［表示例］

DILIN番号

テ	ン	ソ	ウ	サ	キ		D	I	L	I	N	；	0	1	
1	：	ヤ	カ	ン	モ	ー	ト゛	＝	7	8	,	7	9	

夜間モード番号（※）　モード名称（※）　A面短縮番号　B面短縮番号

●❻を省略するとA面と同じ短縮番号がB面に登録されます。

（※）夜間切替のモード番号とモード名称

夜間切替のモード番号	モード名称
0	ヒルモード
1	ヤカンモード
2	ガイシュツ
3	キュウジツ
4	ゼンモード

ご注意

●設定できる短縮番号はシステム短縮番号に限ります。

知っていると便利なこと

●A面，B面の切替は 転送先切替 ボタンを押して行ないます。 転送先切替 ランプが点灯しているとB面， 転送先切替 ランプが消えているとA面になっていることを示します。尚、 転送先切替 ボタンの設定はP160を参照ください。

● 転送先切替 ボタンの操作ができる電話機は、テナント毎に8台まで設定できます。（夜間切替操作電話機と共通）

●A面，B面の切替は外部からのリモート操作でも可能です。

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

転送電話機能

転送電話機能に切り替える方法

転送切替ボタンを操作することにより転送電話機能が行なえます。

転送切替

❶ 転送切替ボタンを押します。

⇩

転送切替ランプが点灯になります。

補足説明

- 転送切替ボタンの設定はP160を参照してください。
- 転送切替を解除する場合は、転送切替ランプが点灯になっているときに再度転送切替ボタンを押します。（転送切替ランプは消えます。）
- 夜間のモード（夜間モード、外出モード、休日モード）への切替えは夜間切替ボタン操作で行ないます。（P94参照）モード毎に異なる転送先を登録（P59参照）しておくと、転送先を使い分けることができます。
- 転送切替ボタン、夜間切替ボタンの操作ができる電話機は、テナント毎に8台まで設定できます。

ご注意

- 転送先の外線が応答した場合でも、応答を検出できないときは転送できません。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 通話成立後、約30分で強制的に外線は切り放されます。（切り放す10秒前に“ピー”という切断音が送出されます。）尚、切り放す時間を変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

知っていると便利なこと

- 夜間切替ボタン操作で転送電話機能に切替えることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 外部（外出先など）から留守モード（P53参照）に設定した外線にかけて転送電話機能に切り替えることができます。（留守モードとは外部からのダイヤル操作でリモコン操作が可能となるモードのことです。）

  ［操作概要］

  外部から留守モードに設定されている外線にかける。→一定時間呼び続けた後、一次応答信号が送出される。→一次応答信号を聞いたら＃をダイヤルする。→パスワード（4桁）をダイヤルする。→3をダイヤルする。→転送切替用電話機の電話機番号をダイヤルする。→1（解除する場合は0）をダイヤルする。→＃をダイヤルする。

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

＊アナログ回線時のみ必要

リモート操作による転送先の変更

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
228，401	—	—	ET-TRI（1）-Gi ET-TRI（2）-Gi

外部（外出先など）から留守モードに設定した外線にかけて転送番号や転送先（A面／B面）を変更することができます。（留守モードとは外部からのダイヤル操作でリモート操作が可能となるモードのことです。）

リモート操作による転送先番号の変更

❶ 外出先より本装置の留守モードの外線に電話をかけます。

⇩

呼出しが一定時間経過すると一次応答信号(発信音ツーツーツー…またはメッセージ)が送出されます。

＃

❷ 一次応答信号を確認したら、＃ボタンを押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❸ パスワード（4桁）を押します。

⇩

システム側の受信状態を音で確認します。
（内部保留音：OK　話し中の音：NG）

4

❹ 4ボタンを押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❺ 変更したい転送電話機能外線の番号（2桁）を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❻ モード番号（0～4）を押します。

0：昼モード
1：夜モード
2：外出モード
3：休日モード
4：全モード一括登録

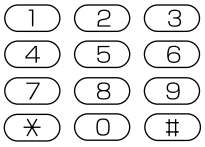
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❼ 変更したいA面（転送先1ヵ所目）の短縮番号（00～79）を押します。

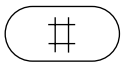
次ページへつづく

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

リモート操作による転送先の変更



❽ 変更したいB面（転送先2ヵ所目）の短縮番号（00～79）を押します。



❾ ＃を押して、保留音が聞こえたら送受器を置きます。

補足説明

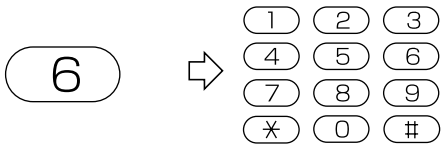
- ●外部の電話機がPB信号送出可能であれば操作できます。
- ●❸でNGのとき、＊を押すと❷からやり直しができます。

知っていると便利なこと

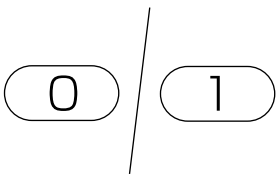
- ●パスワードをなしにすることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ●留守モード用外線の代わりに、ダイレクトインダイヤル（DID）を使ってリモート操作を行なうこともできます。
- ●ストレートラインDI機能の転送先変更は❹で5，❺でDILIN番号（01～96）を押し❻～❾の操作を行ないます。

リモート操作による転送先（A面／B面）の変更

P62の❶～❸の操作を行なった後、下記の操作を行ないます。

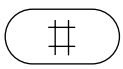


❹ 6ボタンを押してから、転送先切替用電話機の電話機番号を押します。



❺ 0ボタンまたは1ボタンを押します。

- 0：A面
- 1：B面



❻ ＃ボタンを押して、変更完了後（保留音確認後）送受器を置きます。

10．外線からかかってきた電話を外線に転送したいとき

＊アナログ回線時のみ必要

手動転送

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
402	ー	転送（95）	ET-TRI（1）-Gi ET-TRI（2）-Gi

外線からかかってきた電話に一旦、応答してから、別の外線に転送します。（このことを手動転送といいます。）

内線

❶ 外線通話中に 内線 ボタンを押します。

外線

❷ 別の空き 外線 ボタンを押し、転送先の電話番号を押します。

転送

❸ 相手が応答したら、 転送 ボタンを押します。

補足説明

●転送ボタンの設定はP160を参照してください。

ご注意

●フリーダイヤルなど応答情報がない外線には転送できません。
●通話成立後、約30分で強制的に外線は切り放されます。（切り放す10秒前に“ピー”という切断音が送出されます。）尚、切り放す時間を変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

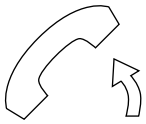
知っていると便利なこと

●内線ボタンの代わりに保留ボタン又は自己保留ボタンでもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●オンフック転送機能が設定されている場合は転送ボタンの代わりに送受器を置くだけで転送できます。

11．外線通話に割り込みたいとき

他の人の通話に割り込みたいとき（外線割込通話）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
412	ー	ー	ET-CFU-Gi



❶ 送受器をとります。

外線

❷ 割り込みたい 外線 ボタンを押します。

⇩

割り込めたとき‥‥‥‥‥緑の点滅
割り込めなかったとき‥‥赤の点灯

❸ 割り込み通話ができます。

補足説明

●外線通話に割り込めるのは、最初に外線と通話している内線電話機を含めて5台まで可能です。
●設定により、割り込める電話機、割り込まれる電話機を指定します。
●割り込まれた電話機が終話すると、割り込んだ電話機と外線との外線通話になります。

ご注意

●2外線アッドオン中の外線には割り込みできません。
●最初に外線と通話している内線電話機は保留・転送・ダイヤル送出または外線フッキングはできません。
●サービスクラスG（乙）の電話機は外線割込通話の設定に関係なく割り込めません。
●発着信テナント及び完全テナントの場合は、他テナントグループの外線には割り込めません。
●会議通話回路（CFU）が全て使用中には割り込みできません。
●割込まれた電話機で 3者会議 ボタン（点火中）を押すと、割り込んだ電話機は全て切り放されます。（ 3者会議 ボタンの設定はP160を参照してください。）

知っていると便利なこと

●電話機データの設定により割り込まれたボタン電話機にアラーム音を送出することもできます。（単独電話機は送出されません。）

11．外線通話に割り込みたいとき

外線通話中に他の内線電話を加えて話しがしたいとき（外線アッドオン）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（413）	ー	3者会議（83）	ET-CFU-Gi

内線

❶ 外線通話中に 内線 ボタンを押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❷ 呼び出したい電話機の内線番号を押します。

❸ 相手が応答したら3者で通話することを伝えます。

3者会議

❹ 3者会議 ボタンを押します。

⇩

3者会議 ランプが点灯します。

❺ 3者通話ができます。

補足説明

- 3者会議 ボタンの設定は、P160を参照してください。
- 3者通話中に内線電話機のどちらかが終話すると、残りの電話機での外線通話となります。

ご注意

- 3者通話中の外線は、保留・転送・ダイヤル送出及び外線フッキングはできません。
- 外線アッドオン、2外線アッドオン、または外線割込通話中には外線アッドオンできません。
- サービスクラスG（乙）の電話機は外線アッドオンできません。
- 完全テナントの場合は、他テナントグループの電話機には外線アッドオンできません。
- 会議通話回路（CFU）が全て使用中には外線アッドオンはできません。

知っていると便利なこと

- 3者通話中に 3者会議 ランプが点灯している電話機で 3者会議 ボタンを押すと、第3者の電話機は切り放されます。

11．外線通話に割り込みたいとき

外線通話中に他の外線の人と同時に話しがしたいとき（2外線アッドオン）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（414）	ー	3者会議（83）	ET-CFU-Gi

内線

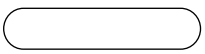
❶ 外線通話中 内線 ボタンを押します。

外線

❷ 別の 外線 ボタンを使って電話をかけます。

❸ 呼び出した相手が応答したら3者で通話することを伝えます。

3者会議



❹ 3者会議 ボタンを押します。

⇩

3者会議 ランプが点灯します。

❺ 3者通話ができます。

次ページへつづく

11．外線通話に割り込みたいとき

外線通話中に他の外線の人と同時に話しがしたいとき（2外線アッドオン）

補足説明

●2外線アッドオン中以外の電話機の 外線 ランプは2つとも赤の点灯で表示します。
●1つの外線に戻るには、戻りたい 外線 ボタンを押します。
● 3者会議 ボタンの設定は、P160を参照してください。
●3者通話中に 3者会議 ボタンを押すと後から発信した外線は切断され、最初に通話していた外線に戻ります。
●3者通話中に内線電話機が終話すると外線は切り放されます。3者通話中に内線電話機が通話中外線の 外線 ボタンを押すと、一方の外線は切り放されます。

ご注意

●3者通話中は、外線の保留・転送・外線フッキングできません。
●外線アッドオン、2外線アッドオン、または外線割込通話中の外線では2外線アッドオンできません。
●3者通話回路（CFU）が全て使用中には2外線アッドオンできません。

知っていると便利なこと

●3者通話中に 転送 ボタンを押すと、外線手動転送になります。転送元の電話機が 外線 ボタンを押すと再度3者通話に戻ります。
●3者通話中に電話機がダイヤルするとPB信号を外線に送出します。

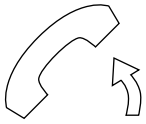
12．バーチャルライン方式の外線着信に応答するとき

複数の外線を1つのグループにまとめ、発着信は電話機に設定した[発信]、[着信]、[パーク]ボタンにより行ないます。（この方式を「バーチャルライン方式」または「索線方式」と呼びます。）

外線着信に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
226	―	発信（65）	―

複数の外線を1つの[着信]ボタンにまとめることにより着信表示及び応答を[着信]ボタンで行なうことができます。



❶ 外線着信中（[着信]ランプは赤の早い点滅）に送受器をとります。

着信

❷ [着信]ボタンを押します。

⇩

[着信]ランプが緑の遅い点滅になります。

補足説明

- [着信]ボタンは取付時に設定しますので、設定は工事者に依頼してください。
- 1台の電話機に設定できる[着信]ボタンは最大24個です。

ご注意

- [着信]ボタンに割り付けられたボタンは、プログラマブルキーで他のボタンに変更することはできません。

知っていると便利なこと

- 1つの[着信]ボタンに複数の着信がある場合は、全ての着信に応答または着信がなくなるまで[着信]ランプを早い点滅にすることができます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- オフフック応答機能が設定されている場合は、送受器をとるだけで応答できます。
- [着信]ボタンを押してから送受器をとっても応答できます。
- 外線発信する場合は外線自動発信または[発信]ボタンで発信します。尚、[発信]ボタンの設定はP160を参照してください。
- 通話している外線を他の電話機に転送することができます。操作につきましては、［外線を転送するとき］（P57，58）を参照してください。

12．バーチャルライン方式の外線を保留するとき

通話を保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
317	―	―	―

外線を保留した場合は、パークボタンに保留表示され、保留に応答する場合は、パークボタンを押して応答します。

保留するとき

❶ 外線と通話中にランプの消えているパークボタンを押します。

⇩

- 自電話機の発信ランプは消えます。
- 自電話機のパークランプは緑の点滅になります。
- 内線グループ内の他電話機のパークランプは赤の遅い点滅になります。
- 自電話機の着信／メッセージランプは遅い点滅になります。

補足説明

- パークボタンは取付時に設定しますので、設定は工事者に依頼してください。
- 着信／メッセージランプは保留ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。
- 空きのパークボタンがないと保留することができません。設定変更により空きのパークボタンがなくても保留操作を有効にすることもできます。
- パークに保留できなかった場合は、自電話機の発信ランプは消え、着信／メッセージランプは遅い点滅となります。（空きのパークボタンがないときの保留を有効と設定したとき）
- パークボタンが有効なのは、バーチャルライン方式の外線、及びバーチャルライン方式のストレートラインDIの外線を保留する場合です。
- パークボタンは電話機グループごとに最大8個まで設定できます。
- パークボタンの数と位置は、グループ内で共通です。パークボタンはシステム共通、またはグループ内のみのいずれかを設定できます。（パーク1はシステム共通、パーク2～4をグループ内のみと設定した場合、グループ外に口頭転送するときはパーク1を選択して保留します。

ご注意

- パークボタンに保留できなかった場合は、保留に戻る場合には保留ボタンによる保留応答機能または保留応答特番で戻る必要があります。（空きのパークボタンがないときの保留を有効と設定したとき）
- パークボタンに保留できなかった場合は、外線は保留されていないので送受器を戻すと外線は切断されます。（空きのパークボタンがないときの保留を無効と設定したとき）
- パークボタンに割り付けられたボタンはプログラマブルキーで他のボタンに変更することはできません。他のボタンに割り付ける場合は、データ設定でパークボタンを解除してから行ないます。

12．バーチャルライン方式の外線を保留するとき

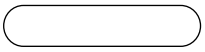
通話を保留するとき

知っていると便利なこと

●パークボタンの代わりに保留ボタンでも保留できます。保留した外線を転送することができます。
●パークボタンを選択しないで保留した場合は、グループ内のみのパークボタンに保留するか、システムのパークボタンに保留するかを設定できます。初期値は、グループ内のパークボタンに保留します。

自己保留するとき

自己保留



❶ 外線と通話中に 自己保留 ボタンを押します。

⇩

自電話機の 発信 ランプは消え、
着信／メッセージ ランプは遅い点滅となります。

補足説明

●自己保留 ボタンの設定はP160を参照してください。
●自己保留中に、送受器を置いた場合は、保留警報状態となりオフフック応答機能の設定に関係なく送受器をとるだけで保留に応答します。

ご注意

●自己保留中に通話に戻るには、保留ボタンで戻る必要があるため保留ボタンによる保留応答機能を設定する必要があります。
●自己保留中には、他の外線はつかめません。

知っていると便利なこと

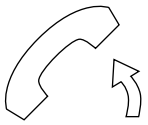
●保留警報状態となった場合は、自己保留は解除されているので他の電話機から保留応答特番で応答することができます。

12．バーチャルライン方式の外線を保留するとき

保留してある外線に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
317	―	―	―

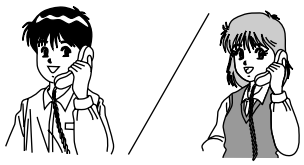
保留に戻るとき



❶ 送受器をとります。

パーク

❷ 点滅している[パーク]ボタンを押します。



❸ 保留されていた外線と通話できます。

⇩

・自電話機の[発信]ランプは緑の点滅になります。
・自電話機の[パーク]ランプは消えます。
・他電話機（内線グループ内）の[パーク]ランプは消えます。

ご注意

●単独電話機の場合は、[2]ボタンまたはフッキングで保留可能ですが、[パーク]ボタンを指定しての応答はできません。

知っていると便利なこと

●単独電話機で保留に応答する場合は、保留応答特番をダイヤルします。
●[パーク]ボタンを押してから送受器をとって応答できます。

12．バーチャルライン方式の外線着信に応答するとき

外線捕捉時の保留中 パークボタンを押したときの動作

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
317	ー	ー	ー

バーチャルラインをご利用の場合、外線をつかんだ状態で保留中の[パーク]ボタンを押したときの動作を、つかんだ外線を別の[パーク]ボタンに保留するか、[パーク]ボタンの保留に応答してつかんだ外線を切るかを選択することができます。

●動作を選択するには主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

捕捉中の外線を保留する設定とした場合

外線をつかんだ状態で点滅している[パーク]ボタンを押すと、空きの[パーク]ボタンにつかんだ外線が保留されます。

補足説明

●工場出荷時は本設定です。
●自分が保留した[パーク]ボタンは緑の点滅になります。

ご注意

●送受器をとるだけで外線をつかむ「オフフック自動発信」が設定されていると、送受器をとってから[パーク]ボタンに保留されている外線に応答することができません。
保留に応答したい場合は、[パーク]ボタンを押してから送受器をとってください。

[パーク]ボタンの保留に応答する設定とした場合（ROM版数8-5より適用）

外線をつかんだ状態で点滅している[パーク]ボタンを押すと、つかんだ外線は切断され[パーク]ボタンに保留されていた外線に応答します。

補足説明

●外線をつかんだ状態でなくても、送受器をとり点滅している[パーク]ボタンを押すと保留に応答できます。

ご注意

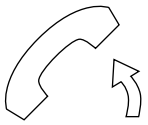
●送受器をとるだけで外線着信に応答する「オフフック自動応答」が設定されていると、送受器をとったときに着信に応答する場合があります。このときに保留中の[パーク]ボタンを押すと、着信に応答した外線が切れますので注意してください。
●本設定の場合、保留するときはできるだけ空きの[パーク]ボタンは押さずに[保留]ボタンを押してください。
ほぼ同時に、2台の電話機が外線を保留するために同じ空きの[パーク]ボタンを押した場合、誤って保留できなかった外線を切ってしまったり、保留された外線を切ってしまうことがあります。

13．外線通話の特殊な機能

ダイレクトインライン（DIL）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
214	―	―	―

あらかじめ1つの外線に、1台の電話機を対応させ、外線着信時に対応の電話機を呼び出すことができます。



❶ 着信音が聞こえたら、送受器をとります。

❷ 相手と通話ができます。

補足説明

●応答後は一般の外線着信応答と同様に保留、転送ができます。

知っていると便利なこと

●外線着信したとき、一定時間内に応答しないときは、一般着信にすることもできます。
（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●着信中に他の電話機で代理応答することもできます。

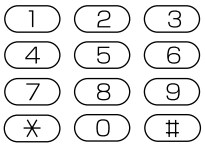
13．外線通話の特殊な機能

ダイレクトインダイヤル（DID）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
215	ー	ー	ET-PBU-Gi ET-「」MOTH-Gi

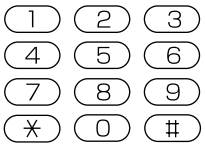
外線からプッシュホンまたはプッシュ信号送出可能な電話機で、電話番号を押すことにより、特定の内線電話機を直接呼出すことができます。

通常の操作



❶ 外部の電話からDID設定の外線に電話をかけます。

❷ 自動的に応答して一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が送出されます。



❸ 呼び出したい内線の内線番号を押します。

❹ 相手が応答すると通話となります。

補足説明

●発呼者には一次応答信号が約20秒送出され、ダイヤルを受信しないと話中音（BT）が送出されます。話中音（BT）を約8秒送出して切断します。
●内線電話機を約30秒呼び出して、応答がない場合は自動的に一般着信に切り替わり、更に約30秒応答がないと切断します。

知っていると便利なこと

●相手が話中等で呼び出せない（BT）ときは[＊]ボタンを押すと❷に戻ります。
●夜間切替により昼と夜で機能の有無を切替できます。
（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●内線番号がわからないときは[＃][＃]ボタンを押すと強制的に一般着信にすることもできます。
●留守モード（P53参照）と同様に❷の後にリモート操作を行うこともできます。

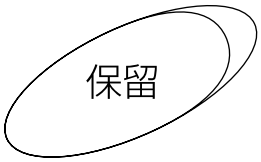
13．外線通話の特殊な機能

DI／DIDキャッチホン

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
223	ー	ー	ET-PBU-Gi ET-「」MOTH-Gi

外線通話中の電話機にダイヤルイン（DI）またはダイレクトインダイヤル（DID）で着信があった場合、通話中の電話機の操作で、通話中外線を自己保留して、着信外線に応答にすることができます。

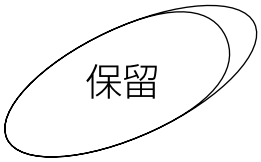
❶ 外線通話中にDIあるいはDIDで着信があったとき内線電話機側の送受器から着信音（ププ…）が聞こえます。



❷ 保留ボタンを押します。

⇩

通話中の外線が自己保留されて、DIまたはDIDの着信に応答します。



❸ 再び保留ボタンを押すとDIまたはDIDの相手との通話が自己保留になり最初に保留した相手と話すことができます。以後、保留ボタンを押すごとに❷，❸を繰り返します。

補足説明

- ●単独電話機の場合は、フッキングまたは2ボタンを押します。
- ●❶の状態で、内線電話機が送受器を置いた場合は、通話中の外線は切り放され、通常のDID、DI着信となり内線電話機が呼び出されます。
- ●ISDN回線の「i（アイ）・ナンバー」サービス（P217）もダイヤルインと同様にDI／DIDキャッチホンを利用することができます。

ご注意

- ●着信音送出中は、通話は途切れます。

13．外線通話の特殊な機能

＊アナログ回線時のみ必要

DI／ISDN着信拒否

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
220	○	お待たせ（71）	ET-PBU-Gi ET-「」MOTH-Gi

ISDN回線及び、ダイヤルイン（DI）での着信時に手が離せず応答できない場合は、あらかじめ[お待たせ]ボタンを操作しておくと着信に対して話中音（プープープー）を返すことができます。

DI／ISDN着信拒否を実施するとき

お待たせ

❶ [お待たせ]ボタンを押します。

⇩

[お待たせ]ランプが点灯します。

DI／ISDN着信拒否を解除するとき

お待たせ

❶ [お待たせ]ランプ点火中に[お待たせ]ボタンを押してください。

⇩

[お待たせ]ランプが消えます。

補足説明

- [お待たせ]ボタンの設定はP160を参照してください。
- 操作できる電話機は、テナント毎に8台まで設定できます。（夜間切替操作電話機と共通）

ご注意

- 外線着信中に[お待たせ]ボタンを押してもこの機能は動作しません。あらかじめ[お待たせ]ボタンを押しておいてください。([お待たせ]ランプを点火させる。）
- ISDN回線を使用していて、他のISDN機器がマルチ接続されている場合は、本機能を利用できない場合があります。（マルチ接続された機器が着信可能な場合）
- 「外線お待たせメッセージ」（P45参照）との併用はできません。

13．外線通話の特殊な機能

3者通話からの転送

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（414）	ー	3者会議（83）	ET-CFU-Gi

外線を他の外線に転送（手動転送）するとき、一旦、3者通話（2外線アッドオン、P67参照）してから転送することができます。

内線

❶ 外線通話中に 内線 ボタンを押します。

外線

❷ 別の 外線 ボタンを使って電話をかけます。

❸ 呼び出した相手が応答したら、外線を転送することを伝えます。

3者会議

❹ 3者会議 ボタンを押します。

⇩

3者会議 ランプが点灯し、3者通話となります。

転送

❺ 転送 ボタンを押します。

⇩

3者会議 ランプが消え、外線 ランプが緑から赤に変わります。

補足説明

●3者会議 ボタン及び 転送 ボタンの設定は、P160を参照してください。

知っていると便利なこと

●3者通話をする必要がなければ、❹の操作とオプションは不要です。

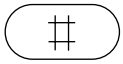
13．外線通話の特殊な機能

トーン切替

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（405）	ー	ー	ー

外線がダイヤル式回線（DP回線）の場合、通話中にダイヤルすればプッシュ信号を外線に送出できます。

切替操作



❶ 外線と通話中に＃ボタンを押します。

⇩

以後、ダイヤルするとプッシュ信号が送出されます。

補足説明

●着信応答の外線通話でもプッシュ信号を送出します。
●通話中にダイヤル式（DP）に戻すには、一度保留してから、外線に応答します。
●一度通話を終えますと、ダイヤル式（DP）に戻ります。

ご注意

●単独電話機では切替操作はできません。

知っていると便利なこと

●短縮ダイヤルに＃が登録されていると以後のダイヤルはプッシュ信号が送出されます。
●通話となった時点で、自動的に切り替えることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）但し、発信時の通話において相手応答を検出できない場合は切り替わりませんので＃ボタンによる切替操作が必要です。

13．外線通話の特殊な機能

外線通話モニタ（聴話）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（411）	―	聴話（90）	―

特定の電話機から他の人の外線通話を聞くことができます。

聴話

❶ 送受器を置いたまま 聴話 ボタンを押します。
（ スピーカ ランプも消えていること。）
⇩
聴話 ランプが点灯します。

外線

❷ モニタ（聴話）したい 外線 ボタンを押します。
⇩
外線ランプが緑に変わり、スピーカより声が聞こえます。

補足説明

●通話を聞くだけで、話しても相手には聞こえません。
●聴話を解除する場合は、再度 聴話 ボタンを押すか、送受器を一旦とってから戻せば解除されます。
●通話中の電話機が外線保留または終話するとモニタ（聴話）は解除されます。
● 聴話 ボタンの設定はP160を参照してください。

ご注意

●1つの通話を同時にモニタ（聴話）できる電話機数には制限はありません。
●サービスクラスG（乙）の電話機は聴話の設定に関係なくモニタ（聴話）できません。
●発着信テナント及び完全テナントの場合は、他テナントグループの外線はモニタ（聴話）できません。
●ISDN外線をモニタ（聴話）した場合は、内線電話機側の声は聞こえません。

知っていると便利なこと

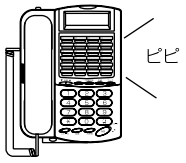
● 外線 ボタンの代わりに外線と話している電話機の電話番号を押してもモニタ（聴話）できます。
●❷の後に送受器をとるとスピーカは止まって相手の声を送受器で聞くことができます。
●モニタ（聴話）されたボタン電話機にアラーム音を送出することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

13．外線通話の特殊な機能

3分アラーム

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
406	ー	ー	ー

外線通話中に約3分経過するたびにアラームを鳴らすことができます。



❶ 外線に通話中に、約3分経過するたびに、スピーカよりアラーム（ピピ）が送出されます。

知っていると便利なこと

●電話機毎に機能の有無を設定できます。設定につきましては販売店にお問い合わせください。
●アラームの送出を発信通話／着信通話両方に送出するか発信通話のみ送出するかを選択できます。設定につきましては販売店にお問い合わせください。
●設定時間は、1分～7分の1分ごとを選択できます。設定につきましては販売店にお問い合わせください。

14．ハンズフリーの使い方

通話するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（606）	ー	マイク（82）	ET-2HFU-Gi

外線通話時に送受器を持たずに通話することができます。尚、停電時にはハンズフリー通話はできません。

外線に発信するとき

外線

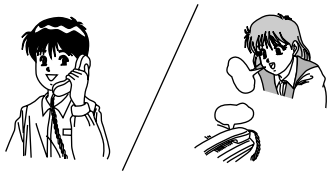
❶ 外線ボタンを押します。
（マイクランプが消えていること）
⇩
スピーカランプが点火します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❷ 相手の電話番号を押します。

マイク

❸ マイクボタンを押します。
⇩
マイクランプが点火します。（マイクON）



❹ 相手の声が聞こえ、送受器を取らずに通話ができます。

補足説明

- マイクボタンの設定はP160を参照してください。
- 内線へ発信する場合は内線ボタンを押します。

ご注意

- マイクON（ランプ点火）のまま電話をかけると、発信音や呼出音が途切れることがあります。
- 相手が話し終ったらマイク(電話機)の正面に向かって約1m以内ではっきりとお話しください。
- 相手の話しが終らないうちに話すと、声が途切れることがあります。

知っていると便利なこと

- 相手の声の大きさは、▼音量▲ボタンにより、スピーカ音量を調節してください。

14．ハンズフリーの使い方

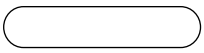
通話するとき

外線着信に応答するとき

スピーカ

❶ スピーカ ボタンを押します。
（マイク ランプが消えていること）

外線



❷ 着信中の 外線 ボタンを押します。

マイク

❸ マイク ボタンを押します。
⇩
マイク ランプが点灯します。（マイクON）

❹ 相手の声が聞こえ、送受器を取らずに通話ができます。

ご注意

●通話中に マイク ボタンを押すとマイクがOFFになり（ マイク ランプ消えます。）こちらの声は相手に届きません。再度 マイク ボタンを押すとマイクON状態（ マイク ランプ点灯）になり、通話状態になります。
●相手が話し終ったらマイク(電話機)の正面に向かって約1m以内ではっきりとお話しください。
●相手の話しが終らないうちに話すと、声が途切れることがあります。

知っていると便利なこと

●内線の着信の場合は マイク ボタンを押すだけで応答できます。着信すると「プップッ」という冒頭音の後、自動的に応答状態になります。
●通話中にマイクをOFFしても音声は伝わりませんが、通話は切れません。
●音量を調節しても相手の声が小さいときは、送受器を使用してお話しください。

14．ハンズフリーの使い方

通話するとき

通話を終えるとき

スピーカ

❶ ハンズフリー通話中に スピーカ ボタンを押します。

⇩

ランプが消えます。

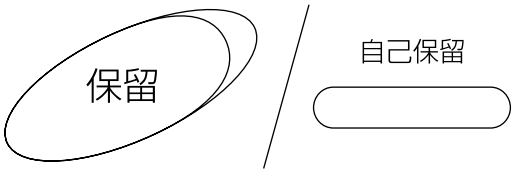
補足説明

●スピーカボタンの代わりに送受器を一旦とってから置くことにより通話を終えることもできます。

14．ハンズフリーの使い方

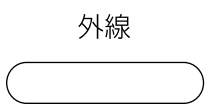
外線を保留するとき

外線を保留するとき



❶ ハンズフリー通話中に保留または自己保留ボタンを押します。

保留中の外線に応答するとき



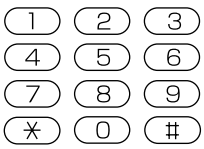
❶ マイクランプが点灯している状態で、保留中の外線ボタンを押します。

❷ スピーカボタンを押します。

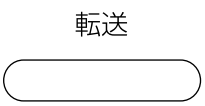
❸ 相手と通話します。

外線を他の人に転送するとき

❶ ハンズフリー通話中に内線ボタンを押します。



❷ 転送したい相手の内線番号をダイヤルします。



❸ 相手が応答したら転送ボタンを押します。

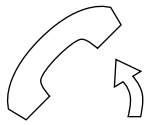
補足説明

● 転送ボタンの設定はP160を参照してください。

14．ハンズフリーの使い方

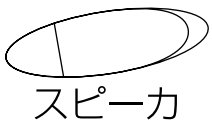
ハンズフリー通話中に切り替えるとき

ハンズフリー通話から送受器の通話に切り替えるとき

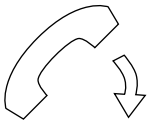


❶ 送受器をとります。

送受器の通話からハンズフリー通話に戻るとき



❶ ハンズフリー通話に戻るとき スピーカ ボタンを押します。



❷ 送受器を置きます。

ご注意

●ハンズフリー通話と送受器による通話は同時には使用できません。
●次の場所での使用は通話が困難になることがありますので、送受器をご使用ください。
①周囲騒音の大きい所（約60デシベル以上)
②音が反響しやすい所
③テレビ、ラジオ等の近く
④相手がハンズフリーやドアホンの時の通話
⑤3者通話、割込通話等での使用

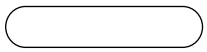
15．外線の更に便利な使い方

リモコン

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
621	ー	リモコン（86～89）	ET-PGU-Gi ET-「」MOTH-Gi

電話機の操作で外部機器のON/OFFをコントロールできます。また、留守モード（P53参照）に設定した外線にかけて外線からコントロールすることもできます。（留守モードとは外部からのダイヤル操作でリモート操作が可能となるモードのことです。）（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

電話機からの操作方法



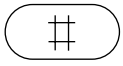
❶ リモコンボタンを押します。

⇩

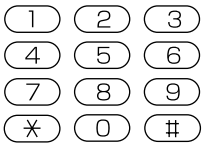
ON→リモコンランプ点火

OFF→リモコンランプ消えている

リモート操作により外線から操作する場合



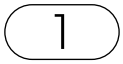
❶ 外出先より本装置の留守モードの外線に電話をかけ、一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）確認後#ボタンを押します。



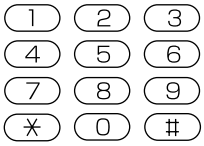
❷ パスワード（4桁）を押します。
（パスワード設定がない場合、本操作は省略します。）

⇩

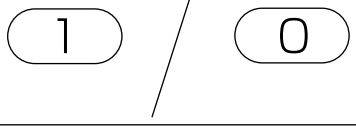
システム側の受信状態を音で確認します。
（内部保留音：OK　話し中の音：NG）



❸ 1ボタンを押します。



❹ リモコン番号（1～4）を押します。

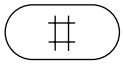


❺ ONにするとき1ボタンを押します。
（OFFにするときは0ボタンを押します。）

次ページへつづく

15．外線の更に便利な使い方

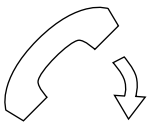
リモコン



❻ ＃ボタンを押します。

⇩

保留音が送出されます。



❼ 電話を切ります。

補足説明

●リモコンボタンの登録はP160を参照してください。

ご注意

●停電時（バッテリー切り放し後）はリモートコントロール用リレーが復旧します。復電しても、停電前の状態には戻りません。
●接続した機器が正常に動作しているかという確認はできませんのでご注意ください。

知っていると便利なこと

●❻の後（保留音送出中）❸から再度操作できます。
●❸以降の操作で話中音が聞こえた場合は米ボタンを押すと❶の操作から行なえます。

15．外線の更に便利な使い方

ファックス使用中表示

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
637	—	—	ET-FXU-Gi

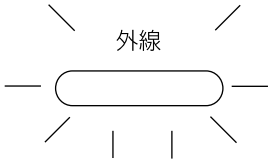
外線側に接続したファックスの使用中を 外線 ボタンで表示することができます。

ファックス回線を使って外に電話をかけるとき

❶ ファックス回線が接続されている外線ランプが消えていることを確かめてから、ファックス回線が接続されている 外線 ボタンを押します。

❷ 以下、通常の外に電話をかけるときの操作と同じです。

ファックスに着信があったとき



❶ 着信すると自動的にファックスが応答します。

⇩

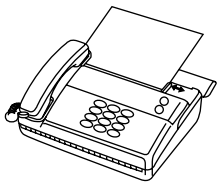
ファックスが収容されている外線ランプが赤色で点灯します。

ファックスで原稿を送信するとき

❶ ファックス回線が使用されていないことを確かめます。

⇩

（ファックスの発信操作をしても表示器にダイヤルが表示されないとき、電話機側で使用中です。）



❷ ファックスから原稿を送ります。

⇩

ファックスが収容されている外線ランプが赤色で点灯します。

15．外線の更に便利な使い方

電話／ファックス自動切替

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
225	—	—	ET-「」STI-Gi

電話とファックスを兼用した外線で、ファックスからの着信は自動的に内線に接続したファックスを呼び出します。

（相手側）

❶ 外線着信に自動応答し、相手側に呼出音（プルルルル…）を送出します。

⇩

ファックスからの着信の場合はファックスに接続し、ファックス以外からの着信の場合は、電話機に着信表示します。

補足説明

●ファックスかどうかは、送信側ファックスよりのCNG信号（ポー・ポー音）を検出して判定しますので判定まで約5秒程かかります。

ご注意

●ファックス使用中にファックス用外線に着信があった場合は、自動応答せずに通常の外線着信と同様に着信します。
●送信側のファックスがCNG信号を出さない場合は、ファックスにつながりません。

知っていると便利なこと

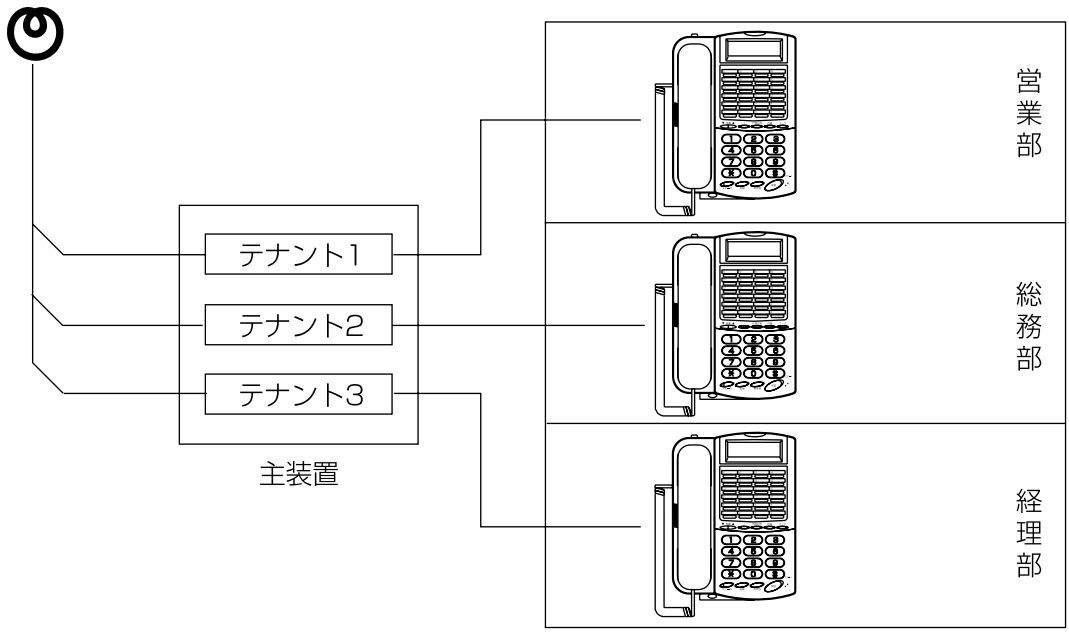
●電話機で応答したときにファックスからの着信だった場合は、一定時間以内に送受器を置くと自動的にファックスに転送することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●ISDN回線の場合、ペアとなる2本のどちらの外線にかかってきても機能しますが、ファックス使用中にもう一本ファックスへの着信があった場合は、通常の外線着信と同様に着信します。２本目の着信に対して応答したくない場合は、話中音（プープープー）を返すこともできます。（但し、電話への着信も話中音を返します。）詳しくは、販売店にお問い合わせください。

15．外線の更に便利な使い方

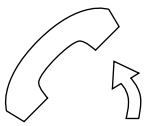
テナント機能

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
205，407～410	ー	代理応答（96）	ー

グループ単位で外線を振り分け、それぞれのグループ毎に外線の使用管理が可能です。最大15グループに分割できます。（詳しくは、販売店にご相談ください。）



テナント外の外線着信に応答したいとき



❶ 送受器を上げます。

代理応答

❷ 代理応答 ボタンを押します。

補足説明

●プログラマブルキーに 代理応答 ボタンを設定する場合はP160を参照してください。また、昼夜を別々のテナント種別にしておき、昼間と夜間で切り替えることもできます。

知っていると便利なこと

●テナント機能とは別に電話機毎に発信できる外線を指定することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

15．外線の更に便利な使い方

サービスクラス

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
121	―	―	―

各電話機毎にA（超特甲）からG（乙）の7つのクラスにランクを付け、市内や市外などへの発信を規制するように設定できます。

○：発信可能　×：発信不可
◇：データ設定で設定した地域のみ発信可
△：データ設定で「規制あり」の場合は規制される
▲：データ設定で「規制あり」の場合は規制される
「規制なし」の場合は、ワンタッチでのシステム短縮発信のみ可能
●：データ設定で設定したクラス以下は、発信不可

サービスクラス / 発信種別	ダイヤル	A（超特甲）	B（特甲）	C（準特甲A）	D（準特甲B）	E（甲）	F（準甲）	G（乙）
国際通話等	000～006，010	○	○	×	×	×	×	×
市外通話等	01～09，0#，0＊	○	○	○	◇	×	×	×
NCC	007～009	○	○	○	◇	×	×	×
NTTの短縮ダイヤル	＊（プッシュ回線の場合）	○	○	○	×	×	×	×
特定発信規制	データ設定で設定したダイヤル	○	●	●	●	●	×	×
特殊なダイヤル	#（プッシュ回線の場合）	○	×	×	×	×	×	×
市内等	1～9	○	○	○	○	○	×	×
システム短縮ダイヤル		○	△	△	△	△	▲	×
着信応答・保留応答・被転送		○	○	○	○	○	○	×
PBX，CES収容時	PBX局発特番以外	○	○	○	○	○	○	×
内線		○	○	○	○	○	○	○

16．夜間切替

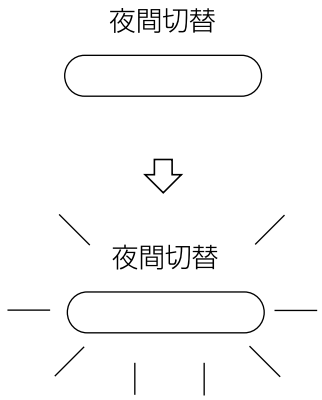
外線毎及び電話機毎等に、各種機能の昼と夜の状態を設定して、夜間切替操作により機能の昼・夜切替を行なうことができます。また、夜状態は［夜間モード］［外出モード］［休日モード］の3つの状態を選択できます。夜間切替により切り替わる機能を下記に示します。

①転送電話（自動転送）　⑦外線の着信種別
②自動応答メッセージ　⑧ダイレクトインライン（DIL）対応電話機
③ボイスメール（留守番代行）　⑨外線個別着信
④ドアホン着信鳴動　⑩サービスクラス
⑤外線種別　⑪ダイヤルイン（DI）の夜間一般着信
⑥外線のテナント種別　⑫ストレートラインDI

夜間切替ボタンで切り替える場合

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
610	○	夜間切替（85）	ー

夜間（夜間モード）に切り替える場合



❶ 切替操作可能な電話機から送受器を置いたまま 夜間切替 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

夜間切替 ランプが点火します。

補足説明

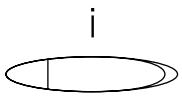
●夜間切替 ボタンの設定はP160を参照してください。

●夜間モードを解除する場合は 夜間切替 ボタンを押します。（ 夜間切替 ランプが滅火します。）

16．夜間切替

夜間切替ボタンで切り替える場合

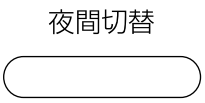
夜間（夜間、外出、休日モード）に切り替える場合



❶ 切替操作可能な電話機から送受器を置いたまま i ボタンを押します。

⇩

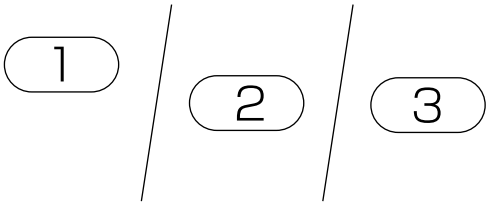
i ランプが点灯します。



❷ 夜間切替 ボタンを押します。

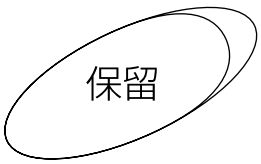
⇩

i ランプが遅い点滅になります。



❸ モード番号（1桁）を押します。

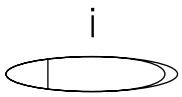
- 1 …夜間モード
- 2 …外出モード
- 3 …休日モード



❹ 保留 ボタンを押します。

⇩

i ランプが早い点滅になります。



❺ i ボタンを押します。

⇩

i ランプが消えます。

補足説明

- 夜間切替 ボタンの設定はP160を参照してください。
- 夜間モードを解除する場合は 夜間切替 ボタンを押します。（ 夜間切替 ランプが消えます。）
- ❹操作時の表示例を下記に示します。

[表示例]

モード番号

ヤ	カ	ン	キ	リ	カ	エ	1	：	ヤ	カ	ン	モ	ー	ト゛
（	ヨ	ル	）											

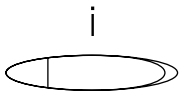
16．夜間切替

タイマで切り替える場合

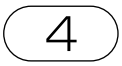
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	○	―	―

タイマを設定しておけば、設定した時間帯は［昼］、設定時間帯外は［夜］のモードに自動的に切り替わります。

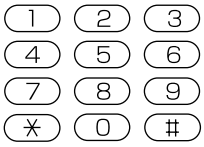
切替タイマの設定



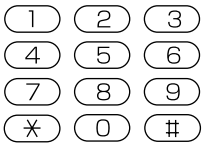
❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。



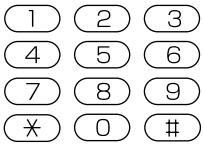
❷ ［4］ボタンを押します。



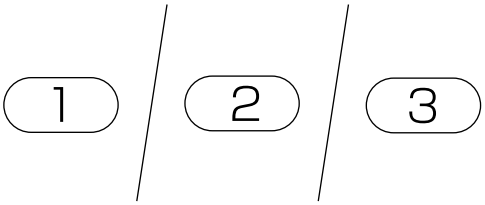
❸ 曜日（1桁）を押します。
［0］～［6］：日曜日～土曜日
［7］：全曜日



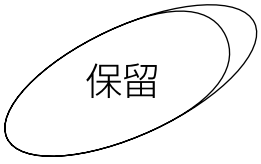
❹ 昼間の開始時間（24時間制で4桁）を押します。
時：00～23
分：00～59



❺ 昼間の終了時間（24時間制で4桁）を押します。
時：00～23
分：00～59



❻ 夜状態のモード（1桁）を押します。
［1］…夜間モード
［2］…外出モード
［3］…休日モード

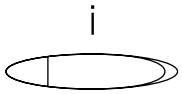


❼ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。

次ページへつづく

16．夜間切替

タイマで切り替える場合



❽ [i]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが消えます。

補足説明

●消去する場合は、❹で時刻の代わりに[フック]ボタンを押し、❼の操作を行ないます。

ご注意

●曜日で決まらない休日（祝祭日、夏休み等）は自動で切り替わらないので、[夜間切替]ボタンで［休日モード］に切り替えます。

●[夜間切替]ボタンで［休日モード］にセットした場合は、[夜間切替]ボタンで解除するまでタイマによる切替は機能しません。

知っていると便利なこと

●❹～❻を省略すると設定してあるタイマを確認できます。（但し、❸を[7]にした場合は確認できません。）

タイマによる夜間切替

設定した時間帯を過ぎると夜間モード（夜間／外出／休日）になります。

モード	夜間切替操作電話機の表示器の表示	[夜間切替]ランプ
夜間	（ヨル）	点灯
外出	（ｶﾞｲｼｭﾂ）	遅い点滅
休日	（ｷｭｳｼﾞﾂ）	遅い点滅

※昼の場合は[夜間切替]ランプは消えます。

16．夜間切替

リモート操作による夜間切替操作

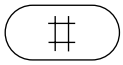
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
228，610	―	―	―

外部（外出先など）から留守モード（P53参照）に設定した外線にかけて夜間切替を行なうことができます。
（留守モードとは外部からのダイヤル操作でリモート操作が可能となるモードのことです。）

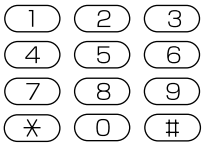
❶ 外出先より本装置の留守モードの外線に電話をかけます。

⇩

呼出しが一定時間経過すると一次応答信号(発信音ツツツ…またはメッセージ)が送出されます。



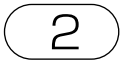
❷ 一次応答信号を確認したら、＃ボタンを押します。



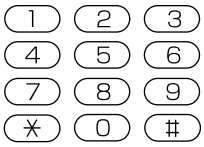
❸ パスワード（4桁）を押します。
（パスワード設定がない場合、本操作は省略します。）

⇩

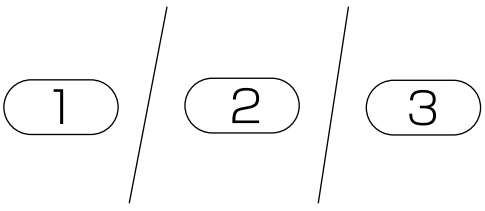
システム側の受信状態を音で確認します。
（内部保留音：OK　話し中の音：NG）



❹ 2ボタンを押します。



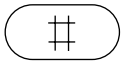
❺ 夜間切替操作可能な電話機の電話番号を押します。



❻ 夜状態のモード（1桁）を押します。

- 1…夜間モード
- 2…外出モード
- 3…休日モード

また、[昼] のモードに戻す場合は0を押します。



❼ ＃ボタンを押して保留音が聞こえたら送受器を置きます。

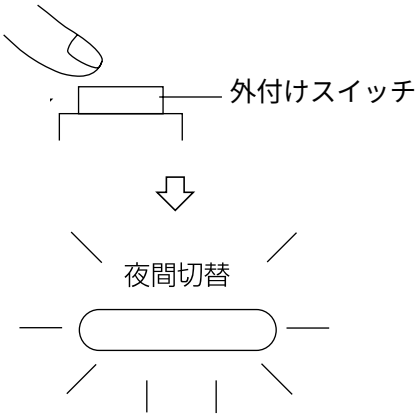
16．夜間切替

外付けのスイッチで切り替える場合

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
610	ー	ー	ET-EMU-Gi ET-「」MOTH-Gi

外部にスイッチを取り付け、スイッチのオン（入）、オフ（切）で夜間切替を行なうことができます。尚、外付けスイッチで切り替える場合は、「外出モード」「休日モード」には切り替わりません。また、スイッチの取付けにつきましては、販売店にご相談ください。

夜間に切り替える場合



❶ 外付けのスイッチをオン（入）にします。

⇩

夜間に切り替わります。
（夜間切替ボタンが点灯します。）

知っていると便利なこと

●夜間切替中に昼の状態に戻したい場合は、外付けスイッチをオフ（切）にします。（夜間切替ランプが消えます。）

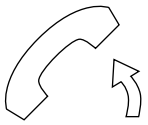
17．内線を個別に呼び出すとき

内線の相手を呼出すときは、着信音で呼び出す方法と音声で呼び出す方法があります。

送受器をとってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（501，509）	―	―	―

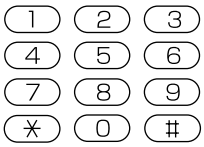
着信音による呼出



❶ 送受器をとります。

⇩

内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。



❷ 相手の内線番号を押します。

❸ 相手が応答すると通話ができます。

補足説明

●内線自動捕捉が設定されていない場合は、内線ボタンを押してから内線番号を押してください。

知っていると便利なこと

●着信音は変更することができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●呼出中に＊をダイヤルすると音声による呼出に切り替わります。

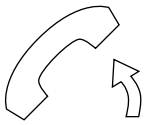
●同一グループの電話機のみ呼び出すようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

17．内線を個別に呼び出すとき

送受器をとってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（503，509）	―	―	―

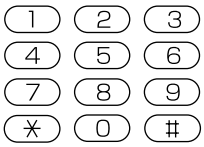
音声による呼出



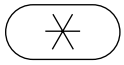
❶ 送受器をとります。

⇩

内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。



❷ 相手の内線番号を押します。



❸ ＊ボタンを押します。

⇩

相手電話機に“ プップッ ”と予告音が鳴ります。

❹ 「○○さん」と呼びかけます。

❺ 相手が応答すると通話ができます。

ご注意

- ●単独電話機は音声による呼出操作はできません。
- ●呼び出される電話機がボタン電話機のときに有効です。
- ●通話モニタ（聴話）はできません。

知っていると便利なこと

- ●呼びかけているときに＊をダイヤルすると着信音による呼出に切り替わります。
- ●同一グループの電話機のみ呼び出すようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ●予告音を送出しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

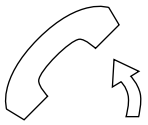
17．内線を個別に呼び出すとき

送受器をとってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
504	―	―	―

内線ホットライン

送受器をとるだけで指定した電話機を呼出すことができます。



❶ 送受器をとります。

⇩

設定された電話機を呼び出します。

❷ 相手が応答すると通話ができます。

ご注意

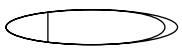
●内線ホットラインを設定してあると単独電話機は、内線発信、外線発信、保留応答、外線着信応答はできません。

17．内線を個別に呼び出すとき

送受器をとらずにかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
—	—	—	—

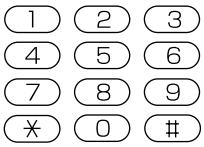
送受器を置いたまま相手を呼び出すことができます。



❶ 内線ボタンを押します。

⇩

内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。



❷ 相手の内線番号を押します。

❸ スピーカで相手の応答を確かめます。

❹ 送受器を取ると相手と通話ができます。

知っていると便利なこと

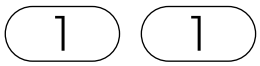
- 内線ホットラインを設定してあると 内線 ボタンの代わりに スピーカ ボタンでもできます。

17．内線を個別に呼び出すとき

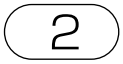
リセットコール

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

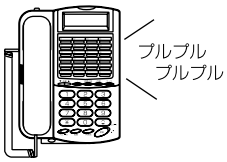
内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、最終桁のみが異なる内線を呼び出すことができます。以下に例として内線11番を呼んだときに話し中だった場合、内線に12番を呼び出す方法を示します。



❶ 送受器をとり 1 1 ボタンを押します。



❷ 11番の電話機が話し中でつながらなかった場合に 2 ボタンを押します。



❸ 12番の電話機を呼び出します。

❹ 12番の電話機が応答すると通話ができます。

補足説明

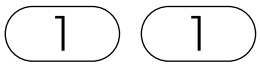
●リセットコールは何回でも繰り返せます。
●＊ または ＃ ボタンを押すとリセットコールはできなくなります。

17．内線を個別に呼び出すとき

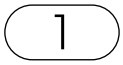
リセットコール割込通話

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
507	ー	ー	ET-CFU-Gi

内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、最終桁をもう一度ダイヤルすると相手の通話に割り込むことができます。以下に例として、内線11番を呼んだときに話し中だった場合、通話に割り込む方法を示します。



❶ 送受器をとり 1 1 ボタンを押します。



❷ 11番の電話機が通話中でつながらなかった場合に 1 ボタンを押します。

❸ 11番の電話機の通話に割り込み、3者通話になります。

補足説明

●注意点や条件につきましては［内線で3者通話をするとき］（P116）、［外線通話に割り込みたいとき］（P65）の項を参照してください。

ご注意

●割り込む電話機のサービスクラス（P92）が、割り込まれる電話機のサービスクラスより低い場合は、割り込めません。

知っていると便利なこと

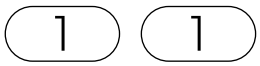
●❷の操作で最終桁の番号の代わりに # ボタンを使うこともできます。
（但し、回転ダイヤル式電話機を除きます。）

17．内線を個別に呼び出すとき

内線代表

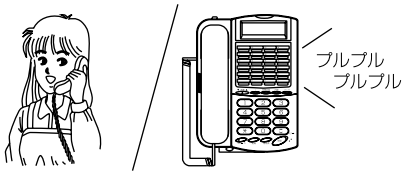
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
523	ー	ー	ー

呼び出す相手が話中（使用中）の場合、指定した他の電話機にスライドさせて他の電話機を呼出すことができます。（この機能を内線代表といいます。）下記に例として、内線11番の電話機を呼んだときに話し中だった場合、自動的に内線12番を呼び出す動作を示します。



❶ 送受器をとり 1 1 ボタンを押します。

11番の電話機は話し中　12番の電話機



❷ 11番の電話機が話し中だった場合、12番の電話機を呼び出します。

❸ 12番の電話機が応答すると通話になります。

補足説明

●スライドする電話機台数は最初に呼ぼうとした電話機を含めて最大16台です。
●電話機毎にスライド先を1台だけ設定できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●スライド先が全て呼び出せない場合は、最初に呼び出した電話機の状態により下記となります。
・内線／外線通話中の場合はウェイティング音（ツツ，ツツ…）になり、キャンプオン（P106）になります。
・通話中以外で呼び出せない場合は、話し中の音（ツーツーツー…）になります。

ご注意

●最初に呼ばれた電話機に着信拒否、不在メッセージ、不在転送、簡易不在転送、話中転送機能が設定されていると、内線代表は機能しません。但し、スライド途中の電話機にこれらの機能を設定している場合は、話中扱いとなり内線代表は機能します。

知っていると便利なこと

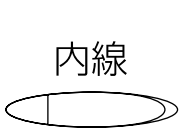
●ダイレクトインダイヤル（DID）、ダイヤルイン（DI）、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出の場合も機能します。この場合、スライド先全てを呼べない場合は話し中の音（ツーツーツー…）になります。但し、完全テナントの場合、テナント外の電話機にはスライドしません。（内線着信のみスライド可能）

17．内線を個別に呼び出すとき

内線キャンプオン

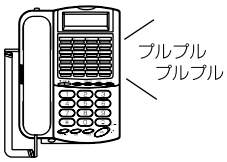
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、そのまま待っていれば相手が終話しだい呼び出しができます。



❶ 内線 ボタンを押し、内線番号を押すと、内線を呼び出します。

❷ 相手が話し中の場合、ウェイティング音（ツツ、ツツ…）が聞こえるので、そのまま待ちます。



❸ 相手が終話すると、自動的に相手方を呼び出します。

補足説明

●待ち時間が約2分を超えたら話し中の音（ツーツーツー…）となりその後、内線が切り放されます。
但し、内線3者通話操作での3者目呼出し時は内線は切り放されずに元の内線通話に戻ります。

ご注意

●相手が外線／内線通話中の場合のみ有効です。

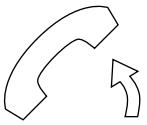
18．内線を一斉に呼び出すとき

内線の電話機を一斉に音声呼出することができます。（ボタン電話機のスピーカより）

内線一斉呼出を行なうとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（510、525）	―	―	―

呼び出すとき



❶ 送受器をとります。

7 0

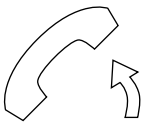
❷ 7 0 ボタンを押します。

❸ 内線一斉呼出ができます。

補足説明

●❷の番号は変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●冒頭音を入れることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

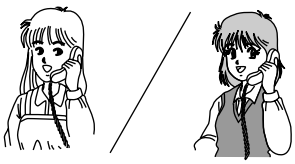
応答するとき



❶ 送受器をとります。

7 7

❷ ページング応答番号 7 7 ボタンを押します。



❸ 通話ができます。

補足説明

●ページング応答番号は、変更も可能です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●応答できるのは、1台だけです。

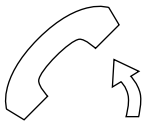
19．内線を一斉に呼び出すとき（グループ呼出）

内線の電話機をグループに分け、ボタン電話機のスピーカよりグループ単位に音声呼出ができます。

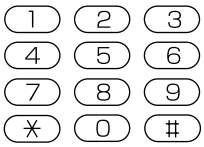
グループ別に呼び出すとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（510）	―	―	―

呼び出すとき



❶ 送受器をとります。



❷ グループ呼出番号（2桁）を押します。

❸ グループ呼出ができます。

補足説明

●応答は内線一斉呼出の応答と同じ操作です。
●一斉呼出・グループ呼出番号は、工場出荷時は下記の通りです。（設定により変更も可能です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

呼び出されるグループ番号	グループ呼出番号
グループ1	7 1
グループ2	7 2
グループ3	7 3
グループ4	7 4

ご注意

●グループ00へのグループ呼出はできません。
●通話中、不在設定中、オフフック中等の使用中の電話機は呼び出せません。
●グループ外の電話機は呼び出せません。

知っていると便利なこと

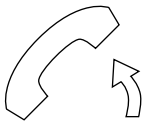
●電話機毎に呼出の可否を設定できます。
●冒頭音を入れることもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

20．内線からの呼び出しに応答するとき

内線の着信に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（573）	―	―	―

着信音が聞こえたら、送受器をとるだけで応答できます。



❶ 送受器をとります。

❷ 相手と通話ができます。

補足説明

●着信時及び応答時は表示器に相手の名称、電話番号が表示されます。

発信者の名称　発信者の電話番号

				（	ナ	カ	シ゛	マ		）	1	2		

※名称登録されていなければ名称は表示されません。

●音声で呼び出されたときも同じです。

知っていると便利なこと

●❶で送受器をとる代わりに[スピーカ]ボタンを押しても応答できます。この場合は応答後、送受器をとって通話できます。

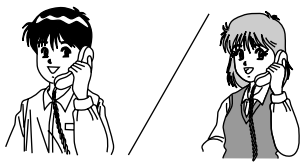
●表示器の表示を送受器を置いても一定時間残すこともできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

20．内線からの呼び出しに応答するとき

外線通話中に内線着信があったとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
533	―	―	―

外線との通話中に内線着信があった場合でも内線着信を受けることができます。



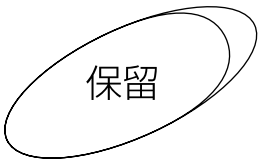
❶ 外線と通話中

［呼び出されている電話機の表示］

呼び出した電話機の内線名称　呼び出した電話機の番号

				（	ナ	カ	シ゛	マ		）	1	2		

❷ 他の電話機から呼び出されます。



❸ 保留 ボタンを押し外線との通話を一旦保留します。

❹ 呼び出しに応答し内線通話となります。

❺ 内線通話終了後、保留している外線に応答して外線との通話を継続します。

補足説明

●呼び出しを途中でやめた場合は、内線着信は停止します。

ご注意

●リセットコール割込はできません。

20．内線からの呼び出しに応答するとき

内線ハンズフリー応答

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	マイク（82）	―

送受器を持たずに通話することができます。

着信に自動的にハンズフリー応答する場合

マイク

❶ あらかじめ マイク ボタンを押しておきます。

⇩

マイク ランプが点灯します。

着信中にハンズフリー応答する場合

マイク

❶ 内線着信中に マイク ボタンを押しますと、マイクで内線通話ができます。

⇩

マイク ランプが点灯します。

補足説明

●マイク ボタンの設定はP160を参照してください。

ご注意

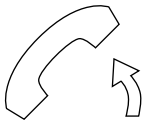
●相手の声の音量は、音量調整ボタンで調整してください。それでも相手の声が小さい時は送受器をとって通話をしてください。

20．内線からの呼び出しに応答するとき

他の電話機の着信に代理応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（524）	―	代理応答（96）	―

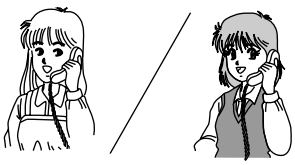
他の電話機の着信を同じグループ内の電話機で応答することができます。



❶ 送受器をとります。

代理応答

❷ 代理応答 ボタンを押します。



❸ 相手と通話できます。

補足説明

●プログラマブルキーに 代理応答 ボタンを設定するときはP160を参照してください。

知っていると便利なこと

●ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出やダイレクトインライン着信、及び外線簡易転送の着信にも応答できます。但し、完全テナントが設定されている場合は、テナント外の外線には応答できません。また、サービスクラスG（乙）内線は外線系の着信には応答できません。

21．内線通話を保留するとき

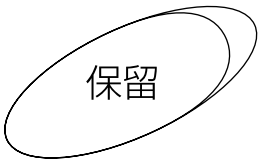
内線と通話中にその通話を保留して他の電話機で応答することができます。

内線通話を保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（551）	―	―	―

一般保留

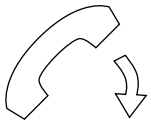
同一グループ内の他の電話機から応答できる保留を行ないます。



❶ 内線通話中に[保留]ボタンを押します。

⇩

[着信／メッセージ]ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツツツツ…）が送出されます。



❷ 送受器をおきます。

⇩

[着信／メッセージ]ランプが消えます。

補足説明

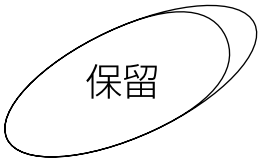
●保留できるのは、同一内線グループ内で同時には1台のみです。
●保留グループは代理応答のグループと共通です。

ご注意

●外線及び内線保留中には新たな内線保留はできません。
●内線の一般保留は約2分間で、2分を経過すると保留は解除され通話は切断されます。

自己保留

自分だけの保留をします。



❶ 内線通話中に[保留]ボタンを押します。
送受器はとったままとします。

⇩

[着信／メッセージ]ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツツツツ…）が送出されます。

補足説明

●保留できるのは、同一内線グループ内で同時には1台のみです。
●保留グループは代理応答のグループと共通です。

ご注意

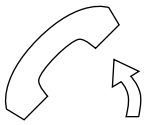
●スペシャルダイヤルトーン（ツツツツ…）は約20秒間で話し中の音（ツーツーツー…）に切り替わり、更に約20秒で保留していた通話に戻ります。

21．内線通話を保留するとき

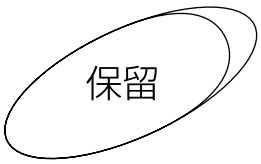
内線保留に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（552）	―	―	―

一般保留に応答するとき



❶ 送受器をとります。



❷ 保留 ボタンを押します。

⇩

内線通話に戻れます。

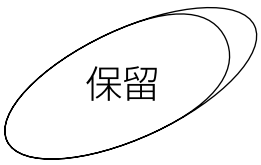
補足説明

●保留グループは代理応答のグループと共通です。

ご注意

●内線保留に応答できるのは、保留した電話機と同一内線グループの電話機のみです。

自己保留に応答するとき



❶ スペシャルダイヤルトーン（ツツツツ…）中に 保留 ボタンを押します。

⇩

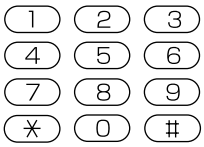
内線通話に戻れます。

22．内線通話を転送するとき

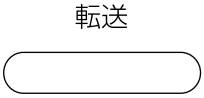
内線通話中に他の電話機に通話中の相手を転送します。

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（553）	ー	転送（95）	ー

❶ 内線通話中に保留ボタンまたは内線ボタンを押します。



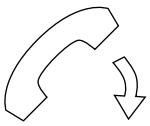
❷ 転送したい相手の内線番号を押します。



❸ 応答したら、用件を伝え、転送ボタンを押します。

⇩

通話が転送されます。



❹ 送受器をおきます。

補足説明

●転送ボタンの設定はP160を参照してください。

知っていると便利なこと

●相手が応答しないときは、保留ボタンを押し、保留した相手と再び通話ができます。

●オンフック転送ありの場合は転送ボタンの代わりにオンフックでもできます。

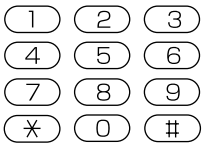
●転送先が応答する前に転送操作を行なうと簡易転送になります。

23．内線で3者通話をするとき

内線通話中に他の電話機を加え3者で通話することができます。

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（554）	ー	3者会議（83）	ET-CFU-Gi

❶ 内線通話中に 保留 ボタンまたは 内線 ボタンを押します。



❷ 第3者の内線番号を押します。

❸ 第3者が応答したら、通話して 3者会議 ボタンを押します。

⇩

3者会議 ボタンが点灯します。

❹ 3者通話ができます。

補足説明

- 3者会議 ボタンの設定はP160参照してください。
- 3者通話中にいずれか1台が終話すると、他の2台は内線通話になります。

ご注意

- 会議通話ユニット（CFU）の回路が全て使用中のときは、3者通話はできません。

知っていると便利なこと

- 第3者と通話中に 保留 ボタンを押すと元の内線通話に戻れます。
- 3者通話中に 3者会議 ボタンを押すと元の内線通話に戻れます。

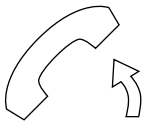
24．ドアホンと通話するとき

各電話機からドアホンと通話できます。ドアホンからの着信音を設定した電話機（それぞれ8台まで設定可能）と、それ以外の電話機では応答操作が異なります。

ドアホン着信に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
614	—	—	ET-DHU-Gi (ET-DHUA-GI) ET-DH ET-DH(2) ET-「」MOTH-Gi

ドアホン着信音の出る電話機で応答するとき



❶ ドアホンからの呼出音が聞こえ、内線ランプ及び着信／メッセージランプが点滅したら送受器をとります。

❷ ドアホンと通話ができます。

補足説明

●同一ユニットにドアホンが2台つながっている場合、一方のドアホンが着信、または通話中であればもう一方のドアホンからの着信及び通話はできません。

●着信時の表示例

									ト゛	ア	ホ	ン	A

知っていると便利なこと

●内線ランプ及び着信／メッセージランプ滅火後の場合は、送受器をとりドアホン呼出特番を押します。（冒頭音送出）

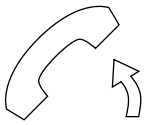
●ドアホンからの着信音について
ドアホンA・B・C・Dからの呼び出しによる着信音を設定します。着信音の違いにより、ドアホンの区別ができます。

着信音パターン	音　色
パターンA	ピーン　ポーン
パターンB	ピンポン　ピンポン
パターンC	ピンポンピンポン　ピンポンピンポン　ピンポンピンポン
パターンD	ピピピピ　ピピピピ

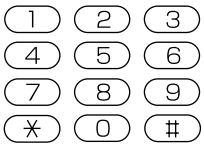
24．ドアホンと通話するとき

ドアホン着信に応答するとき

ドアホン着信音の出ない電話機で応答するとき



❶ 送受器をとります。



❷ ドアホン呼出番号を押します。

❸ ドアホンと通話ができます。

補足説明

●ドアホン呼出番号は、取付時に設定しますので販売店にお問い合わせください。
●呼出時の表示例

									ト゛	ア	ホ	ン	A

知っていると便利なこと

●ドアホンを呼び出すときも同じ操作を行ないます。

ドアホンを呼び出すとき

上記と同じ操作を行ない、ドアホンを呼び出します。

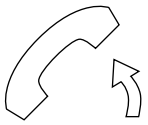
25．テレビドアホンと通話するとき

各電話機からテレビドアホンと通話できます。テレビドアホンからの着信音を設定した電話機（それぞれ8台まで設定可能）と、それ以外の電話機では応答操作が異なります。尚、テレビドアホンは専用のものが必要ですので販売店におまかせください。

ドアホン着信に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
615	―	―	ET-DHUB-Gi ET-「」MOTH-Gi テレビドアホン（一式）

ドアホン着信音の出る電話機で応答するとき



❶ ドアホンからの呼出音が聞こえ、内線ランプ及び着信／メッセージランプが点滅したら送受器をとります。呼出音と同時に映像がテレビモニタに映し出されます。

❷ ドアホンとテレビモニタを見ながら通話ができます。

補足説明

●テレビドアホンが2台以上つながっている場合、そのうち1台が着信、または通話中のとき、他のテレビドアホンからの着信及び通話はできません。

●着信時の表示例

									ト゛	ア	ホ	ン	A

ご注意

●テレビドアホンとの通話時間には制限があります。（最大2分30秒）制限時間を越えた場合は、テレビドアホン側の映像と通話が切れます。通話を続けたい場合は、電話機の送受器をとったままテレビモニタのボタンを押します。

知っていると便利なこと

●内線ランプ及び着信／メッセージランプ滅火後の場合は、送受器をとりドアホン呼出特番を押します。（冒頭音送出）

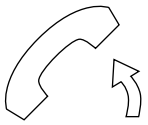
●テレビドアホンからの着信音について
テレビドアホンA・B・C・Dからの呼び出しによる着信音を設定します。着信音の違いにより、テレビドアホンの区別ができます。

着信音パターン	音　　色
パターンA	ピーン　ポーン
パターンB	ピンポン　ピンポン
パターンC	ピンポンピンポン　ピンポンピンポン　ピンポンピンポン
パターンD	ピピピピ　ピピピピ

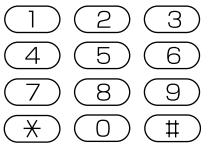
25．テレビドアホンと通話するとき

ドアホン着信に応答するとき

ドアホン着信音の出ない電話機で応答するとき



❶ 送受器をとります。



❷ ドアホン呪出番号を押します。ドアホンを呼出し、映像がテレビモニタに映し出されます。

❸ ドアホンとテレビモニタを見ながら通話ができます。

補足説明

●ドアホン呼出番号は、取付時に設定しますので販売店にお問い合わせください。
●呼出時の表示例

									ト゛	ア	ホ	ン	A	

知っていると便利なこと

●ドアホンを呼び出すときも同じ操作を行ないます。

テレビドアホンを呼び出すとき

上記と同じ操作を行ない、テレビドアホンを呼び出します。

26．更に便利な使い方

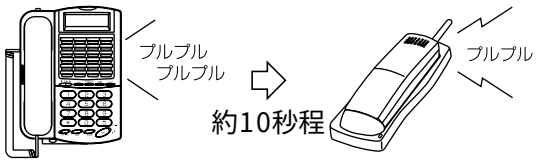
コードレス＋ボタン電話機

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
712	ー	ー	ー

ボタン電話機とコードレス電話機を組み合わせて、親子式のコードレス電話機として使うことができます。但し、アナログインタフェース付電話機とは組み合わせることはできません。また、コードレス電話機に関する説明はコードレス電話機に添付されている取扱説明書を参照してください。

呼び出しに応答する場合

❶ 他の電話機よりボタン電話機を呼び出します。



❷ ボタン電話機が呼び出されます。（ボタン電話機が呼び出されて約10秒程たつと続けて子機も呼び出されます。

❸ ボタン電話機または子機で応答すると、相手との通話になります。（先に応答した方が通話できます。後の方は無音となります。）

補足説明

- ❷で子機が充電器に置かれていない場合（充電器より充電されていない場合）は、子機が先に呼び出され、約10秒後にボタン電話機が呼び出されます。
- 子機移動中のボタン電話機操作を無効にした場合、送受器をとったり置いたりする操作も無効になります。（子機移動中とは、親機または充電器にのっていない状態で通話もしていない状態をいいます。）
- キーロック機能を設定した場合でも、オフフック（オンフック）は有効となります。キーロック機能とは、子機／ボタン電話機のいずれか通話中の場合、通話していない方はキー操作が無効になることをいいます。
- 電話機毎の短縮ダイヤルはボタン電話機側の短縮ダイヤルデータのみ使用可能となります。

ご注意

- 組み合わせて使用するボタン電話機の 外線1 ～ 外線6 には、コードレス電話機で設定できる機能以外は設定しないでください。設定しても正常な機能動作を行ないません。

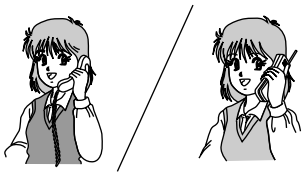
知っていると便利なこと

- ❸で通話した方の電話機が送受器を置いたときに、もう一方の電話機が送受器を上げていれば通話が後者の電話機に移ります。また、保留操作をしてもう一方の電話機で保留応答操作をすることにより、通話を切り替えることもできます。但し、子機移動中のボタン電話機の操作を有効にしないと、コードレス電話機が通話中に保留操作をして㊐ボタンを押しても、ボタン電話機で保留応答できません。
- 組み合わせた電話機の一方を優先電話機としても使うことができます。この場合、通話中（内線をつかんでいる状態も含む）に優先電話機が送受器を上げると、通話は優先電話機の方に切り替わります。（最初に通話していた電話機は無音になります。）

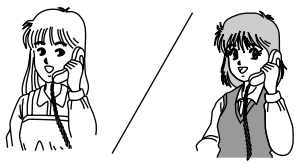
26．更に便利な使い方

コードレス＋ボタン電話機

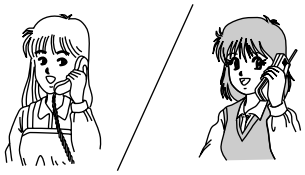
電話をかける場合



❶ どちらか一方で通常の発信操作を行ないます。



または



❷ 相手が応答すると通話になります。

補足説明

- ●子機移動中のボタン電話機操作を無効にした場合、送受器をとったり置いたりする操作も無効になります。（子機移動中とは、親機または充電器にのっていない状態で通話もしていない状態をいいます。）
- ●キーロック機能を設定した場合でも、オフフック（オンフック）は有効となります。キーロック機能とは、子機／ボタン電話機のいずれか通話中の場合、通話していない方はキー操作が無効になることをいいます。
- ●電話機毎の短縮ダイヤルはボタン電話機側の短縮ダイヤルデータのみ使用可能となります。

ご注意

- ●組み合わせて使用するボタン電話機の 外線1 ～ 外線6 には、コードレス電話機で設定できる機能以外は設定しないでください。設定しても正常な機能動作を行ないません。

知っていると便利なこと

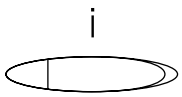
- ●❷で通話した方の電話機が送受器を置いたときに、もう一方の電話機が送受器を上げていれば通話が後者の電話機に移ります。また、保留操作をしてもう一方の電話機で保留応答操作をすることにより、通話を切り替えることもできます。但し、子機移動中のボタン電話機の操作を有効にしないと、コードレス電話機が通話中に保留操作をして㊐ボタンを押しても、ボタン電話機で保留応答できません。
- ●組み合わせた電話機の一方を優先電話機としても使うことができます。この場合、通話中（内線をつかんでいる状態も含む）に優先電話機が送受器を上げると、通話は優先電話機の方に切り替わります。（最初に通話していた電話機は無音になります。）

26．更に便利な使い方

内線名称の登録方法

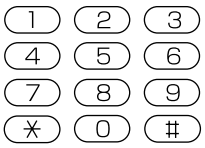
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

電話機にそれぞれ名称を登録することができ、内線呼出時に相手の表示器に名称を表示させることができます。

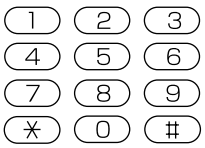


❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。

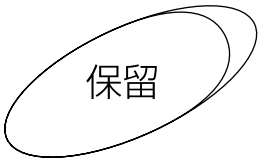
❷ ［内線］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



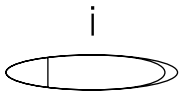
❸ 内線（1桁～4桁）を押します。



❹ ダイヤルで名称（カナ文字）を設定します。
（名称は最大6文字設定可能です。詳細は次ページを参照してください。）



❺ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❻ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

次ページへつづく

26．更に便利な使い方

内線名称の登録方法

補足説明

●ダイヤルとカナ文字の対応を以下に示します。
文字の選択は対応のダイヤルボタンを1回押すたびに表示文字が変わります。

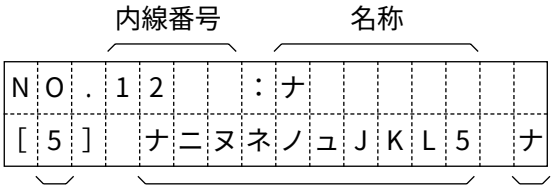
表示文字一覧表

ダイヤル＼回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	Q	Z	1
2	カ	キ	ク	ケ	コ	ゥ	A	B	C	2
3	サ	シ	ス	セ	ソ	ェ	D	E	F	3
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ャ	G	H	I	4
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ュ	J	K	L	5
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ョ	M	N	O	6
7	マ	ミ	ム	メ	モ	ッ	P	R	S	7
8	ヤ	ユ	ヨ	ー	：	／	T	U	V	8
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	SP	W	X	Y	9
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ォ	＝	＊	＃	0
＊	カーソル左に移動									
＃	カーソル右に移動									

SP：スペース

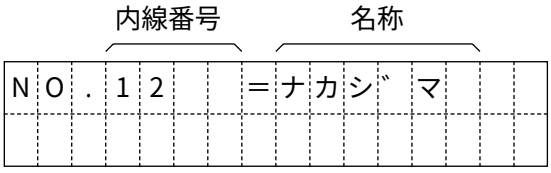
［表示（例）］

（❹で1文字目に 5 ボタンを押したとき）



❹で押下したダイヤルに対応した文字の一覧
（ 5 ダイヤルを押したときの例）

（❺で 保留 ボタンを押したとき）



●名称は電話機1台当たり最大6文字とし、カタカナ、アルファベット（大文字）、数字及び一部の記号を使用できます。

ご注意

●名称は1文字ずつ表示を見ながら設定してください。
●電話機の内線番号を変更しても名称は変わりませんので、内線番号を変更した電話機の名称を変更する場合は本設定操作を行なってください。

知っていると便利なこと

●連続して登録するときは、❸～❺を連続して行ないます。
●相手先名称を変更するときは、❸～❺を操作し直してください。
●登録されている名称を消去する場合は、❹で フック ボタンを押します。

26．更に便利な使い方

不在転送（内線への転送）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（527）	ー	不在設定（84）	ー

不在中にかかってきた電話を他の電話機に転送することができます。

設定するとき

不在設定

❶ 送受器を置いたまま[不在設定]ボタンを押します。（[スピーカ]ランプも消えていること）

⇩

[不在設定]ランプが点灯します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❷ 転送先の内線番号を押します。

⇩

[不在設定]ランプが遅い点滅になります。

保留

❸ [保留]ボタンを押します。

⇩

[不在設定]のランプが早い点滅になります。

補足説明

●[不在設定]ボタンの設定はP160を参照してください。

●内線に転送できる着信は下記のとおりです。

・内線着信、ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出、ダイレクトインライン着信、ドアホン着信

・外線着信、外線の各種一般着信、ストレートラインDI着信

ご注意

●設定中は、電話機の機能は働きません。

●転送先が不在転送、内線代表、話中転送を設定していた場合、その先までは転送されません。

●完全テナントの場合、内線着信以外の着信はテナント外の電話機には転送されません。

設定を解除するとき

不在設定

❶ [不在設定]ボタンを押すか送受器をとります。

⇩

[不在設定]ランプが消えます。

知っていると便利なこと

●送受器をとっても解除しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

26．更に便利な使い方

不在転送（外線への転送）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
527	ー	不在設定（84）	ET-TRI (1) -Gi ET-TRI (2) -Gi

不在中にかかってきたダイヤルイン（DI)、ダイレクトインダイヤル（DID)、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの着信をあらかじめ指定した外線に転送することができます。

設定するとき

不在設定

❶ 送受器を置いたまま 不在設定 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

不在設定 ランプが点灯します。

短縮

❷ 短縮 ボタンを押します。

⇩

不在設定 ランプが遅い点滅になります。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

❸ A面（転送先1ヵ所目）に設定する電話機短縮番号（2桁）とB面（転送先2ヵ所目）に設定する電話機短縮番号（80～99の2桁）を続けて押します。

保留

❹ 保留 ボタンを押します。

⇩

不在設定 ランプが早い点滅になります。

補足説明

●不在設定 ボタンの設定はP160を参照してください。

●設定する電話機短縮番号はシステム短縮ダイヤル数により異なります。

システム短縮ダイヤル数	設定する電話機短縮番号
80	80～99
500	80～89
1000	機能なし

知っていると便利なこと

●送受器をとっても解除しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●外部からダイレクトインダイヤル（DID）または留守モードをつかって転送先を変更することもできます。操作手順は一次応答信号を聞いた後、以下の操作を行ないます。

＃ ＋（ パスワード4桁（ユーザー） ）＋ 7 ＋ 内線番号 ＋ 短縮番号（A） ＋ 短縮番号（B） ＋ ＃

※1　（80～99）　（80～99）※2

※1：パスワードをなしとした場合は省略できます。

※2：B面の短縮番号を省略すると、A面とB面に同じ短縮番号が登録されます。

※3：短縮番号（A）に 0 0 （B）に 0 0 を入力すると不在転送は解除されます。

26．更に便利な使い方

着信拒否

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（526）	ー	不在設定（84）	ー

着信拒否を設定することにより、発信した人に話し中の音（ツーツー…）を返すことができます。

設定をするとき

不在設定

❶ 送受器を置いたまま 不在設定 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

不在設定 ランプが点火します。

設定を解除するとき

不在設定

❶ 不在設定 ボタンを押すか、送受器をとります。

⇩

不在設定 ランプが消えます。

補足説明

- 不在設定 ボタンの設定はP160を参照してください。
- 内線着信、ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出も拒否します。

ご注意

- 設定中は、電話機の機能は働きません。
- 外線着信音は鳴動しません。

知っていると便利なこと

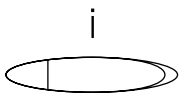
- 送受器をとっても解除しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

話中・応答遅延転送

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（531）	―	―	―

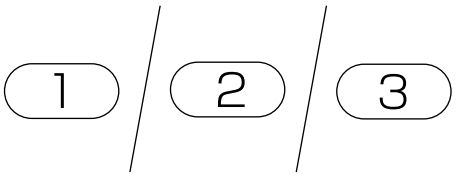
内線からの呼び出しに対して、話中時や一定時間応答しないときにあらかじめ設定した電話機に自動的に転送します。

設定するとき

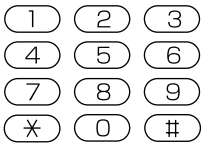


❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。

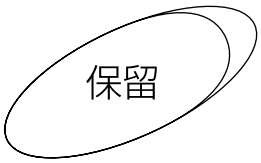
❷ [1][3]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



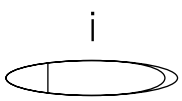
❸ 転送内容番号（[1]または[2]または[3]）を押します。
（転送内容番号はP129を参照してください。）



❹ 転送先の内線番号を押します。

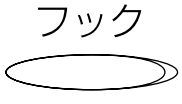


❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

設定を解除するとき



❶ ❸の操作で転送内容番号の代わりに[フック]ボタンを押してから、❺～❻の操作を行ないます。

次ページへつづく

話中・応答遅延転送

補足説明

●転送先を確認する場合は、❸，❹の操作を省略します。転送内容番号は下記のとおりです。

内容番号	転送の内容	内容番号	転送の内容
1	話中転送	3	話中転送＋応答遅延転送
2	応答遅延転送		

●内線着信の他、ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出や、ダイレクトインライン着信も転送されます。但し、完全テナントの場合、内線着信以外の着信は、テナント外の電話機には転送されません。

ご注意

●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送されません。

知っていると便利なこと

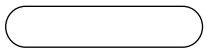
●応答遅延転送の転送時間（初期は30秒）を変更することができます。
（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

簡易不在転送

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（528）	ー	不在設定（84）	ー

かかってきた電話をあらかじめ設定した内線電話機または外線に転送することができます。

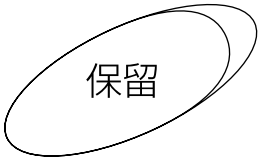
簡易不在転送に切り替えるとき



❶ 送受器を置いたまま 不在設定 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

不在設定 ランプが点灯します。

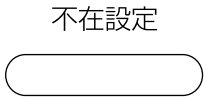


❷ 保留 ボタンを押します。

⇩

不在設定 ランプが早い点滅になります。

簡易不在転送を解除するとき



❶ 不在設定 ボタンを押すか、送受器をとります。

⇩

不在設定 ランプが消えます。

補足説明

●不在設定 ボタンの設定はP160を参照してください。

ご注意

●設定中は、電話機の機能は働きません。
●転送先が不在転送、内線代表、話中転送を設定していた場合、その先までは転送されません。（内線への転送の場合）
●完全テナントの場合、内線着信以外の着信はテナント外の電話機には転送されません。（内線への転送の場合）

知っていると便利なこと

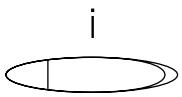
●送受器をとっても解除しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

26．更に便利な使い方

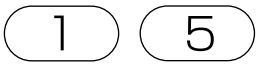
簡易不在転送

簡易不在転送先の設定

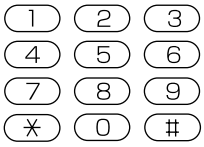
電話機より転送先を設定します。



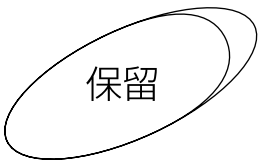
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



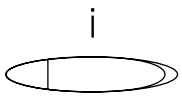
❷ [1][5]ボタンを押します。



❸ 転送先の内線番号（電話機番号）を押します。



❹ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❺ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

●転送先を外線に設定する場合は、❸で[短縮]＋転送先1ヵ所目の電話機短縮番号（80～99）＋転送先2ヵ所目の電話機短縮番号（80～99）を押し、❹，❺の操作を行ないます。但し、システム短縮ダイヤル数が500の場合は電話機短縮番号は80～89となり1000の場合は機能しません。
尚、転送先を外線にする場合、アナログ回線時はET-TRI（ ）-Giが必要となります。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●転送先の内線番号（電話機番号）を取り消す場合は❸で転送先の内線番号の代わりに[フック]ボタンを押し、❹，❺の操作を行ないます。

不在表示

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（529）	ー	不在設定（84）	ー

不在表示を設定した電話機にかけると表示器に不在理由を表示します。

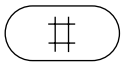
設定するとき

不在設定

❶ 送受器を置いたまま 不在設定 ボタンを押します。（ スピーカ ランプも消えていること）

⇩

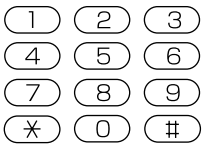
不在設定 ランプが点灯します。



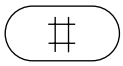
❷ ＃ ボタンを押します。

⇩

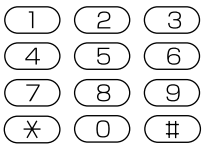
不在設定 ランプが遅い点滅になります。



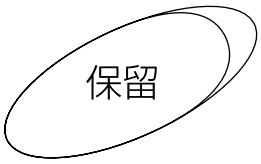
❸ 不在状態番号（1～9）を押します。



❹ ＃ ボタンを押します。



❺ いつまで不在かを時刻（24時間制で4桁）または月日（4桁）を押します。



❻ 保留 ボタンを押します。

⇩

不在設定 ランプが早い点滅になります。

次ページへつづく

26．更に便利な使い方

不在表示

補足説明

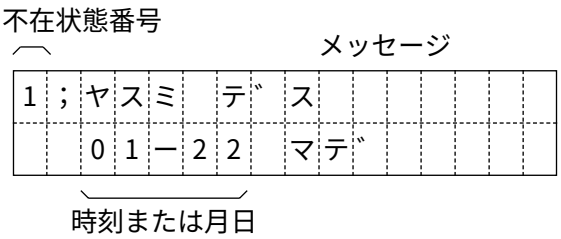
●不在状態番号一覧表

不在状態番号	表示の内容	不在状態番号	表示の内容
1	ヤスミデス	6	ユーザー登録
2	シュッチョウデス	7	ユーザー登録
3	リセキデス	8	ユーザー登録
4	ガイシュツデス	9	ユーザー登録
5	ユーザー登録		

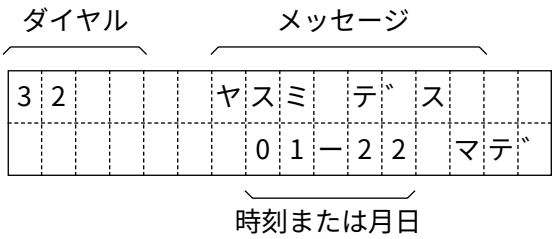
5 ～ 9 は8文字以内でお好みの文字が設定できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●❹，❺は省略もできます。

［登録した側の電話機の表示］



［発信した電話機の表示］



●解除するときは再度 不在設定 ボタンを押すか送受器をとります。

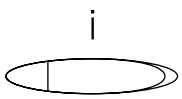
26．更に便利な使い方

なんでもワンタッチボタン

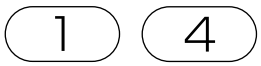
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	なんでも（60～63）	―

複数の操作を［ナンデモ］ボタンに登録することにより、操作数の多い機能もワンタッチ操作できます。

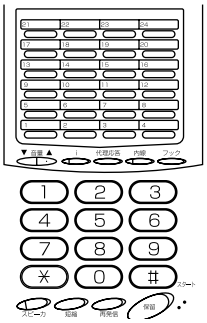
［ナンデモ］ボタンに機能を登録する方法



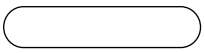
❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。



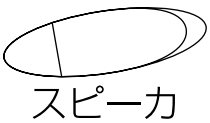
❷ ［1］［4］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



❸ 登録したい操作を順番に行ないます。
（但し、［スピーカ］ボタンは登録できません。）

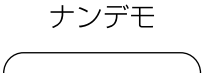


❹ 登録する［ナンデモ］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❺ ［スピーカ］ボタンを2回押します。

［ナンデモ］ボタンの使い方



❶ ［ナンデモ］ボタンを押します。
⇩
登録されている順番に自動操作します。

次ページへつづく

26．更に便利な使い方

なんでもワンタッチボタン

補足説明

●[ナンデモ]ボタンの設定はP160を参照してください。

●[ナンデモ]ボタンは電話機当たり4個まで登録できます。

●1つの[ナンデモ]ボタンに登録できる操作（ボタン）は、最大8個までです。

ご注意

●[ナンデモ]ボタンに登録された内容は動作で確認してください。

知っていると便利なこと

●使い方の例を下記に示します。

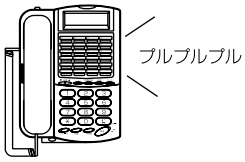
機能	通常の操作	[ナンデモ]ボタンでの操作
夜間切替で「休日モード」にする場合	①[ｉ]ボタンを押します。 ②[夜間切替]ボタンを押します。 ③[3]ボタンを押します。 ④[保留]ボタンを押します。 ⑤[ｉ]ボタンを押します。	※[ナンデモ]ボタンに左の①～⑤を登録しておきます。 1．[ナンデモ]ボタンを押します。

26．更に便利な使い方

センサー入力

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
620	○	ー	ET-EMU-Gi ET-「」MOTH-Gi

センサーを設置し、そのセンサーが動作したときに指定した電話機を呼び出します。



❶ センサーが検出状態になると、指定の電話機を呼出します。

❷ 呼び出されている電話機で応答します。

⇩

指定のメッセージが聞こえます。

補足説明

●センサーは最大4種類まで接続できます。
●電話機の呼び出しは、応答するか、リセットスイッチ（外付け）を操作するか、呼出時間（呼出時間を無限にした場合は除く）を経過すれば停止します。

ご注意

●指定された電話機が、話し中の時は呼び出しできません。
●センサーとのインタフェースは簡易的ですので、緊急の場合の呼び出し等には利用しないでください。

知っていると便利なこと

●リモコンへの連動もできますので、センサー動作時に外部機器のコントロールもできます。
●指定電話機の呼出時間は無限、15秒、60秒を選択できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

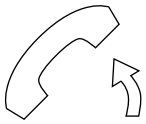
26．更に便利な使い方

外部スピーカを使用するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(525，616)	―	―	ET-PGU-Gi ET-「」MOTH-Gi

外部にスピーカを取り付け放送することができます。

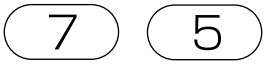
放送するとき



❶ 送受器をとります。

⇩

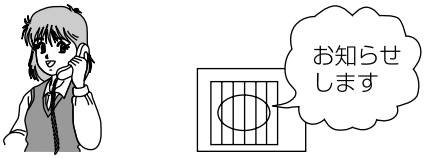
ツツツツ…が聞こえます。



❷ 呼出番号 7 5 ボタンを押します。

⇩

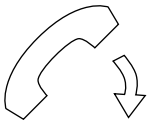
外部スピーカより冒頭音（ピンポンパンポン）が送出されます。



❸ 送受器で話しかけます。

⇩

外部スピーカより放送されます。



❹ 送受器を置きます。

ご注意

●先に一斉呼出、グループ呼出、外部スピーカを使用している場合は、放送できません。

知っていると便利なこと

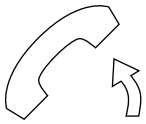
●系統別（最大4系統）に放送することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●冒頭音を送出しないようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●呼出番号を変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●外部スピーカよりBGMや内線、外線の着信音を送出することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

26．更に便利な使い方

外部スピーカを使用するとき

放送に応答する場合

放送に応答して放送者と通話することもできます。



❶ 送受器をとります。

7 7

❷ 応答番号 7 7 ボタンを押します。

❸ 外部スピーカが切り離され、放送した人と通話ができます。

知っていると便利なこと

●応答番号は変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

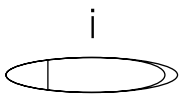
26．更に便利な使い方

BGM

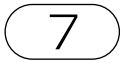
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
619	ー	ー	ET-EMU-Gi ET-「」MOTH-Gi

電話機のスピーカより音楽を流すことができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

BGMを聞くとき

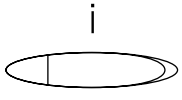


❶ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが点灯します。

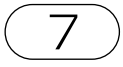


❷ [7]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

BGMを止めるとき



❶ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが点灯します。



❷ [7]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

●BGMを聞いている電話機を使用するか電話機に着信があるとBGMは中断し、電話機が空きとなった時点でBGMが流れます。

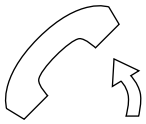
26．更に便利な使い方

VRUに録音したメッセージを聞かせる場合

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（626）	○	ー	ET-VRU-Gi ET-「」MOTH-Gi

VRUに任意のメッセージを録音しておき、外線などにそのメッセージを聞かせることができます。

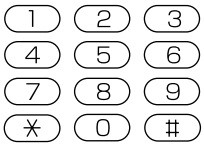
VRUに録音するとき



❶ 送受器をとります。

⇩

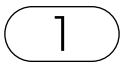
ダイヤルトーンが聞こえます。



❷ 録音／確認番号（1桁または2桁）を押します。

⇩

保留音が聞こえます。

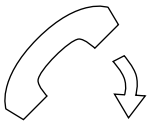


❸ 1 ボタンを押します。

⇩

保留音が止まり録音開始状態になります。

❹ 送受器より録音します。
※録音時間が終了すると話中音になります。



❺ 録音が終了したら送受器を置きます。

補足説明

●VRUは最大2枚まで搭載できます。1枚の最大メッセージ数は録音制限時間により異なります。

録音制限時間	8秒	16秒	32秒
メッセージ数	4	2	1

ご注意

●録音時間が制限時間内に終了した場合、余った時間分は無音が録音されます。このとき送受器を置く音が録音される場合があります。

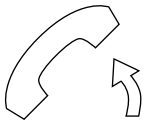
知っていると便利なこと

●❷の録音／確認番号はメッセージ数及びVRUの枚数に対応します。VRU1枚目のメッセージ1および2のみ、録音／確認番号78および79が初期設定されています。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

26．更に便利な使い方

VRUに録音したメッセージを聞かせる場合

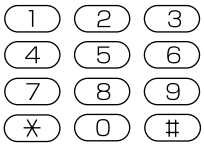
VRUに録音したメッセージを確認するとき



❶ 送受器をとります。

⇩

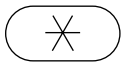
ダイヤルトーンが聞こえます。



❷ 録音／確認番号（1桁または2桁）を押します。

⇩

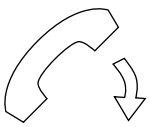
保留音が聞こえます。



❸ ＊ボタンを押します。

⇩

保留音が止まり、録音されているメッセージが聞こえます。



❹ メッセージを確認したら送受器を置きます。
（メッセージは2回まで繰り返して送出され、その後話中音になります。）

VRUに録音したメッセージを聞かせるとき

VRUに録音したメッセージは下記の機能で使用します。

機　　能	聞かせる相手
外部保留音送出	外線
外線自動応答メッセージ	外線
ダイレクトインダイヤル（DID）	外線
外線お待たせメッセージ	外線
転送電話（自動転送）	外線
不在転送（外線への転送）	外線
センサ入力	電話機

26．更に便利な使い方

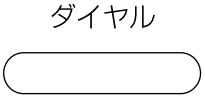
内線をワンタッチで呼び出すとき（DSS/BLF機能）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（575）	ー	ダイヤル（00）	ー

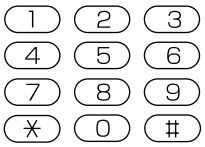
空き外線ボタンに内線番号を登録してワンタッチ呼出や相手状態表示を行なうことができます。

内線番号を登録する方法

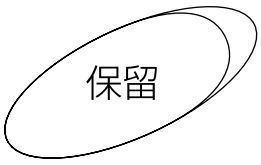
❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。



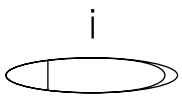
❷ ［ダイヤル］に設定されたボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



❸ 登録する内線番号（電話機の番号1～4桁）を押します。



❹ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❺ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

内線を呼び出す方法

❶ 上記で登録したボタンを押します。
⇩
自動的に相手を呼び出します。

次ページへつづく

26．更に便利な使い方

内線をワンタッチで呼び出すとき（DSS/BLF機能）

補足説明

●連続して登録する場合は❷～❹を繰り返します。

●[ダイヤル]ボタンの設定はP160を参照してください。

●ランプの表示は下記のとおりです。

状　　態	ランプ表示
空き	消える
通話中、単独電話機が送受器をあげている状態	点灯
不在転送、不在表示	遅い点滅
着信拒否、[i]ボタン使用中	時々消える点滅
着信中	早い点滅

知っていると便利なこと

●登録した番号を消すときは❸で[フック]ボタンを押します。

●一斉呼出や外部スピーカ呼出なども登録できます。

●外線通話中、内線通話中に登録した[ダイヤル]ボタンを押すと、通話は自動保留となり、内線を呼び出すことができます。また、通話を切断して、新たな内線呼出を行なうこともできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●指定電話機（データ設定用電話機No.1のみ）から他の電話機の登録をする場合は、下記の操作を行ないます。

❶送受器を置いたまま（[スピーカ]ランプも消えていること）[i]ボタンを押します。

⇨[i]ランプが点灯します。

❷[9][3]ボタンを押します。⇨[i]ランプが遅い点滅になります。

❸登録先の電話機の収容位置（3桁）を押します。

❹[#]ボタンを押します。

❺[ダイヤル]ボタンを設定した外線ボタンの番号（01～24の2桁）を押します。

❻内線番号（電話機の番号1～4桁）を押します。

❼[保留]ボタンを押します。⇨[i]ランプが早い点滅になります。

❽[i]ボタンを押します。⇨[i]ランプが消えます。

尚、連続して登録する場合は、❹～❼を繰り返し、違う電話機に登録する場合は❸から繰り返します。また、登録した番号を消すときは❻で[フック]ボタンを押します。

※電話機の収容位置を確認するときは、各電話機で[i]＋[8]の操作をします。

（例）

収容位置　内線番号

1	0	1	＝	1	0									

26．更に便利な使い方

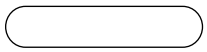
イヤホンマイクの使い方

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	ヘッドセット切替（67）	HSTAU-Gi

ボタン電話機に専用のイヤホンマイクを接続してイヤホンとマイクで通話することができます。

ヘッドセット切替ボタンでイヤホンマイクを使用する設定

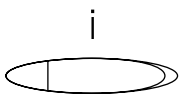
ヘッドセット切替ボタンによりイヤホンマイクが使えるようになります。



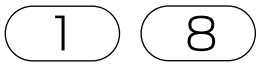
❶ 送受器を置いたままヘッドセット切替ボタンを押します。
（スピーカランプも消えていること）
⇩
ヘッドセット切替ランプが点火し、イヤホンマイクが使えるようになります。

iボタンでイヤホンマイクを使用する設定

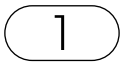
ヘッドセット切替ボタンが設定されていない場合はiボタンを使ってイヤホンマイクが使えるようにできます。



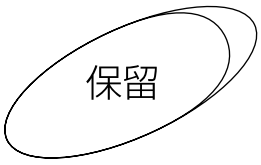
❶ 送受器を置いたままiボタンを押します。
（スピーカランプも消えていること）
⇩
iランプが点火します。



❷ 1 8ボタンを押します。
⇩
iランプが遅い点滅になります。



❸ 1ボタンを押します。

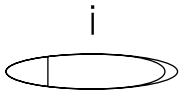


❹ 保留ボタンを押します。
⇩
iランプが早い点滅になります。
ヘッドセット切替ボタンが設定されている場合はヘッドセット切替ランプが点火します。

次ページへつづく

26．更に便利な使い方

イヤホンマイクの使い方



❼ [i]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが消えます。

補足説明

●[ヘッドセット切替]ボタンの設定はP160を参照してください。

●[ヘッドセット切替]ランプ点灯中はイヤホンマイク、[ヘッドセット切替]ランプが消えている場合は送受器を表わします。

●送受器に戻す場合は

・[ヘッドセット切替]ボタンの場合は、再度[ヘッドセット切替]ボタンを押します。

・[i]ボタンの場合は、❸で[1]ボタンの代わりに[0]ボタンを押します。

ご注意

●イヤホンマイク使用時は、送受器は使用できません。また、送受器使用時は、イヤホンマイクは使用できません。

●イヤホンマイクを使用する場合は、電話機内へET-HSTAU-Giを取り付ける必要があります。
詳しくは、販売店へお問い合わせください。

●イヤホンマイクが接続できる電話機は下記の通りです。
TEL SD、TEL LD

26．更に便利な使い方

イヤホンマイクの使い方

外線にかける場合

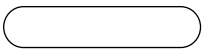
スピーカ

❶ スピーカ ボタンを押します。

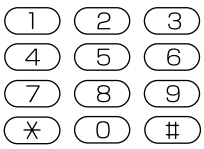
⇩

スピーカ ランプが点灯します。

外線



❷ 外線 ボタンを押します。



❸ 相手先の電話番号を押します。

❹ 相手先が応答したらイヤホンマイクで通話します。

スピーカ

❺ 通話を終えるときは スピーカ ボタンを押します。

⇩

スピーカ ランプが消えます。

知っていると便利なこと

●オフフック自動発信機能ありの場合は、❶で外線をつかみますので❷は省略します。

26．更に便利な使い方

イヤホンマイクの使い方

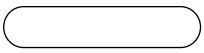
外線着信に応答する場合

❶ [スピーカ]ボタンを押します。

⇩

[スピーカ]ランプが点灯します。

外線



❷ 着信表示している[外線]ボタンを押します。

❸ イヤホンマイクで通話します。

❹ 通話を終えるときは[スピーカ]ボタンを押します。

⇩

[スピーカ]ランプが消えます。

知っていると便利なこと

●オフフック応答機能ありの場合は、❶で着信に応答できますので❷は省略します。

27．困ったときに販売店に連絡する方法

困ったときや緊急時に電話番号を調べなくても販売店などに連絡できます。

相談サービス機能

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
652	ー	相談サービス（97）	ー

電話機に設定された相談サービスボタンを押すと、あらかじめ設定された販売店の電話にかけることができます。

通電中（装置動作中）の相談サービスボタンの操作

相談サービス

❶ 相談サービスボタンを押すと、あらかじめ設定された電話番号に発信されます。

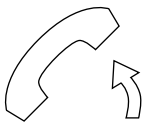
補足説明

- ワンタッチ外線自動発信機能が設定されてない場合は、相談サービスボタンを押す前に外線を捕捉します。
- 相談サービスボタンの設定はP160を参照してください。

ご注意

- 相談機能付電話機（TELPF-HLP）以外の電話機の相談サービスボタンは通電中（装置が動作中）のみ有効です。

停電中（装置動作停止中）の相談サービスボタンの操作



❶ 送受器をとります。

相談サービス

❷ 相談サービスボタンを押すと、あらかじめ設定された電話番号に発信します。

補足説明

- LCD及びLED表示はしません。

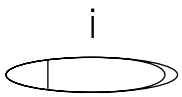
ご注意

- 相談機能付電話機（TELPF-HLP）のみ機能します。
- 必ず送受器をとってから相談サービスボタンを押してください。
- 電話番号の設定は販売店に依頼してください。

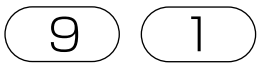
28．割引料金適用日を登録するとき

通話料金割引適用日を設定します。

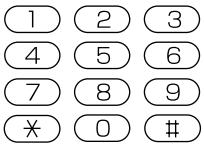
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	○	―	―



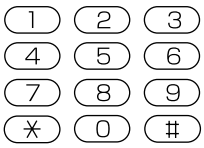
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



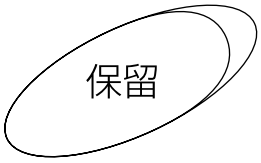
❷ [9][1]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



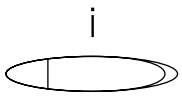
❸ メモリ番号（1～8で1桁）を押します。



❹ 月（01～12），日（01～31）4桁を押します。



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

28．割引料金適用日を登録するとき

補足説明

●祝祭日とした日が日曜日と重なった場合、月曜日は振替休日となり割引日となります。
●連続して設定する場合は❸～❺を繰り返します。
●❸の操作を行なったときに設定されているデータが表示されます。
［割引料金適用日が設定されていた場合］

メモリ番号　割引料金適用日（3月20日）

ワ	リ	ヒ゛	キ	ヒ゛		1	＝		0	3	／	2	0

［割引料金適用日が設定されていない場合］

メモリ番号　割引料金適用日（設定なし）

ワ	リ	ヒ゛	キ	ヒ゛		1	＝		ー	ー	／	ー	ー

●解除する場合は❹で［フック］ボタンを押します。
●祝祭日以外を割引料金適用日にする場合は❸の後に、［＃］を押してから❹～❻の操作を行ないます。
この場合、設定した日が日曜日と重なっても、月曜日は割引日となりません。

ご注意

●下記の日は、固定データとして登録されているので、下記以外の割引日（春分の日，秋分の日，体育の日，成人の日など）を登録してください。
（1）祝祭日　1/1，2/11，4/29，5/3，5/4，5/5，7/20，9/15，11/3，11/23，12/23
（2）平日　1/2，1/3

29．通話料金に関する表示

外線発信時に通話時間、通話料金表示、予算使用率の表示ができます。電話料金の節約につながります。

通話時間と通話料金の表示

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(127), 128, (130, 132, 604)	ー	ー	ー

外線発信時に通話時間、通話料金を表示することができます。

0	3	1	2	3	4	5	6	7	8					
0	2	’	3	0			1	2	0	円				

❶ 03-12345678に2分30秒かけたとき左記表示をします。

補足説明

●通話時間は59分50秒までで、それを超えると00分00秒から再スタートします。
●通話時間は、10秒単位で表示します。
●通話料金は最大9,999円までで、それを超えると0円から再スタートします。

ご注意

●表示される通話料金は、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。
●通話料金には消費税は含まれておりません。

知っていると便利なこと

●通話中のダイヤル表示を日時表示に変更することもできます。
●1回の通話料金が設定料金を超えると話しが終わるまで、電話機のスピーカから（ピピッ，ピピッ，ピピッ）と料金が上がるたびに警報音（超過料金アラーム）がなり、注意を促します。
（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

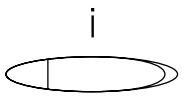
29．通話料金に関する表示

予算使用率

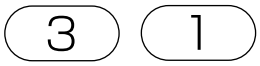
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
131，(133)	○	ー	ー

あらかじめ各電話機に登録した予算に対する使用率を表示します。

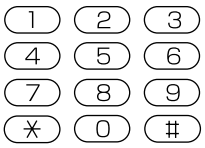
予算を登録する場合



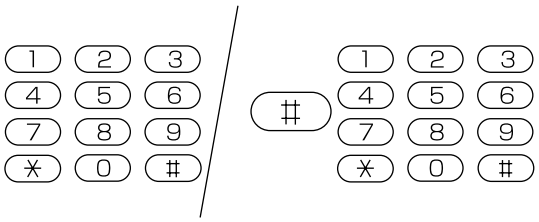
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



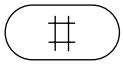
❷ [3][1]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



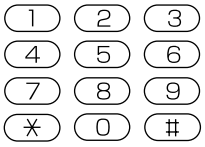
❸ パスワード（4桁）を押します。
⇩
パスワードが正しいとOKと表示します。



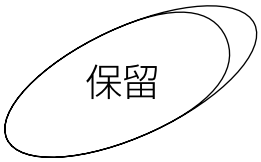
❹ 対応の操作を行います。
・電話機単位の場合は、内線番号またはID番号を押します。
・グループ単位の場合は、[#]＋グループ番号（2桁）を押します。



❺ [#]ボタンを押します。



❻ 予算を登録します。
（電話毎→百円単位で4桁）
[10万円台][1万円台][千円台][百円台]
（グループ毎→百円単位で5桁）
[100万円台][10万円台][1万円台][千円台][百円台]

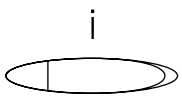


❼ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。

次ページへつづく

29．通話料金に関する表示

予算使用率



❽ [i]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが消えます。

補足説明

●確認する場合は、❻，❼の操作を省略します。
●連続して登録するときは、❹～❼の操作を繰り返して行ないます。
●予算をクリアするときは、❺の後に[フック]ボタンを押してから[保留]ボタンを押します。
●予算の登録は指定の電話機より行ないます。

ご注意

●表示される通話料金は、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。
●指定の電話機、パスワードは販売店にご確認してください。

知っていると便利なこと

●予算をオーバーした電話機は外線への発信を規制することができます。

予算使用率の表示

0	3	1	2	3	4	5	6	7	8					
0	2	’	3	0			1	2	0	円	(	6	0	%	)

❶ 外線通話中に使用率を表示します。

補足説明

●常時、表示なしに設定されている場合は外線発信時相手が応答後表示します。
●予算の使用率表示は、通話中は変化しません。通話が終了後に切替わります。

ご注意

●表示される通話料金は、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。
●使用率を表示させるには、予算登録が必要です。（P152を参照してください。）

知っていると便利なこと

●使用率を常時表示させることもできます。

30．通話料金を集計するとき

表示器付電話機より通話料金を集計して表示できます。尚、下記の通話については正確な料金管理はできません。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

①PHS
②携帯電話／自動車電話／ショルダーホン及び船舶電話
③番号案内（104）／電報サービス（115）
④コレクトコールの着信通話
⑤ナビダイヤル（0570）
⑥ダイヤルQ2（0990、1890990）
⑦今後始まる新サービス
⑧その他、通常の加入電話の番号以外の場合

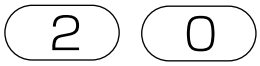
また、通話料金集計をプリンタ印字することもできます。詳しくは、P187をご覧ください。

最後の通話料金のモニタ

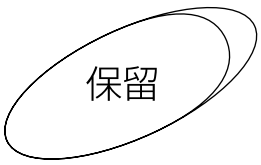
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
－	－	－	－

最後に外線通話した通話料金をモニタ（表示）できます。

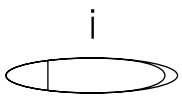
❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。



❷ ［2］［0］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



❸ ［保留］ボタンを押します。（料金表示を行ないます。）
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❹ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

補足説明

●100万円を超えた場合は、下6桁が表示されます。
●❸での表示例を以下に示します。

リ	ョ	ウ	キ	ン				＝			2	3	0	円

（最後の通話の料金は、230円）

ご注意

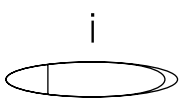
●表示される通話料金は、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。
●料金には消費税は含まれません。

30．通話料金を集計するとき

電話機毎の料金モニタ

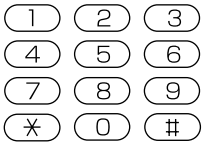
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(129)	○	ー	ー

現在の電話機毎の累計料金（消費税含む）を指定の電話機でモニタ（表示）できます。また、指定外の電話機では自分の電話機の累計料金（消費税含む）をモニタ（表示）できます。

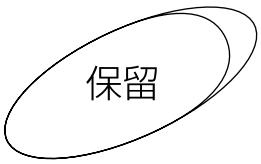


❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。

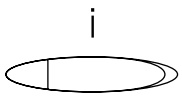
❷ [2][9]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



❸ 内線番号またはID番号を押します。
（自分の電話機の場合は、本操作は必要ありません。）



❹ [保留]ボタンを押します。（料金表示を行ないます。）
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❺ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

●❹での表示例を以下に示します。

[他電話機をモニタしたときの表示]

内線番号またはID番号　累計料金

ル	イ	ケ	イ	2	0	1		=			1	2	4	0	円

[自分の電話機をモニタしたときの表示]

累計料金

ル	イ	ケ	イ				=			1	2	4	0	円

料金が表示桁（6桁）を越えた場合は、“ FULL ”と表示されます。

ご注意

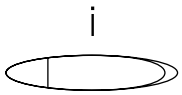
●表示される通話料金は、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。

30．通話料金を集計するとき

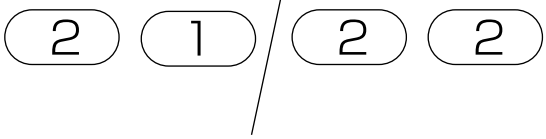
累計金額及び予算使用率のモニタ

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
(129)	○	ー	ー

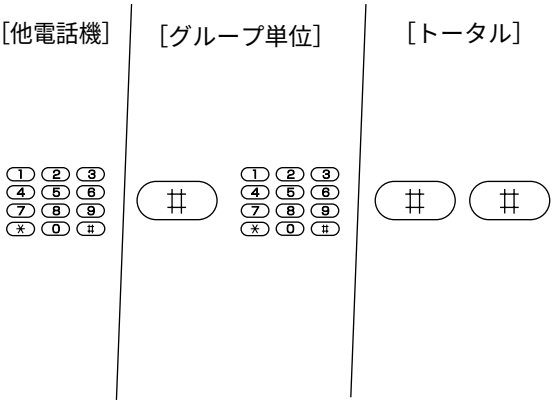
他電話機、グループ単位、トータルの料金及び予算使用率を指定の電話機でモニタ（表示）できます。また、指定外の電話機では自分の料金及び予算使用率をモニタ（表示）できます。



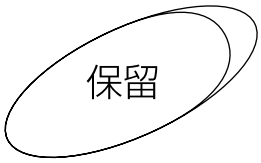
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



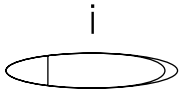
❷ [2][1]（今回料金）または[2][2]（前回料金）ボタンのいずれかを操作します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



❸ 対応の操作を行ないます。
- 自分の電話機の場合は、本操作は必要ありません。
- 他電話機の場合は、内線番号またはID番号を押します。
- グループ単位の場合は、[#]＋グループ番号（2桁）を押します。
- トータルの場合は、[#][#]を押します。



❹ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❺ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

30．通話料金を集計するとき

累計金額及び予算使用率のモニタ

補足説明

●消費税は含まれません。

●「今回料金」は通話料金をクリア（P158、P192）してから現在までの累計料金、「前回料金」は通話料金をクリアする直前までの累計料金です。

●❹での表示例を以下に示します。

［自分の電話機をモニタしたときの表示］

累計料金

ル	イ	ケ	イ				＝			1	2	0	0	円
（	コ	ン	カ	イ	）							1	0	%

予算使用率

・前回料金の場合は（ゼンカイ）と表示します。

・料金が表示桁6桁を超えた場合は“ FULL ”と表示します。

・予算使用率が9999%を超えた場合は「＊＊ %」を表示します。

［他電話機をモニタしたときの表示］

内線番号またはID番号　累計料金

ル	イ	ケ	イ	1	0		＝			1	2	0	0	円
（	コ	ン	カ	イ	）							2	0	%

予算使用率

［グループ単位をモニタしたときの表示］

グループ番号　　累計料金

ル	イ	ケ	イ	＃	0	1		＝		1	2	0	0	0	円
（	コ	ン	カ	イ	）								2	0	%

予算使用率

［トータルをモニタしたときの表示］

累計料金

ル	イ	ケ	イ	＃	＃	＝			1	2	0	0	0	0	円
（	コ	ン	カ	イ	）										

ご注意

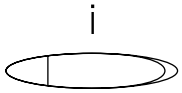
●前回の料金及び今回のトータル料金の表示の場合は予算使用率は表示されません。

30．通話料金を集計するとき

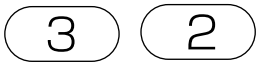
通話料金をクリア（精算）するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
129	○	ー	ー

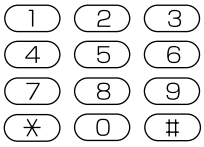
表示器付電話機より、通話料金をクリアし表示できます。（指定電話機からのみ可能な機能です。指定電話機及びパスワードは、販売店にご確認ください。）



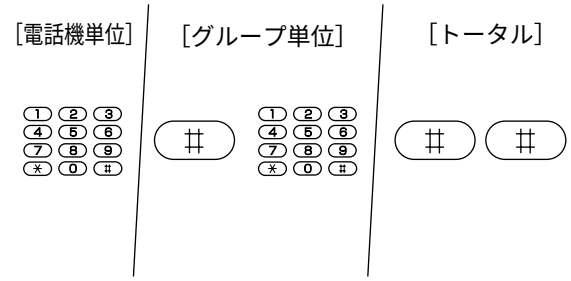
❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。



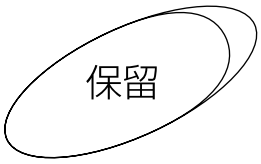
❷ ［3］［2］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



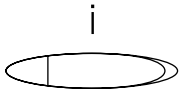
❸ ［パスワード］（4桁）を押します。
⇩
パスワードが正しいとOKと表示します。



❹ 対応の操作を行ないます。
- 電話機単位の場合は、内線番号またはID番号を押します。
- グループ単位の場合は、［#］＋グループ番号（2桁）を押します。
- トータルの場合は、［#］［#］を押します。



❺ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。



❻ ［i］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが消えます。

次ページへつづく

30．通話料金を集計するとき

通話料金をクリア（精算）するとき

補足説明

●連続して操作する場合は、❹，❺を繰り返します。
●消費税は含まれません。
●❸での表示例を以下に示します。

ル	イ	ケ	イ		ク	リ	ア							
ハ	°	ス	ワ	ー	ト	゙	＝	1	1	1	1	ー	ー	O	K

パスワード

●❺での表示例を以下に示します。

［電話機単位の表示］

内線番号またはID番号　累計料金

セ	イ	サ	ン	1	0			＝			1	2	4	0	円

［グループ単位の表示］

グループ番号　　累計料金

セ	イ	サ	ン	＃	0	1	＝			1	2	4	0	0	円

［トータルの表示］

累計料金

セ	イ	サ	ン	＃	＃	＝			3	7	8	2	0	0	円

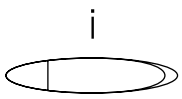
31．プログラマブルキーの登録方法

使用していない[外線]ボタンを、ワンタッチダイヤルや機能ボタンに設定して自分にあった電話機にできます。（詳しくは、販売店にご相談ください。）

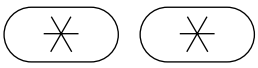
自電話機への登録方法

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

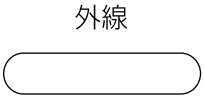
自分の電話機にプログラマブルキーを設定します。



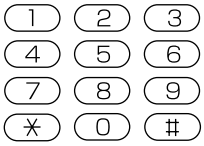
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること。）
⇩
[i]ランプが点火します。



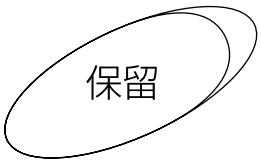
❷ [＊][＊]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



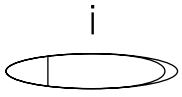
❸ 登録するボタン（使っていない外線ボタン）を押します。
⇩
現在登録されている機能番号と機能名称が表示されます。



❹ 登録する機能番号（2桁）を押します。
（機能番号はP163を参照してください。）
⇩
押した機能番号と機能名称が表示されます。



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

- ●操作及び機能番号等を間違えた場合は、[i]ボタンを押して❶からやり直します。
- ●連続して機能番号を登録する場合は❸～❺の操作を繰り返して行ないます。

ご注意

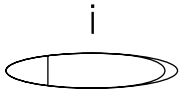
- ●同じ機能を2ケ所に登録すると、最初に登録されていたボタンは[ダイヤル]となり使用できなくなります。（[ダイヤル]は、複数設定可能です。）
- ●機能を削除することはできませんので、機能をやめる場合は機能番号00（ダイヤル）を登録します。

31．プログラマブルキーの登録方法

他電話機への登録方法

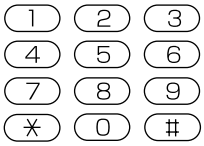
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（607）	○	ー	ー

指定電話機から他の電話機にプログラマブルキーを設定します。（指定電話機がわからないときは、販売店にお問い合わせください。指定電話機が「全ての電話機」になっていても、本操作はデータ設定用電話機No.1のみ可能となります。）

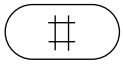


❶ 送受器を置いたまま［i］ボタンを押します。
（［スピーカ］ランプも消えていること）
⇩
［i］ランプが点灯します。

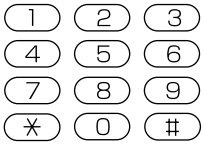
❷ ［9］［2］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが遅い点滅になります。



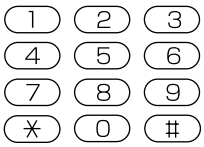
❸ 登録先の電話機の収容位置（3桁）を押します。



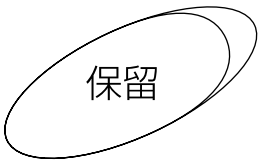
❹ ［#］ボタンを押します。



❺ 登録する外線ボタンの番号（01～24の2桁）を押します。
⇩
現在登録されている機能番号と機能名称が表示されます。



❻ 登録する機能番号（2桁）を押します。
（機能番号はP163を参照してください。）

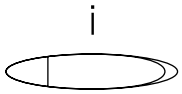


❼ ［保留］ボタンを押します。
⇩
［i］ランプが早い点滅になります。

次ページへつづく

31．プログラマブルキーの登録方法

他電話機への登録方法



❽ [i]ボタンを押します。

⇩

[i]ランプが消えます。

補足説明

●操作及び機能番号等を間違えた場合は、[i]ボタンを押して❶からやり直します。

●連続して機能番号を登録する場合は❹～❼の操作を繰り返して行ないます。

ご注意

●同じ機能を2ケ所に登録すると、最初に登録されていたボタンは[ダイヤル]となり使用できなくなります。（[ダイヤル]は、複数設定可能です。）

●機能を削除することはできませんので、機能をやめる場合は機能番号00（ダイヤル）を登録します。

知っていると便利なこと

●電話機の収容位置を確認するときは、各電話機で[i]＋[8]の操作をします。

（例） 収容位置　内線番号

1	0	1	＝	1	0									

次ページへつづく

31．プログラマブルキーの登録方法

機能番号と内容

機能番号と内容を下表に示します。

（○：ランプあり（赤），●：ランプあり（緑），◎：ランプあり（赤），（緑））

機能番号	キー名称	機能番号	キー名称	機能番号	キー名称
00	ダイヤル○	73	ボイスメモ機能	87	リモコン2○
01～48	外線1～外線48（※3）◎	74	転送先切替（※1）○	88	リモコン3○
60	なんでも1	75	プリセット○	89	リモコン4○
61	なんでも2	76	出退1○	90	聴話○
62	なんでも3	77	出退2○	91	履歴
63	なんでも4	78	出退3○	92	キーパッド○
64	受話音量	79	出退4○	93	サービス○
65	発信●	80	内線○	94	フック
67	ヘッドセット切替○	81	転送切替（※2）○	95	転送
68	再発信	82	マイク○	96	代理応答
69	短縮	83	3者会議○	97	相談サービス
70	短縮2	84	不在設定○	98	自己保留
71	お待たせ○	85	夜間切替○	99	スタート
72	録音◎	86	リモコン1○		

（※1）表示器には「ABキリカエ」と表示されます。

（※2）表示器には「TRキリカエ」と表示されます。

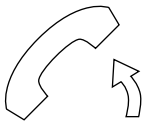
（※3）接続する装置により異なりますので、販売店にお問い合わせください。

32．停電用電話機の使い方

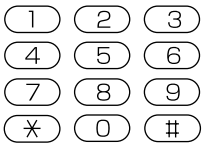
停電時は（主装置に供給する商用電源が切れた場合）は専用の停電用電話機で外線への発信、着信応答を行ないます。

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
ー	ー	ー	停電用電話機

停電時に外線に電話をかけるとき



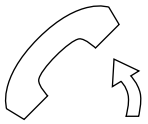
❶ 送受器をとります。



❷ 相手の電話番号を押します。

❸ 相手が応答すると通話ができます。

停電時に外線から電話がかかってきたとき



❶ 着信音が聞こえたら、送受器をとります。

❷ 通話ができます。

補足説明

●停電時には、取付時に決められた外線（1回線）を1台の停電用電話機で使用できます。

ご注意

●停電時はボタン電話の機能は一切できません。
●着信の場合、外から電話がかかってきても電話機の 外線 ランプは点滅しません。
●お客様が停電用電話機のダイヤル切替ツマミを操作しますと、ダイヤルしても相手の方につながらない場合がありますので、販売店におまかせください。

33．アナログインタフェース付電話機（TEL OA）の使い方

アナログインタフェース付電話機に単独電話機を接続して、親子式電話として使うことができます。
また、単独電話機の代わりにFAX，モデム内蔵パソコンなどのアナログ回路を有する端末機器も接続できます。

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
639	ー	ー	ー

下記に示す以外の操作については、アナログインタフェース付電話機と単独電話機は一般のボタン電話機と単独電話機の操作と同じです。その他のアナログ回路を有する端末機器はそれぞれの説明書に従って操作してください。尚、アナログインタフェース付電話機（12Gi-TELOA2）については、電話機に添付の取扱説明書をご参照ください。

着信があると

アナログインタフェース付電話機が鳴動すると、同時に単独電話機も鳴動します。

通話の切替方法

通話の優先順位の設定により、通話の切り替え方が異なります。

●優先順位なし（初期設定）
- ・先に送受器をとった方で通話ができます。（後から送受器をとった方は無音です）
- ・先に通話していた方が送受器を置いたときにもう一方が送受器をとっていれば、後者の方に通話が切り替わります。

●アナログインタフェース付電話機を優先とした場合
- ・単独電話機が通話中にアナログインタフェース付電話機が送受器をとると、アナログインタフェース付電話機に通話が切り替わります。
- ・アナログインタフェース付電話機が送受器を置いたときに単独電話機が送受器をとっていれば、単独電話機に通話が切り替わります。

●単独電話機を優先とした場合
- ・アナログインタフェース付電話機が通話中に単独電話機が送受器をとると、単独電話機に通話が切り替わります。
- ・単独電話機が送受器を置いたときにアナログインタフェース付電話機が送受器をとっていれば、アナログインタフェース付電話機に通話が切り替わります。

補足説明

●通話の切替の優先順位の設定ができます。（初期設定は優先順位なし）
●電話機毎の短縮ダイヤルは、優先電話機側の短縮ダイヤルデータのみ使用可能となります。
●キーロック機能（使用中の方のみ操作を有効とする）が設定できます。（初期設定は機能なし）
●親子式電話として使用しない場合（それぞれ独立して使う場合）はそれぞれ独立して操作できます。

ご注意

●優先電話機をアナログインタフェース付電話機にした場合、FAXなどで通信中にアナログインタフェース付電話機が送受器をとると、アナログインタフェース付電話機に通話が切り替わってしまい、通信ができなくなりますので注意してください。
●通話中にモデム通信などを行なう場合は、親子式電話はできません。

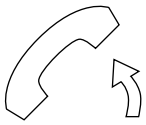
通話を保留して切替る場合

①一方の電話機が通話中に保留操作をして、送受器を置きます。
②もう一方の電話機で、保留応答操作をします。

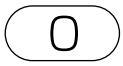
34．単独電話機の使い方

外線にかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
102，(104)	―	―	―



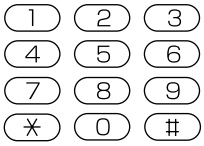
❶ 送受器をとります。



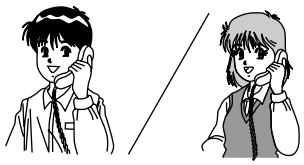
❷ 外線発信特番 0 ボタンを押します。

⇩

外線をつかみます。



❸ 相手先番号を押します。



❹ 相手が応答すると通話ができます。

補足説明

●空き外線の老番よりつかみます。
●単独電話機を使用するときは、単独電話機のダイヤル種別等の設定（データ設定早見表No.641）も必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

ご注意

●❷の操作後は必ず外線発信音（ツー）を確認し、その後の操作を行なってください。

知っていると便利なこと

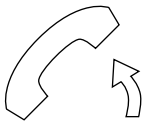
●送受器をとるだけで外線をつかむようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●外線発信特番は変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

34．単独電話機の使い方

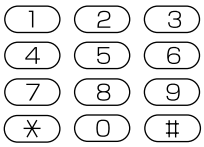
外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
110	―	―	―

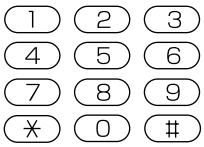
短縮ダイヤル発信



❶ 送受器をとります。



❷ 短縮ダイヤル発信特番（1桁または2桁）を押します。



❸ 短縮番号（2桁または3桁）を押します。

⇩

登録されている番号が自動的にダイヤルされます。

❹ 相手が応答すると通話ができます。

補足説明

●短縮番号は短縮ダイヤルのメモリ数により異なります。

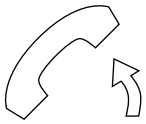
	システム短縮（短縮ダイヤルNO.）	電話機短縮（短縮ダイヤルNO.）
メモリ数	80（00～79）	20（80～99）
	500（000～499）	10（80～89）
	1000（000～999）	0

34．単独電話機の使い方

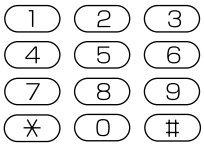
外線に短縮ダイヤルを使ってかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
108	―	―	―

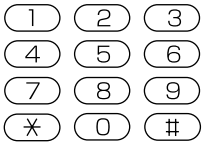
電話機毎の短縮ダイヤルを登録する方法



❶ 送受器をとります。



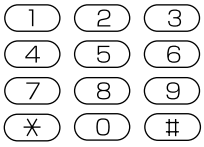
❷ 短縮ダイヤル登録特番（1桁または2桁）を押します。



❸ 短縮番号（2桁）を押します。

⇩

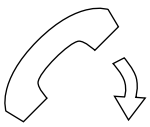
ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が送出されます。



❹ 相手先番号を押します。（最大24桁）

⇩

約6秒後に保留音が送出されます。



❺ 送受器を置きます。

補足説明

●❸の操作を行なった時点で既に登録済みだった場合は、登録済の相手先番号は取消されます。
●連続して登録するときは、最初から操作してください。

ご注意

●電話機毎の短縮ダイヤルのみ登録及び取消しができます。
●操作に誤りがありますとその時点で話中音（ツーツー…）が送出されますので一旦、送受器を置いて最初からやり直してください。

知っていると便利なこと

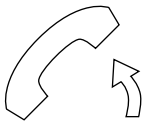
●登録を取消す場合は❶～❸の操作を行ない、送受器を置きます。

34．単独電話機の使い方

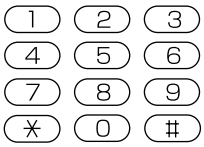
外線指定捕捉

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
106	ー	ー	ー

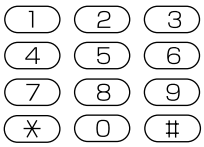
外線番号を指定してつかむことができます。



❶ 送受器をとります。



❷ 外線指定用特番（1桁または2桁）を押します。



❸ 外線番号（2桁）を押します。
［外線1の場合は、01を押します。］

⇩

指定した外線をつかみます。

補足説明

●外線番号（2桁）とダイヤルの関係を下記に示します。
（例）外線1の場合は、01を押します。外線2の場合は、02を押します。

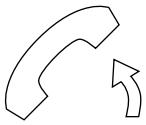
ご注意

●指定した外線が空きがなかった場合は、外線の状態により下記に示す応答操作となります。
・着信外線を指定すると外線着信応答となります。
・保留中の外線を指定すると保留外線応答となります。
・通話中の外線を指定すると外線指定割込通話となります。但し、オプションの会議通話ユニット（CFU）が必要です。

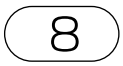
34．単独電話機の使い方

外線からの着信に応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
（203，204）	―	―	―



❶ 送受器をとります。



❷ 外線着信応答特番 8 ボタンを押します。

❸ 相手と通話ができます。

補足説明

●着信外線の若番より応答します。

ご注意

●サービスクラスG（乙）の電話機では応答できません。
●テナント外の外線には応答できません。

知っていると便利なこと

●外線着信応答特番は変更することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●送受器をとるだけで応答するようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●ボタン電話機でも操作できます。

34．単独電話機の使い方

外線を保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
312，(313)	―	―	―

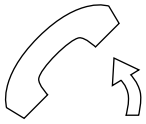
保留するとき

❶ 外線通話中にフッキング操作を行ないます。

⇩

外線には保留音が流れます。

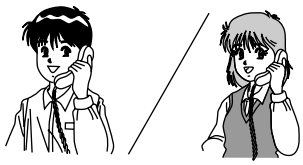
保留外線に応答するとき



❶ 送受器をとります。

9

❷ 保留応答特番 9 ボタンを押します。



❸ 保留されていた相手と通話ができます。

補足説明

●自分で保留した外線に優先して応答します。自分で保留した外線が複数の場合は最後に保留した外線に応答します。
●自分で保留した外線がない場合は、保留外線の若番から応答します。

ご注意

●保留した後に送受器をおいても外線は切れません。

知っていると便利なこと

●回転ダイヤル式電話機の場合は、2 ボタン（変更することもできます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）を押しても保留できます。
●ボタン電話機でも応答操作はできます。

34．単独電話機の使い方

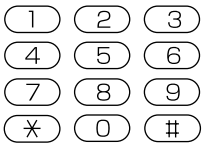
外線を転送するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
315，(316)	―	―	―

❶ 外線通話中にフッキング操作を行ないます。

⇩

外線には保留音が流れます。

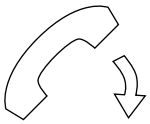


❷ 転送したい相手の内線番号を押します。

⇩

相手を呼び出します。

❸ 相手が応答したら用件を伝えます。



❹ 送受器を置きます。

⇩

外線が転送されます。

ご注意

●❶の後に送受器を置いても外線は切れません。

知っていると便利なこと

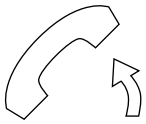
●❷の後に送受器を置くと外線を転送するようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

34．単独電話機の使い方

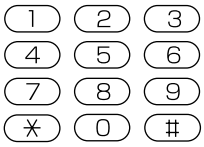
他の電話機の着信に代理応答するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
524	―	―	―

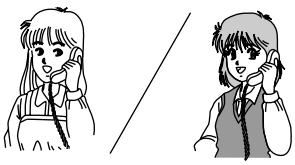
他の電話機の着信を同じグループ内の電話機で応答することができます。



❶ 送受器をとります。



❷ 代理応答番号（1桁または2桁）を押します。



❸ 相手と通話できます。

補足説明

●代理応答番号は設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

知っていると便利なこと

●ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出やダイレクトインライン着信、及び外線簡易転送の着信にも応答できます。但し、完全テナントが設定されている場合は、テナント外の外線には応答できません。また、サービスクラスG（乙）内線は外線系の着信には応答できません。

34．単独電話機の使い方

内線通話を保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
551，(552)	―	―	―

内線と通話中にその通話を保留して他の電話機で応答することができます。

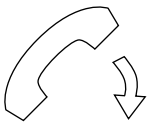
一般保留

同一グループ内の他の電話機から応答できる保留を行ないます。

❶ 内線通話中にフッキング操作を行ないます。

⇩

自分にはスペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッツッ…）が送出され、相手には保留音が送出されます。



❷ 送受器をおきます。

補足説明

●保留できるのは、同一内線グループ内で同時には1台のみです。
●保留グループは代理応答のグループと共通です。

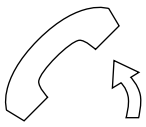
ご注意

●外線及び内線保留中には新たな内線保留はできません。
●内線の一般保留は約2分間で、2分を経過すると保留は解除され通話は切断されます。

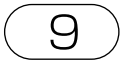
知っていると便利なこと

●回転ダイヤル式電話機の場合は、[2]ボタンを押しても保留できます。

一般保留に応答するとき



❶ 送受器をとります。



❷ 保留応答特番[9]ボタンを押します。

⇩

内線通話に戻れます。

補足説明

●保留グループは代理応答のグループと共通です。

ご注意

●内線保留に応答できるのは、保留した電話機と同一内線グループの電話機のみです。

34．単独電話機の使い方

内線通話を保留するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
551，(552)	―	―	―

自己保留

自分だけの保留（他の電話機から保留応答できない）を行ないます。（最大40秒間）

❶ 内線通話中にフッキング操作を行ないます。

⇩

自分にはスペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッツッ…）が送出され、相手には保留音が送出されます。

補足説明

- ●保留できるのは、同一内線グループ内で同時には1台のみです。
- ●保留グループは代理応答のグループと共通です。
- ●送受器を置くと一般保留になります。

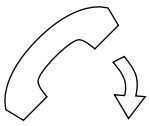
ご注意

- ●外線及び内線保留中には新たな内線保留はできません。
- ●スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッツッ…）は約20秒間で話し中の音（ツーツーツー…）に切り替わり、更に約20秒で保留していた通話に戻ります。

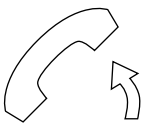
知っていると便利なこと

- ●回転ダイヤル式電話機の場合は、[2]ボタンを押しても保留できます。

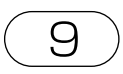
自己保留に応答するとき



❶ スペシャルダイヤルトーン（ツツツツ…）中に一旦、送受器を置きます。



❷ 送受器をとります。



❸ 保留応答特番[9]ボタンを押します。

⇩

内線通話に戻れます。

ご注意

- ●内線保留に応答できるのは、保留した電話機と同一内線グループの電話機のみです。

34．単独電話機の使い方

内線通話を転送するとき

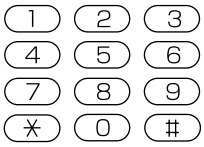
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
553	―	―	―

内線通話中に他の電話機に通話中の相手を転送します。

❶ 内線通話中にフッキング操作を行ないます。

⇩

相手には保留音が流れます。

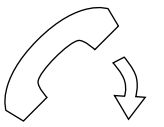


❷ 転送したい相手の内線番号を押します。

⇩

相手を呼び出します。

❸ 相手が応答したら用件を伝えます。



❹ 送受器を置きます。

⇩

通話が転送されます。

知っていると便利なこと

- ❶の操作において、回転ダイヤル式電話機の場合は 2 ボタンでも可能です。
- 相手が応答しないときまたは話し中のときは、フッキング操作（回転ダイヤル式電話機の場合は 2 ボタンでも可）をすれば元の内線通話に戻ることができます。
- ❷の後に送受器を置くと通話を転送するようにもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

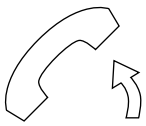
34．単独電話機の使い方

話中・応答遅延転送

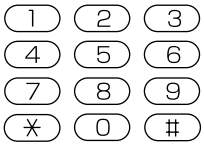
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
531	ー	ー	ー

内線からの呼び出しに対して、話中時や一定時間応答しないときにあらかじめ設定した電話機に自動的に転送します。

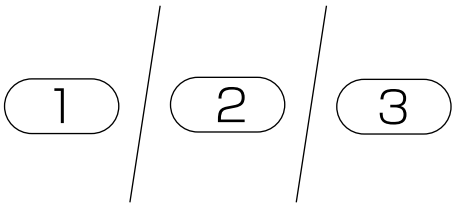
設定するとき



❶ 送受器をとります。



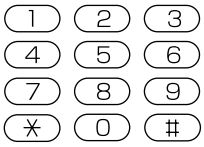
❷ 応答遅延転送登録番号（1桁または2桁）を押します。



❸ 転送内容番号（1 または 2 または 3）を押します。

⇩

ウェイティングトーン（ツツ、ツツ…）が聞こえます。



❹ 転送先の内線番号を押します。

⇩

完了を示す保留音が聞こえますので送受器を置きます。

補足説明

●応答遅延転送登録番号は設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

●転送内容番号は下記のとおりです。

内容番号	転送の内容	内容番号	転送の内容
1	話中転送	3	話中転送＋応答遅延転送
2	応答遅延転送		

●設定を解除する場合は、❷操作時に保留音が送出され、設定が解除されます。（保留音は約20秒送出され、その後、話し中の音（ツーツー…）になります。）一旦、設定を解除して新たに設定する場合は保留音送出中に❸，❹の操作を行ないます。

●内線着信の他、ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、専用線着信、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの内線呼出やダイレクトインライン着信も転送されます。但し、完全テナントの場合、内線着信以外の着信は、テナント外の電話機には転送しません。

ご注意

●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送されません。

知っていると便利なこと

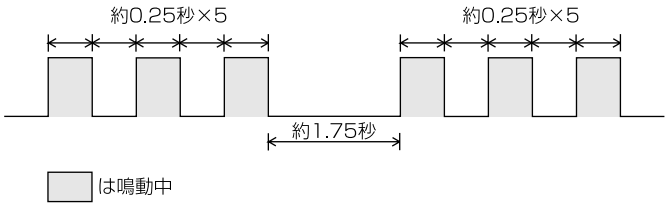
●応答遅延転送の転送時間を変更することができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

34．単独電話機の使い方

その他の操作について

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
それぞれの説明による	ー	ー	ー

●以下の操作はボタン電話機の送受器をとっての操作と同様ですので、各ボタン電話機操作の説明を参照してください。

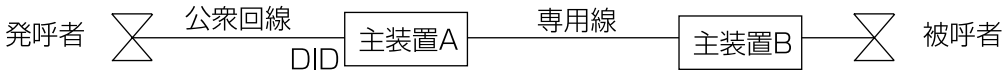
操作項目	参照ページ
内線を個別に呼出すとき	P99
内線からの呼出しに応答するとき	P109
内線を一斉に呼出すとき （ページング、グループ呼出し）	P107，P108
外部スピーカを使用するとき	P137，P138
ドアホンと通話するとき	P117，P118 着信音は単独電話機の鳴動音になります。音の間隔は下記の通りです。 

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

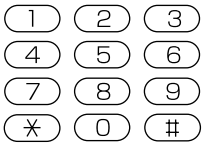
外線から専用線を経由して電話をかけるとき「公ー専接続」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
741-1	ー	ー	下図の「必要な用品」を参照

プッシュホン（またはプッシュ信号送出可能な電話機）で、外線からDID機能を使って主装置Aに電話をかけ、主装置Aに専用線で接続している主装置Bの内線電話機を呼び出すことができます。
専用線を利用することで通話料を節約することができます。



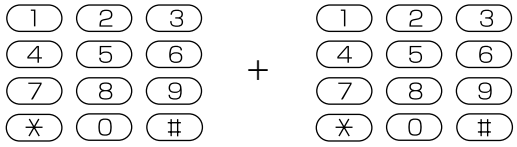
必要な用品：　ET-PBU-GiおよびET-「」MOTH-Gi　ET-2LDI-Giまたは
ET-2LDI-GiまたはET-20DI-Gi　ET-20DI-Gi



❶ 外部の電話から主装置AのDID設定外線の電話番号を押します。

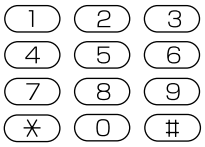
⇩

自動的に応答し、一次応答音（ダイヤルトーン「ツツツツ」またはメッセージ）が聞こえます。



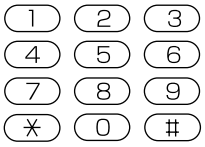
❷ 専用線を捕捉するID発信番号（1～2桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押します。

＊主装置Aに設定した番号



❸ ID発信用パスワード（1～4桁）*を押します。

＊主装置Aに設定した番号



❹ 専用線の先の主装置からの内線ダイヤルトーンが聞こえたら、呼び出したい相手の内線番号を押します。

❺ 相手が応答すると通話ができます。

次ページへつづく

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

外線から専用線を経由して電話をかけるとき「公ー専接続」

補足説明

●ID発信についてはP196を参照してください。
●❶～❹にて応答できない場合や操作が違う場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。
●❶にて電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
●❶にて一次応答音は約20秒送出され、ダイヤルをしないと話中音（ツーツー）が約8秒送出された後、回線は切断されます。
→設定により、一次応答音の送出時間の変更や切断処理を一般着信に変更することも可能です。（＊）
●相手先の呼出時間は約50秒です。
→設定により、10～100秒まで変更可能です。（＊）
●ID発信番号、ID番号、およびパスワードの設定が必要です。（＊）

ご注意

●パスワードをなし（工場出荷時設定あり）に設定した場合は❸の操作が不要となりますが、部外者から使用される恐れがありますので、できるだけパスワードは使用してください。
→パスワードの有無やパスワードの設定はデータ設定が必要です。（＊）
●本機能を利用する場合は、相手との通話は約30分で切れます。
→設定により、通話時間は10～150分の間で変更することも可能です。（＊）
●専用線の番号方式は付加番号方式（ET-2LDI-Gi/ET-2ODI-Giの取扱説明書参照）としてください。

知っていると便利なこと

●❷や❸で操作を間違えた場合に[X]を押すと❷からやり直しができます。
●ID発信番号を設定していない外線自動発信グループに含まれる専用線を使用する場合は、❷～❸の操作の代わりに、外線自動発信番号を押します。
●ID発信番号を設定してある外線自動発信グループに含まれる専用線を使用する場合は、通常❷～❸の操作が必要ですが、DID着信外線毎の設定で、ID発信ではなく外線自動発信番号による操作に変更することもできます。（＊）
●ID番号毎のサービスクラスの設定等で専用線を使用する人を規制することもできます。（＊）

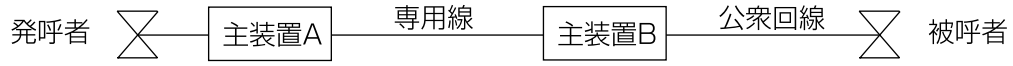
（＊）主装置A側のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

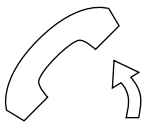
専用線を経由して相手システムの外線を使って電話をかけるとき「専ー公接続」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
741-2	ー	ー	下図の「必要な用品」を参照

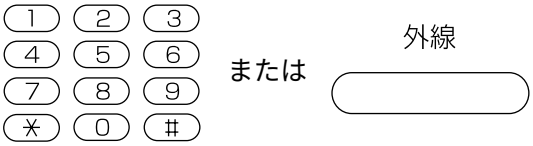
専用線を使って相手システム（主装置B）の外線から電話をかけることができます。
専用線を利用することで通話料を節約することができます。



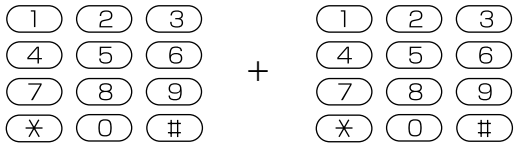
必要な用品：　ET-2LDI-Giまたは ET-20DI-Gi　　ET-2LDI-Giまたは ET-20DI-Gi



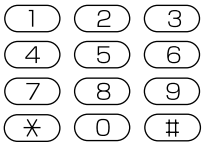
❶ 送受器をとります。



❷ 相手システム（主装置B）の呼出番号（外線自動発信番号）を押します。または相手システム（主装置B）に接続している外線ボタンを押します。

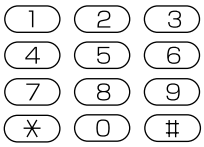


❸ 相手システムからの内線ダイヤルトーンが聞こえたら、相手システム（主装置B）の外線を捕捉するID発信番号（1〜2桁）*、ID番号（1〜4桁）*の順に押します。
＊主装置Bに設定した番号

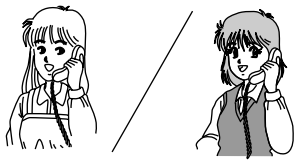


❹ ID発信用パスワード（1〜4桁）*を押します。

＊主装置Bに設定した番号



❺ 専用線の先の主装置から発信音（ツー）が聞こえたら、呼び出したい相手の電話番号を押します。



❻ 相手が応答すると通話ができます。

次ページへつづく

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

専用線を経由して相手システムの外線を使って電話をかけるとき「専ー公接続」

補足説明

●ID発信についてはP196を参照してください。
●❸～❺にて応答できない場合や操作が違う場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。
●主装置Bからの外線発信は、発信を行ったID番号に対して主装置B側で課金されます。
●ID発信番号、ID番号、およびパスワードの設定が必要です。（＊）

ご注意

●パスワードをなし（工場出荷時設定あり）に設定した場合は❹の操作が不要となりますが、部外者から使用される恐れがありますので、できるだけパスワードは使用してください。パスワードの有無やパスワードの設定はデータ設定が必要です。（＊）
●❷の操作は専用線の番号方式が付加番号方式（ET-2LDI-Gi/ET-2ODI-Giの取扱説明書参照）の場合です。

知っていると便利なこと

●ID発信番号を設定していない外線自動発信グループに含まれる外線を使用する場合は、❸～❹の操作の代わりに、外線自動発信番号を押します。この場合は、ID番号に対する課金は行われません。
●ID番号毎のサービスクラスの設定等で外線を使用する人を規制することもできます。（＊）

（＊）主装置B側のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

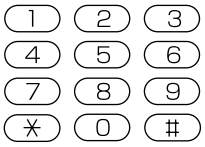
35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

外線から主装置経由で別の外線を使って電話をかけるとき「公ー公接続」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
741-3	ー	ー	下図の「必要な用品」を参照

プッシュホン（またはプッシュ信号送出可能な電話機）で、外線からDID機能を使って主装置に電話をかけ、主装置に接続している外線から電話をかけることができます。
主装置を経由することにより、発呼者の通話料を節約することができます。

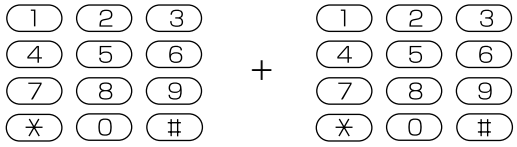
必要な用品：　ET-PBU-Giおよび
ET-「」MOTH-Gi



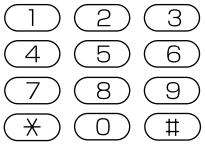
❶ 外部の電話から主装置のDID設定外線の電話番号を押します。

⇩

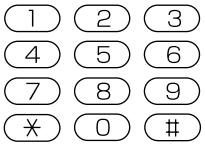
自動的に応答し一次応答音（ダイヤルトーン「ツツツツ」またはメッセージ）が聞こえます。



❷ 外線を捕捉するID発信番号（1～2桁）、ID番号（1～4桁）の順に押します。



❸ ID発信用パスワード（1～4桁）を押します。



❹ 発信音（ツー）聞こえたら、呼び出したい相手の電話番号を押します。

❺ 相手が応答すると通話ができます。

次ページへつづく

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

外線から主装置経由で別の外線を使って電話をかけるとき「公ー公接続」

補足説明

●ID発信についてはP196を参照してください。
●❶～❹にて応答できない場合や操作が違う場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。
●❶にて電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
●❶にて一次応答音は約20秒送出され、ダイヤルをしないと話中音（ツーツー）が約8秒送出された後、回線は切断されます。
→設定により、一次応答音の時間の変更や切断処理を一般着信に変更することも可能です。（＊）
●相手先の呼出時間は約50秒です。
→設定により、10～100秒まで変更可能です。（＊）
●ID発信番号、ID番号、およびパスワードの設定が必要です。（＊）

ご注意

●パスワードをなし（工場出荷時設定あり）に設定した場合は❸の操作が不要となりますが、部外者から使用される恐れがありますので、できるだけパスワードは使用してください。
→パスワードの有無やパスワードの設定はデータ設定が必要です。（＊）
●本機能を利用する場合は、相手との通話は約30分で切れます。
→設定により、通話時間は10～150分の間で変更することも可能です。（＊）

知っていると便利なこと

●❷や❸で操作を間違えた場合に☒を押すと❷からやり直しができます。
●ID発信番号を設定していない外線自動発信グループに含まれる外線を使用する場合は、❷～❸の操作の代わりに、外線自動発信番号を押します。
●ID発信番号を設定してある外線自動発信グループに含まれる外線を使用する場合は、通常❷～❸の操作が必要ですが、DID着信外線毎の設定で、ID発信ではなく外線自動発信番号による操作に変更することもできます。（＊）
●ID番号毎のサービスクラスの設定等で外線を使用する人を規制することもできます。（＊）

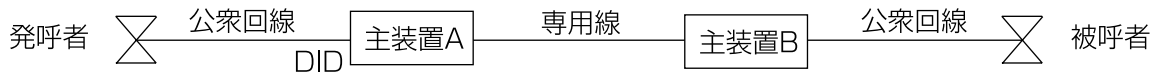
（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

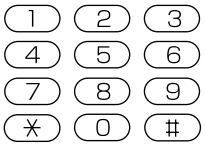
外線から専用線経由で相手システムの外線を使って電話をかけるとき「公ー専ー公接続」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
741-4	ー	ー	下図の「必要な用品」を参照

プッシュホン（またはプッシュ信号送出可能な電話機）で、外線からDID機能を使って主装置Aに電話をかけ、主装置Aに専用線で接続している主装置Bの外線から電話をかけることができます。
専用線を利用することで通話料を節約することができます。



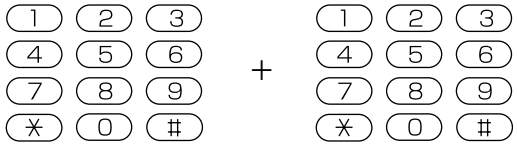
必要な用品：　ET-PBU-GiおよびET-「」MOTH-Gi　ET-2LDI-Giまたは
ET-2LDI-GiまたはET-2ODI-Gi　ET-2ODI-Gi



❶ 外部の電話から主装置AのDID設定外線の電話番号を押します。

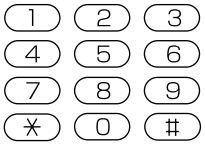
⇩

自動的に応答し一次応答音（ダイヤルトーン「ツツツツ」またはメッセージ）が聞こえます。



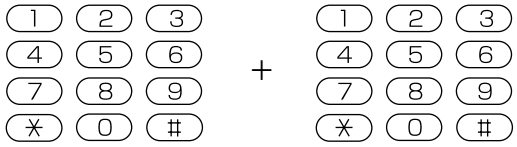
❷ 専用線を捕捉するID発信番号（1～2桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押します。

＊主装置A側に設定した番号

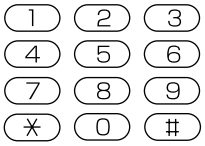


❸ ID発信用パスワード（1～4桁）*を押します。

＊主装置A側に設定した番号

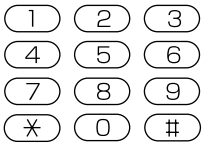


❹ 主装置Bからの内線ダイヤルトーンが聞こえたら、主装置Bの外線を捕捉するID発信番号（1～2桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押します。
＊主装置B側に設定した番号



❺ ID発信用パスワード（1～4桁）*を押します。

＊主装置B側に設定した番号



❻ 専用線の先の主装置Bからの発信音（ツー）が聞こえたら、呼び出したい相手の電話番号を押します。

次ページへつづく

35.「公ー専接続」や「専ー公接続」を利用するとき

外線から専用線経由で相手システムの外線を使って電話をかけるとき「公ー専ー公接続」

❼ 相手が応答すると通話ができます。

補足説明

- ●❶～❻にて応答できない場合や操作が違う場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。
- ●❶にて電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
- ●❶にて一次応答音は約20秒送出され、ダイヤルをしないと話中音（ツーツー）が約8秒送出された後、回線は切断されます。
  →設定により、一次応答音の送出時間の変更や切断処理を一般着信に変更することも可能です。（＊1）
- ●相手先の呼出時間は約50秒です。
  →設定により、10～100秒まで変更可能です。（＊1）
- ●ID発信番号、ID番号、およびパスワードの設定が必要です。（＊1，＊2）

ご注意

- ●パスワードをなし（工場出荷時設定あり）に設定した場合は❸、❺の操作が不要となりますが、部外者から使用される恐れがありますので、できるだけパスワードは使用してください。
  →パスワードの有無やパスワードの設定はデータ設定が必要です。（＊1，＊2）
- ●本機能を利用する場合は、相手との通話は約30分で切れます。
  →設定により、通話時間は10～150分の間で変更することも可能です。（＊1）
- ●専用線の番号方式は付加番号方式（ET-2LDI-Gi/ET-2ODI-Giの取扱説明書参照）のみ可能です。

知っていると便利なこと

- ●❷や❸で操作を間違えた場合に☒を押すと❷からやり直しができます。
- ●主装置Aにて、ID発信番号を設定していない外線自動発信グループに含まれる専用線を使用する場合は、❷～❸の操作の代わりに、外線自動発信番号を押します。
- ●主装置Bにて、ID発信番号を設定していない外線自動発信グループに含まれる外線を使用する場合は、❹～❺の操作の代わりに、外線自動発信番号を押します。
- ●主装置Aにて、ID発信番号を設定してある外線自動発信グループに含まれる専用線を使用する場合は、通常❷～❸の操作が必要ですが、DID着信外線毎の設定で、ID発信ではなく外線自動発信番号による操作に変更することもできます。（＊1）
- ●ID番号毎のサービスクラスの設定等で主装置Aの専用線を使用する人を規制することもできます。（＊1）
- ●ID番号毎のサービスクラスの設定等で主装置Bの外線を使用する人を規制することもできます。（＊2）

（＊1）主装置A側のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
（＊2）主装置B側のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
128，129	ー	ー	ET-PIU-Gi

外部にプリンタを接続することにより、通話料金集計等をプリンタ印字することができます。

接続できるプリンタについて

プリンタはシリアル（RS-232C）インターフェースをもつ機種がご利用可能です。
詳しくは、販売店にご相談ください。

印字機能について

通話料金集計機能として、以下のプリンタ印字を行うことができます。

●終話印字……通話終了時に通話明細記録を印字します。

●今回料金（累計金額）印字……前回精算日から現在（出力時点）までの累積金額を印字します。
電話機単位、課金グループ単位、トータルの3種類の印字ができます。

●前回料金（累計金額）印字……前々回精算日から前回精算日までの累積金額を印字します。
電話機単位、課金グループ単位、トータルの3種類の印字ができます。

●クリア印字……通話料金の累積をクリア（精算）し、同時に精算額を印字します。
電話機単位、課金グループ単位、トータルの3種類のクリアと印字ができます。
また、毎月、設定された日に自動的にクリアと印字を行うこともできます。主装置の設定が必要ですので、詳しくは、販売店にお問い合わせください。

補足説明

●課金グループは、事務グループ（課金グループ00～15）と客室グループ（課金グループ31～38）とがあります。事務グループと客室グループとで通話料金管理の料金単位（通話料金の基本金額）を各々設定することができます。（＊）
※通話料金集計のプリンタ印字以外に、電話機に表示する通話料金等もこの設定に従って計算されます。

●通話料金管理は電話機の内線番号毎以外に、ID番号（＊）毎にも行えます。

●外線発信した通話が転送された場合に、転送を受けた電話機が通話を開始した時点を新たな外線発信と見なして課金することも可能です。［外線転送時の料金加算方式］（＊）

ご注意

●通話料金はNTTの装置と同期していないため、NTTで管理している料金と同一とは限りません。あくまで料金の目安としてお使いください。

●下記の通話については正確な通話料金の印字は行えません。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

①PHS
②携帯電話／自動車電話／ショルダーホン及び船舶電話
③番号案内（104）／電報サービス（115）
④コレクトコールの着信通話
⑤ダイヤルQ2（0990、1890990）
⑥ナビダイヤル（0570）
⑦今後始まる新サービス
⑧その他、通常の加入電話の番号以外の場合

●プリンタの電源が入った状態で主装置の電源を入れると、最初の印字のとき先頭に余分な文字や記号が印字されますが故障ではありません。

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

通話明細記録を印字するとき「終話印字」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
128，129	―	―	ET-PIU-Gi

外部にプリンタを接続することにより、通話終了時に通話明細記録を印字することができます。

【通話明細記録の例】

ニチジ　03ー10　13：51　TN　　CO, 01	← 1行目
No. 101　TEL　31　グループ　01	← 2行目
ダイヤル 0331234567	← 3行目
ツウワジカン 1：06’15” 1340エン	← 4行目

※網掛け部分は設定により印字しない場合があります。（「知っていると便利なこと」参照）

印字内容の説明

●1行目
- ニチジ……通話月日、通話開始時刻
- ＴＮ……Ｔ：他の電話機から転送を受けた通話の場合に印字
  Ｎ：相手先不明通話の場合に印字（新しいサービス等で本装置では料金管理できないと判断した通話も含まれます。）
- ＣＯ,……発信に使用した回線番号

●2行目
- Ｎｏ.……電話機の収容位置
- ＴＥＬ……電話機の内線番号またはID番号
- グループ……電話機の課金グループ番号

●3行目
- ダイヤル……相手先電話番号（最大32桁）

●4行目
- ツウワジカン…通話時間
- エン……通話料金（10円単位）

次ページへつづく

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

通話明細記録を印字するとき
「終話印字」

補足説明

●終話印字をするかしないかは電話機毎に設定できます。〈工場出荷時設定はあり〉（＊）
●事務グループ（課金グループ00～15）の場合は、システム一括で以下の選択ができます。（＊）
尚、客室グループ（課金グループ31～38）は、電話機毎の終話印字の設定があると必ず印字されます。
（1）終話印字しない〈工場出荷時設定〉
（2）全通話印字する
（3）長時間通話のみ印字する（時間は1～99分まで1分単位で設定可能）
（4）料金超過通話のみ印字する（料金は1～999,999円まで1円単位で設定可能）
（5）長時間または料金超過通話となった場合に印字する
●客室グループ（課金グループ31～38）の場合は、通話料金に10円未満の端数が含まれる場合の処理を選択することができます。（＊）
（1）切り上げ（工場出荷時設定）
（2）四捨五入

ご注意

●設置局番の設定が行われていない場合は、全て相手先不明通話となります。（＊）
●印字される通話料金に消費税は含みません。

知っていると便利なこと

●相手先不明通話は必ず印字するか、他の設定（長時間通話等）に従って印字するかを選択できます。〈工場出荷時設定は必ず印字〉（＊）
●ダイヤルが4桁以上の場合は、ダイヤルの下2桁を表示しない様にすることもできます。
この場合、下2桁はーーが表示されます。〈工場出荷時設定は全桁表示〉（＊）
●通話時間、回線番号、TN文字を印字するか印字しないかを個別に選択できます。（＊）

印字項目	工場出荷時設定
通話時間	印字あり
回線番号	印字なし
ＴＮ文字	印字あり

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

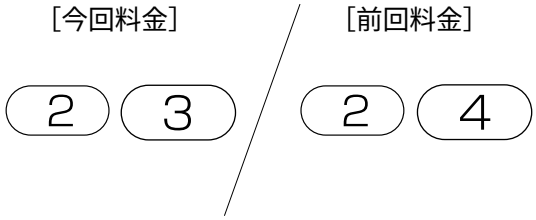
36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

累計金額を印字するとき
「今回料金（累計金額）印字／前回料金（累計金額）印字」

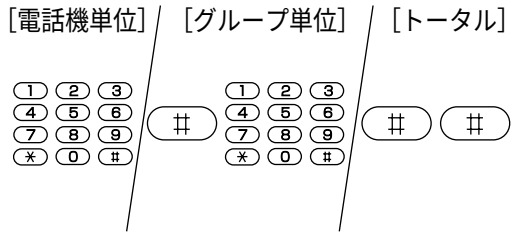
データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
128，129	○	ー	ET-PIU-Gi

各電話機毎、課金グループ毎、トータルの累計金額を印字することができます。

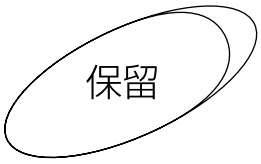
❶ 送受器を置いたまま i ボタンを押します。
（スピーカ ランプも消えていること）
⇩
i ランプが点灯します。



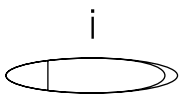
❷ 2 3 ボタンを押します。（今回料金の場合）
または
2 4 ボタンを押します。（前回料金の場合）
⇩
i ランプが遅い点滅になります。



❸ 対応の操作を行います。
- 電話機単位の場合は、内線番号または ID番号を押します。
- グループ単位の場合は、# +グループ番号（2桁）を押します。
- トータルの場合は、# # を押します。



❹ 保留 ボタンを押します。
⇩
i ランプが早い点滅になり、印字されます。



❺ i ボタンを押します。
⇩
i ランプが消えます。

補足説明

●電話機の表示は下記の通りです。印字内容の例は次ページに示します。

ル	イ	ケ	イ		フ	゜	リ	ン	ト					
（	コ	ン	カ	イ	）									

← 前回料金の場合は（ｾﾞﾝｶｲ）と表示

●続けて印字する場合は❸～❹を繰り返します。
●トータル印字の場合は消費税も印字します。消費税率や端数処理を変更することもできます。（＊）
●国際通話には消費税は含まれません。
●「今回料金」は通話料金をクリア（P158、P192）してから現在までの累計料金、「前回料金」は通話料金をクリアする直前までの累計料金です。

次ページへつづく

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

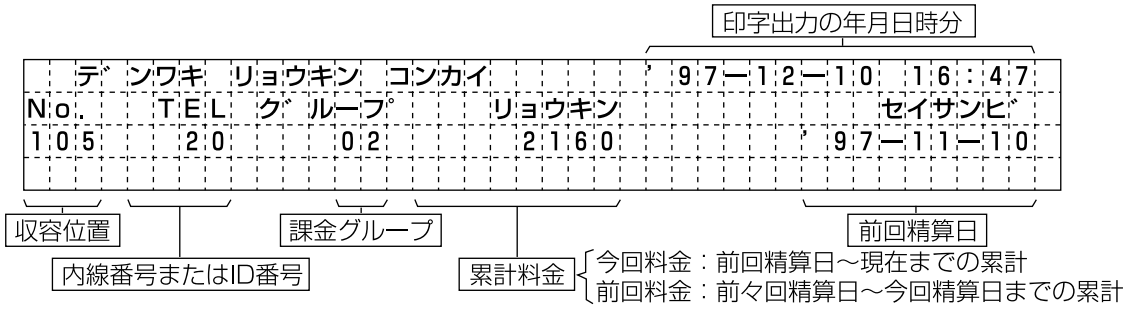
36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

累計金額を印字するとき
「今回料金（累計金額）印字／前回料金（累計金額）印字」

【累計金額印字の例】

下記の例は今回料金（累計金額）印字の場合です。前回料金（累計金額）印字の場合は、コンカイの印字はｾﾞﾝｶｲと印字されます。

（1）電話機単位の印字



（2）課金グループ単位の印字

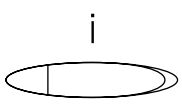
| | | |

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

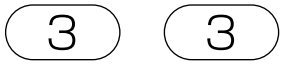
通話料金をクリア（精算）して印字するとき
「累計金額のクリア（精算）印字」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
128，129	○	ー	ET-PIU-Gi

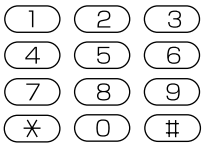
各電話機毎、課金グループ毎、トータルの累計金額をクリア（精算）し、精算額を印字することができます。累計料金がクリアされることにより、今回料金は0円から再スタートします。



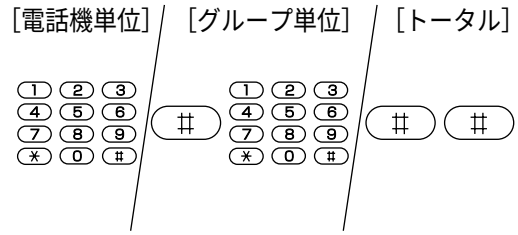
❶ 送受器を置いたまま[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



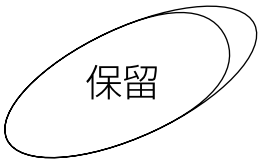
❷ [3][3]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



❸ パスワード（4桁）を押します。
⇩
パスワードが正しいと電話機の表示器にOKと表示します。



❹ 対応の操作を行います。
- 電話機単位の場合は、内線番号またはID番号を押します。
- グループ単位の場合は、[#]+グループ番号（2桁）を押します。
- トータルの場合は、[#][#]を押します。



❺ [保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になり、印字されます。

❻ [i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

補足説明

●電話機の表示は下記の通りです。印字内容の例は次ページに示します。

［パスワード入力中］パスワード1234でOKの場合

ル	イ	ケ	イ		ク	リ	ア		フ	°	リ	ン	ト	
ハ	°	ス	ワ	ー	ト゛	＝	1	2	3	4	ー	ー	O	K

【印字中】

セ	イ	サ	ン		フ	°	リ	ン	ト					

●続けて印字する場合は、❹～❺を繰り返します。

●パスワードは販売店にご確認ください。パスワードの設定がない場合は❸の操作を省略します。

次ページへつづく

36．通話料金集計をプリンタ印字するとき

通話料金をクリア（精算）して印字するとき「累計金額のクリア（精算）印字」

ご注意

●クリア印字中に再度クリア印字を行うことはできません。

知っていると便利なこと

●トータル印字の場合は消費税も印字します。消費税率や端数処理を変更することもできます。（＊）
●国際通話には消費税は含まれません。
●トータルの累計料金のクリア印字は、毎月設定された日時（自動集計日）に自動的に行うこともできます。自動集計日は1～28日の間で指定し、時刻は1分単位で設定します。（＊）

【クリア印字の例】

（1）電話機単位の印字

```
   ﾃﾞﾝﾜｷ ﾘｮｳｷﾝ ｸﾘｱ          '97ｰ12ｰ10 16:47
No.   TEL ｸﾞﾙｰﾌﾟ   ﾘｮｳｷﾝ
105    20    02     2160
```

（2）課金グループ単位の印字

```
   ｸﾞﾙｰﾌﾟ 02 ﾘｮｳｷﾝ ｸﾘｱ       '97ｰ12ｰ10 16:47
No.   TEL ｸﾞﾙｰﾌﾟ   ﾘｮｳｷﾝ
105    20    02     2160
106    21    02     1350
107    22    02      320

       ﾄｰﾀﾙ          3830
```

（3）トータルの印字

```
   ﾄｰﾀﾙ ﾘｮｳｷﾝ ｸﾘｱ          '97ｰ12ｰ10 16:47
No.   TEL ｸﾞﾙｰﾌﾟ   ﾘｮｳｷﾝ
101    10    01     5620
102    11    01     2360
103    12    01      910
104    13    01     1250
105    20    02     2160
106    21    02     1350
107    22    02      320

       ﾄｰﾀﾙ         13970
       ｼｮｳﾋｾﾞｲ          699
       ｺﾞｳｹｲ        14669
```

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

37．プリペイド（P．P）システムを利用するとき

プリペイドシステムを接続することにより、料金の先払いとなり、電話料金の回収の手間を省くことができます。

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
751−1	−	−	ET-PIU-Gi プリペイドシステム

プリペイドシステムには取扱説明書が添付されておりますので、ここではプリペイドシステム側の操作方法について簡単に説明します。

カード料金の入力方法

❶ プリペイドカードを挿入します。
→カードの料金が表示されます。

❷ 内線番号（ID番号）を押します。（1〜4桁）
→内線番号（ID番号）が表示されます。

❸ モニタボタンを押します。
→残料金が表示されます。

❹ 投入ボタンを押します。
→表示が消え、カードは本体内部へ収納されます。

残料金クリア（精算）の操作方法

❶ クリアカードを挿入します。
→料金は表示されません。

❷ 内線番号（ID番号）を押します。（1〜4桁）
→内線番号（ID番号）が表示されます。

❸ モニタボタンを押します。
→残料金が表示されます。

❹ 投入ボタンを押します。
→表示が消え、残料金がクリア（精算）されます。クリアカードは排出されます。

残料金のモニタ方法

❶ 内線番号（ID番号）を押します。（1〜4桁）
→内線番号（ID番号）が表示されます。

❷ モニタボタンを押します。
→残料金が表示されます。

❸ キャンセルボタンを押します。
→表示が消えます。

次ページへつづく

37．プリペイド（P．P）システムを利用するとき

補足説明

●カード料金の入力や残料金クリアにて 投入 ボタンを押す代わり キャンセル ボタンを押すと強制終了となり、カード料金入力や残料金クリアを中止することができます。
●残料金が50円以下になると通話中の電話機から警報音（ピッ）が鳴り、更に1度数毎に警報音が鳴ります。

ご注意

●P．Pシステム機能の有無は電話機毎に設定できます。機能ありに設定した電話機は、カードを投入しないと（P．Pシステムの残料金がないと）外線発信ができなくなります。
●通話中に残料金がなくなった場合、外線は自動的に切れます。
●料金がない場合や残料金の度数が1度数未満の場合は、外線発信ができなくなります。
●料金カードが200枚以上投入されますと、カードが挿入できなくなります。一度料金箱を取り出し、再度セットしてください。

知っていると便利なこと

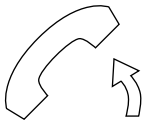
●投入金額に対してあらかじめ消費税分を差し引いて登録することができます。また、消費税や金額の端数処理も設定することができます。（＊1）
●電話機あたりのカード投入金額（残料金＋入力料金）は最大999,900円までです。これを超えてカードを投入した場合はエラーとなります。
●カード1枚あたりの料金は1,000円以外に100～99,900円まで書き替えることができます。（＊2）
●主装置に接続できるプリペイドシステムは通常1台ですが、別売りのカードシステムインターフェース（CSI）を使用することにより、最大4台まで接続することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

（＊1）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
（＊2）詳しくは、プリペイドシステムの取扱説明書をご覧ください。

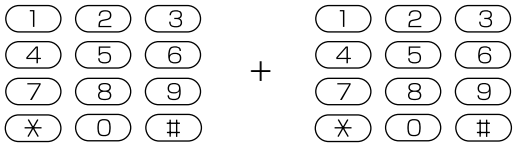
38．ID番号を使って外線に電話をかけるとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
751−7	−	−	−

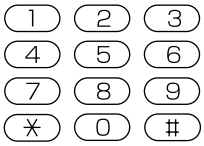
個人にID番号を与えることにより、電話機の内線番号に対してではなくID番号に対して通話料金管理を行うことができます。



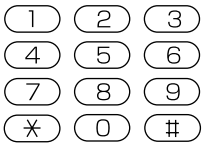
❶ 送受器をとります。



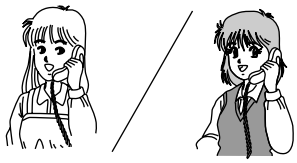
❷ 外線を捕捉するID発信番号（1〜2桁）、ID番号（1〜4桁）の順に押します。



❸ ID発信用パスワード（1〜4桁）を押します。



❹ 発信音（ツー）が聞こえたら、呼び出したい相手の電話番号を押します。



❺ 相手が応答すると通話ができます。

次ページへつづく

38．ID番号を使って外線に電話をかけるとき

補足説明

●ID発信は、外線発信が可能なID番号であればどの電話機からも行えます。
●ID発信した場合はID番号に課金され、その他の方法で発信した場合は発信に使った電話機の内線番号に課金されます。
●ID発信番号は外線自動発信グループ毎に設定できます。（＊）
●ID発信をする場合は、ID発信番号の設定以外にID番号およびID発信用パスワードの設定が必要です。（＊）
●プリペイドシステムをご利用の場合は、ID番号によるカード料金入力も可能です。

ご注意

●パスワードをなし（工場出荷時設定あり）に設定した場合は❸の操作が不要となりますが、各個人のID番号を他人に使用される恐れがありますので、できるだけパスワードはありにしてください。パスワードの有無の設定はデータ設定が必要です。（＊）
●ID発信を行った場合、外線発信ウェイティングは行えません。
●ID発信後に転送すると転送先の電話機の内線番号に課金されますので、ID発信をご利用する場合の転送機能はなしに設定してください。また、転送機能なしの場合は、保留操作もできなくなります。ただし、単独電話機をご利用の場合は、電話機に保留機能がある場合は通話を保留することが可能です。〈工場出荷時設定は転送機能なし〉（＊）
●転送機能をありに設定するとID発信後に保留することができますが、再度保留応答する場合は応答する電話機によって課金先が異なります。
（1）保留した電話機で応答した場合……引き続き同じID番号に課金されます。
（2）他の電話機で応答した場合……応答した電話機の内線番号に課金されます。

知っていると便利なこと

●ID番号は内線番号と同様に、課金グループを設定することができます。（＊）
なお、課金グループ38（客室グループ）とその他の課金グループとで外線発信規制が異なりますので注意してください。（下表参照：○は発信可能、×は発信不可）

（1）ID発信特番が設定してある外線自動発信グループからの発信

	課金グループ00～15、31～37	課金グループ38
ID発信	○	○
外線自動発信（ゼロ発信）	○	×

（2）ID発信特番が設定してある外線自動発信グループが1つ以上ある場合

	課金グループ00～15、31～37	課金グループ38
特番による短縮ダイヤル発信	○	×
特番による外線指定捕捉	○	×
㊟による短縮ダイヤル発信	○	×
外線発信ウェイティング	○	×

●❷の操作でID発信番号の代わりにID短縮発信番号（1～2桁）を押すと、❹の操作で相手の電話番号を押す代わりに短縮番号（システム短縮のみ）を押して、発信することもできます。ID短縮発信番号は設定が必要です。（＊）

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

39．多機能コンソールの使い方

多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせて、内線のワンタッチ呼出と内線の状態表示（DSS/BLF）および外線のワンタッチダイヤル（オートダイヤル）として使用することができます。

DSS/BLFとして使用するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
634	―	―	MFC-Gi または MFC-Vi

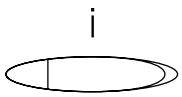
多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせて、内線のワンタッチ呼出（DSS）および内線の状態表示（BLF）として使用できます。更に、設定により、ワンタッチダイヤル（オートダイヤル）、ボイスメモのBOXボタン、プログラマブルキーの各種機能ボタンとして使用できます。
ボタン電話機1台につきDSS/BLFは4台まで組み合わせ可能です。（但し、システムあたり8台まで）

内線番号の登録方法

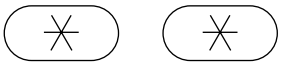
MFC-Viには取扱説明書が添付されていますが、Giシリーズでご利用する場合は一部操作が異なりますので、下記の説明に従ってください。

［1］プログラマブルキーの[ダイヤル]ボタンの設定

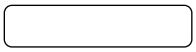
内線番号を登録する前に多機能コンソールのボタンを[ダイヤル]ボタンに設定します。



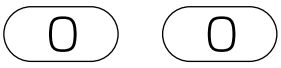
❶ 送受器を置いたまま、組み合わせるボタン電話機の[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。



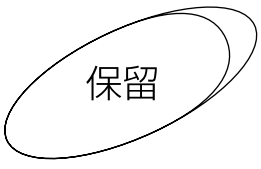
❷ ボタン電話機の[＊][＊]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



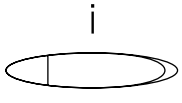
❸ 多機能コンソールの登録したいボタンを押します。



❹ ボタン電話機の[0][0]ボタンを押します。



❺ ボタン電話機の[保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❻ ボタン電話機の[i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

39．多機能コンソールの使い方

DSS/BLFとして使用するとき

補足説明

●操作を間違えた場合は、[i]ボタンを押して❶からやり直します。

●続けて設定する場合は、❸～❺を繰り返します。

●[ダイヤル]ボタン登録時の電話機の表示は下記の通りです。

登録ボタン番号（01～32）

△	△	K	E	Y	ー	ー	0	0	;	ﾀﾞ	ｲﾔﾙ		
D	S	S		N	o	.	=	○					

DSSの接続番号（1～4）

ご注意

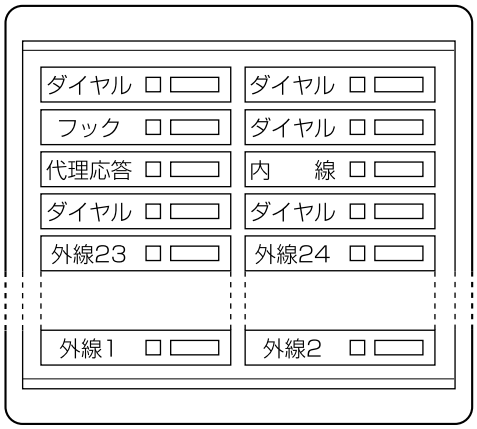
●多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせご利用いただく場合、以下の機能はご利用できなくなりますので、ご了承願います。

（1）ボタン電話機（TEL OAなど）と単独電話機の連動設定

（2）ボタン電話機と専用コードレスの連動設定（コードレス＋ボタン電話機）

●多機能コンソールの各ボタンの初期設定（DSS/BLFとして設定した場合）は、右図のようになっています。

プログラマブルキーの各機能ボタンとして設定する場合は、ボタン番号25～32（右図にて上側の8個）のランプ表示は赤のみですので、2色のランプ表示が必要な機能ボタン（[外線]ボタンや[録音]ボタン）には設定しないでください。



知っていると便利なこと

●プログラマブルキーの各機能ボタンとして使用する場合は、❹で[0][0]の代わりに該当する機能番号を押します。

機能番号については、「31．プログラマブルキーの登録方法」（P163）をご覧ください。

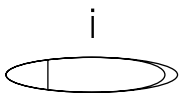
次ページへつづく

39．多機能コンソールの使い方

DSS/BLFとして使用するとき

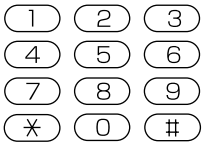
［2］内線番号の設定

多機能コンソールのボタンを[ダイヤル]ボタンに設定したら、引き続き内線番号を設定します。

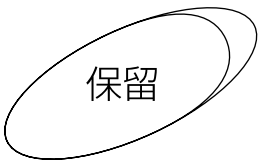


❶ 送受器を置いたまま、組み合わせるボタン電話機の[i]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[i]ランプが点灯します。

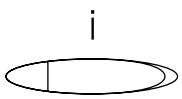
❷ 多機能コンソールの登録したいボタンを押します。（[ダイヤル]を設定したボタン）
⇩
[i]ランプが遅い点滅になります。



❸ ボタン電話機で登録したい内線番号（1～4桁）を押します。



❹ ボタン電話機の[保留]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが早い点滅になります。



❺ ボタン電話機の[i]ボタンを押します。
⇩
[i]ランプが消えます。

次ページへつづく

39．多機能コンソールの使い方

DSS/BLFとして使用するとき

補足説明

●登録した番号を消す場合は、❸で フック ボタンを押します。

●続けて設定する場合は、❷～❹を繰り返します。

●内線番号以外に、外線のワンタッチ呼出（オートダイヤル）やBOXボタンの設定も可能です。

（1）ワンタッチダイヤルの場合…… ❸で 短縮 ボタン＋短縮番号（2または3桁）を押します。

（2）BOXボタンの場合…… ❸で # ボタン＋ボックス番号（1～4桁）を押します。

●各種ボタン登録時の電話機の表示は下記の通りです。

（1）DSS/BLFボタンの場合

登録ボタン番号（01～32）　内線番号

△	△	K	E	Y	＝	D	S	S	；	□	□	□	□		
D	S	S		N	o	.	＝	○							

DSSの接続番号（1～4）

（2）ワンタッチダイヤルの場合

登録ボタン番号（01～32）　短縮番号

△	△	K	E	Y	＝	S	P	D	；	▽	▽	▽			
D	S	S		N	o	.	＝	○							

DSSの接続番号（1～4）

（3）BOXボタンの場合

登録ボタン番号（01～32）　ボックス番号

△	△	K	E	Y	＝	B	O	X	；	◇	◇	◇	◇		
D	S	S		N	o	.	＝	○							

DSSの接続番号（1～4）

内線を呼び出す方法

ボタン電話機のプログラマブルキーにDSS/BLFを設定した場合と同様に操作します。

❶ 登録したボタンを押します。

⇩

自動的に相手を呼び出します。

補足説明

●ランプの表示は下記の通りです。（ボタン電話機側にDSS/BLFを設定した場合と同様）

状　　態	ランプ表示
空き	消える
通話中、単独電話機が送受器をあげている状態	点灯
不在転送、不在表示	遅い点滅
着信拒否、i ボタン使用中	時々消える点滅
着信中	早い点滅

39．多機能コンソールの使い方

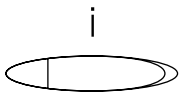
オートダイヤルとして使用するとき

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
635	―	―	MFC-Gi または MFC-Vi

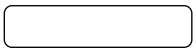
多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせて、外線のワンタッチダイヤル（オートダイヤル）として使用できます。
ボタン電話機1台につきオートダイヤルは1台のみ組み合わせ可能です。DSS/BLFと異なり、システムあたりの接続台数の制約はありません。

ワンタッチダイヤルボタンの登録方法

MFC-Viには取扱説明書が添付されていますが、Giシリーズでご利用する場合は一部操作が異なりますので、下記の説明に従ってください。

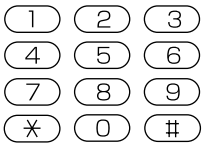


❶ 送受器を置いたまま、組み合わせるボタン電話機のiボタンを押します。
（スピーカランプも消えていること）
⇩
iランプが点灯します。

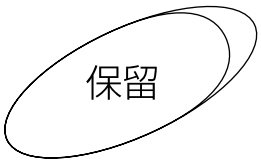


❷ 多機能コンソールの登録したいボタンを押します。
⇩
iランプが遅い点滅になります。

❸ 短縮ボタンを押します。



❹ 短縮番号（2または3桁）を押します。
（2桁の場合：00～99
3桁の場合：000～999）



❺ ボタン電話機の保留ボタンを押します。
⇩
iランプが早い点滅になります。

❻ ボタン電話機のiボタンを押します。
⇩
iランプが消えます。

次ページへつづく

39．多機能コンソールの使い方

オートダイヤルとして使用するとき

補足説明

●短縮番号はあらかじめ登録しておいてください。（P18参照）
●登録した番号を消す場合は、❸でフックボタンを押します。
●続けて設定する場合は、❷～❺を繰り返します。
●ワンタッチダイヤルボタン登録時の電話機の表示は下記の通りです。

登録ボタン番号（01～32）　短縮番号

△	△	K	E	Y	＝	S	P	D	；	▽	▽	▽			
オ	ー	ト	タ゛	イ	ヤ	ル									

ご注意

●多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせご利用いただく場合、以下の機能はご利用できなくなりますので、ご了承願います。
（1）ボタン電話機（TEL OAなど）と単独電話機の連動設定
（2）ボタン電話機と専用コードレスの連動設定（コードレス＋ボタン電話機）
●多機能コンソールをオートダイヤルとして使用する場合は、ワンタッチダイヤルボタン以外の登録はできません。

ワンタッチダイヤルでの外線発信の方法

ボタン電話機のプログラマブルキーにワンタッチダイヤルボタンを設定した場合と同様です。

❶ 送受器を取らずに登録したボタンを押します。
⇩
自動的に登録した番号がダイヤルされます。

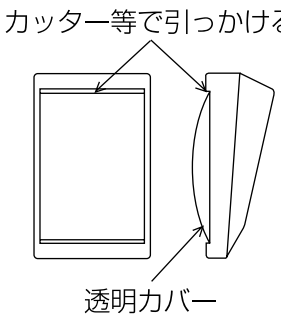
補足説明

●上記の方法は、ワンタッチ外線自動発信が設定されている場合です。設定されていない場合は、はじめに外線ボタンを押してください。

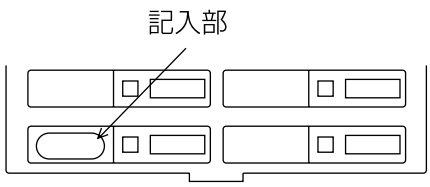
39．多機能コンソールの使い方

コンソールの記入紙への記入方法

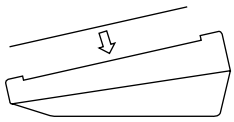
コンソールの記入紙に機能名、内線番号、外線相手先等を記入するときは、下記の通りに行ないます。



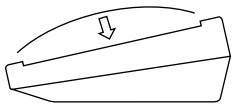
❶ コンソールの透明カバーをカッター等で端を引っかけてたわませて外します。



❷ 記入紙を外したら、記入部に機能名、内線番号、外線相手先等を記入します。



❸ 記入紙をはめます。



❹ 透明カバーをたわませて、コンソールのきょう体にはめ込みます。

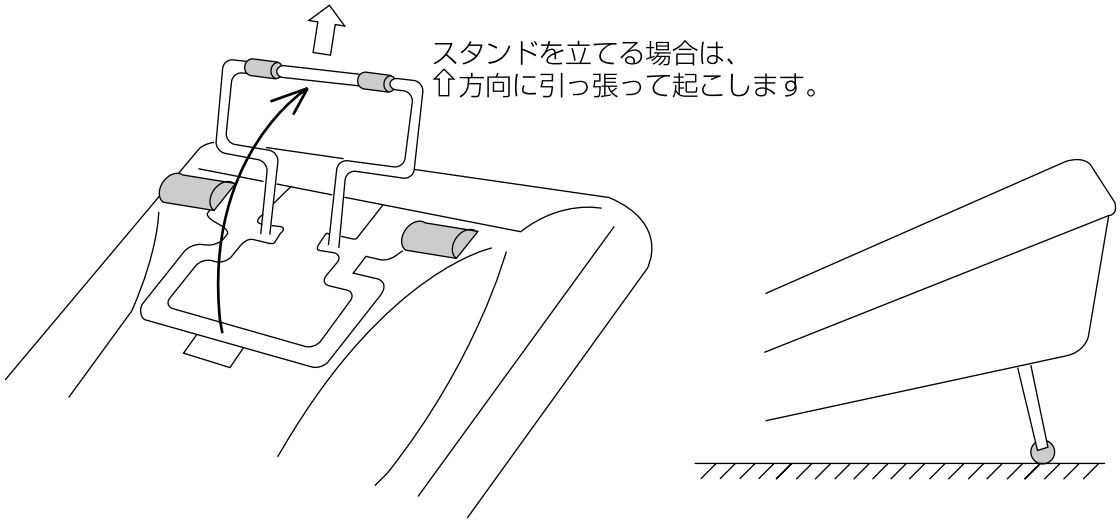
補足説明

●予備の記入紙がコンソールに1枚添付されております。

39．多機能コンソールの使い方

コンソールの角度調整方法

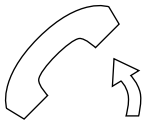
コンソール裏面に内蔵されているスタンドを立てると、角度を調節（2段階）することができます。
スタンドを立てる場合は、⇧方向に引っ張って起こしてください。



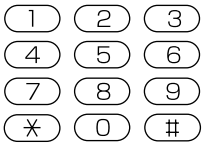
内線通話中にプッシュ信号を送るとき「内線PBダイヤル送出」

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
572	―	―	―

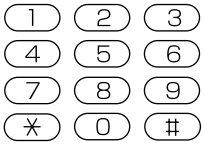
プッシュ信号を受信してサービスを行う端末（以下「PB信号受信端末」とします）を内線に接続した場合、PB信号受信端末と内線通話中の電話機からプッシュ信号を送り、サービスを受けることができます。



❶ 送受器をとります。



❷ PB信号受信端末の内線番号を押します。
（通常の内線発信と同じ）



❸ PB信号受信端末が応答したら、ダイヤル操作をします。

⇩

プッシュ信号が送られ、PB信号受信端末のサービスを受けられます。

補足説明

●PB信号受信端末はシステムあたり最大8台まで接続可能です。（＊）

ご注意

●PB信号受信端末と通話中は、特番による保留（2ダイヤル保留）はできません。押したダイヤルはプッシュ信号としてPB信号受信端末に送られます。

●使用するPB信号受信端末によっては、プッシュ信号をうまく受けられない場合があります。そのときは、プッシュ信号の送出時間等を変更してみてください。（＊）

知っていると便利なこと

●PB信号受信端末は単独電話機収容位置に接続できる他、TEL OA2にも接続できます。

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

40．その他の機能

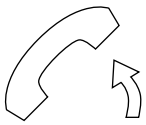
＊アナログ回線時のみ必要

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
527	―	―	ET-TRI( )-Gi

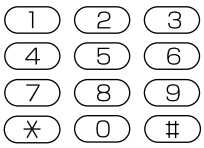
不在中に単独電話機にかかってきた電話を転送するとき「不在転送（外線への転送）」

不在中に単独電話機にかかってきたダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバーの着信をあらかじめ指定した外線に転送することができます。

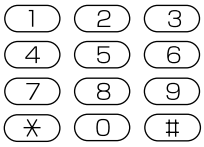
設定するとき



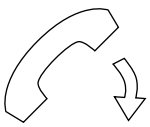
❶ 送受器をとります。



❷ 不在転送登録特番（1桁または2桁）を押します。



❸ A面（転送先1ヶ所目）に設定する電話機短縮番号（2桁）とB面（転送先2ヶ所目）に設定する電話機短縮番号（2桁）を続けて押します。



❹ 登録が完了したら保留音が聞こえますので、送受器を置きます。

補足説明

- ❸の操作で転送先が1ヶ所のときは、A面とB面に同じ番号を設定してください。
- 不在転送登録特番は設定が必要です。（＊）
- 設定する電話機短縮番号はあらかじめ設定してください。詳しくは、「34．単独電話機の使い方」（P168）をご覧ください。
- 短縮番号の登録で使用する短縮ダイヤル登録特番は設定が必要です。（＊）
- 不在転送は、単独電話機の送受器をとると解除されます。

ご注意

- ダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、ISDNのサブアドレス使用ダイヤルイン、i（アイ）・ナンバー以外の不在転送できません。また、転送先に内線は指定できません。

知っていると便利なこと

- 外部からダイレクトインダイヤル（DID）または留守モードを使って不在転送を設定することもできます。操作手順は一次応答信号を聞いた後、以下の操作を行います。

  ＃+（ユーザパスワード4桁）+7+内線番号+短縮番号（A）+短縮番号（B）+＃
  　　※1　　※2

  ※1：パスワード未登録時は省略できます。
  ※2：B面の短縮番号を省略すると、A面とB面に同じ短縮番号が登録されます。
  ※3：短縮番号（A）に0 0、短縮番号（B）に0 0を入力すると不在転送は解除されます。

（＊）主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

＊アナログ回線時のみ必要

かけてきた方にかけ直すには（着信履歴）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
229-5	ー	プリセット（75） 履歴（91）	ET-CIU-Gi

（ROM版数8-5より適用）

ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合やISDN回線をご利用の場合、電話をかけてきた方の番号や名称を履歴として確認できます。また、選んだ履歴の番号に電話をかけ直すことができます。

履歴の確認と発信の方法

プリセット

❶ 送受器を置いたまま[プリセット]ボタンを押します。
（[スピーカ]ランプも消えていること）
⇩
[プリセット]ランプが点灯します。

履歴

❷ [履歴]ボタンを押します。
⇩
最新の電話機毎履歴（履歴番号＝00）が表示されます。
・ボタンを押す毎に一つ前の電話機毎履歴（応答した着信履歴）が順次表示されます。
（履歴番号00、01、…09の順）
・電話機毎履歴の後はシステム履歴（応答できなかった着信履歴）が順次表示されます。
（履歴番号10、11、…29の順）
・最後のシステム履歴が表示された後は、再び最新の電話機毎履歴から表示されます。
・電話機毎履歴の表示をなしに設定してある場合は、システム履歴のみ表示されます。

外線

❸ 電話をかけたい履歴が表示されたところで空きの[外線]ボタンを押します。
⇩
[プリセット]ランプが消え、自動的に外線をつかみ、表示された履歴の電話番号がダイヤルされます。
表示器にはかけた電話番号が表示されます。
※電話をかけない場合は[プリセット]ボタンを押します。

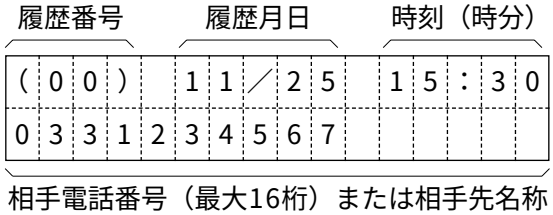
次ページへつづく

40．その他の機能

かけてきた方にかけ直すには（着信履歴）

補足説明

●❷の状態で約20秒間ボタン操作を停止すると、履歴表示は取り消され元の状態に戻ります。
●[プリセット]ボタン、および[履歴]ボタンの設定はP160を参照してください。
●履歴を確認したときの表示は下記のようになります。
・着信に応答したときは、通話を終了した時刻が表示されます。（電話機毎履歴）
・着信に応答できなかったときは、着信が停止した時刻が表示されます。（システム履歴）



※ISDN回線で発サブアドレスがある場合でも、サブアドレスを履歴表示することはできません。

●履歴が登録されていない場合は、履歴番号のみ表示されます。
●履歴の件数は下記のとおりです。新しい履歴が登録されると古い履歴から消去されます。
・電話機毎履歴……10件（履歴番号00～09）　・システム履歴……20件（履歴番号10～29）
●電話機毎履歴を表示させる場合は、主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●電話機毎履歴は最後に通話した電話機にのみ登録されます。（内線に転送した場合など）
●システム履歴はどのボタン電話機（表示器付きのみ）からも確認できます。
●システム履歴は下記の場合に登録されます。
・着信に応答しなかった場合　・外線自動応答メッセージで応答した場合
・外線お待たせメッセージで電話機が応答できなかった場合
●外線アッドオンの場合、外線側が先に切った場合の電話機毎履歴は下記のようになります。
・アナログ回線の場合……最後に送受器をおろした電話機の履歴となります。
・ISDN回線の場合……[3者会議]ランプがついていた電話機の履歴となります。
●2外線アッドオンで2外線とも着信の場合、どちらも電話機毎履歴として登録されます。
●専用コードレス電話機（TELCL）や単独電話機から着信履歴を使って電話をかけることはできません。

ご注意

●システム履歴を表示中に新しい履歴が登録されると、同じ履歴が2回表示される場合があります。
●電話機毎履歴を使用する場合は、電話機毎の短縮ダイヤルは使用できません。
●システム短縮ダイヤルを1000メモリにしたときは、電話機毎の履歴を表示できません。
●回線から電話番号が通知されなかったときは、着信履歴に登録されません。
●電話機毎履歴の表示の設定を変更したり、システム短縮ダイヤルのメモリ数を変更すると、電話機毎履歴および電話機短縮ダイヤルは消去されます。
●電話機毎履歴を使用した場合は、「大型LCD電話機　取扱説明書」P5の操作はできません。

知っていると便利なこと

●❷で[履歴]ボタンを押した後は、履歴番号（2桁）を押すことにより履歴を指定して表示させることもできます。
●❸で[外線]ボタンを押す代わりに、送受器をとるだけで自動的に外線につながるようにもできます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

40．その他の機能

＊アナログ回線時のみ必要

外線着信音を鳴らさずに相手番号を表示器に表示させる（鳴動音なし着信表示）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
208	―	―	ET-CIU-Gi

（ROM版数8-5より適用）

ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合やISDN回線をご利用の場合、着信音が鳴っている電話機の表示器には相手の電話番号または名称が表示されますが、設定によっては着信音を鳴らさずに表示させることができます。

●アナログ回線のナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合は、ET-CIU-Giに添付の「ナンバー・ディスプレイ機能 取扱説明書」の3章も合わせてご覧ください。
●ISDN回線をご利用の場合は、ET-「」DTIB-Gi等に添付の「ET-DTIB-Gi/ET-DSUDTI-Gi 取扱説明書」の5章も合わせてご覧ください。

補足説明

●鳴動音なし着信表示にする場合は主装置のデータ設定が必要ですので販売店にお問い合わせください。なお、本設定を行なっても単独電話機や専用コードレス電話機は着信音が鳴ります。
●鳴動音なし着信表示は、着信音が鳴らない他は着信音が鳴っている電話機と同様の動きとなり、表示器に相手の電話番号または名称が表示される他、着信／メッセージランプが点滅します。
●鳴動音なし着信表示にしても、ダイヤルイン（DI)、ダイレクトインダイヤル（DID)、ダイレクトインライン（DIL）等の特定の電話機を呼び出す外線着信の場合は着信音は鳴ります。
●鳴動音なし着信表示の場合も、一定時間応答しないときの着信警報音は鳴ります。（警報設定が必要）
●相手名称を表示させたい場合は、本取扱説明書のP22をご覧ください。

＊アナログ回線時のみ必要

保留に応答した後の相手番号の表示

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション＊
―	―	―	ET-CIU-Gi

（ROM版数8-5より適用）

相手番号や相手名称は着信時や応答時に表示されますが、一度保留した後に応答したときや転送されてきた場合も表示されます。

●アナログ回線のナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合は、ET-CIU-Giに添付の「ナンバー・ディスプレイ機能 取扱説明書」の3章も合わせてご覧ください。
●ISDN回線をご利用の場合は、ET-「」DTIB-Gi等に添付の「ET-DTIB-Gi/ET-DSUDTI-Gi 取扱説明書」の5章も合わせてご覧ください。

補足説明

●相手名称を表示させたい場合は、本取扱説明書のP22をご覧ください。

ご注意

●外線アッドオンや2外線アッドオンの場合は、相手番号や相手名称は表示されません。ただし、通常の通話に戻ると相手番号や名称は再度表示されます。
●上記の各取扱説明書には、「一度保留すると再応答後は表示されません。」等の説明が記載されておりますが、保留応答後も相手番号や相手名称は表示されます。

40．その他の機能

INSナンバー・ディスプレイ対応

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	ISDN関連用品

（ROM版数7-2より適用
ICUのROM版数1-12より適用（ICUC,Dは全て適用））

「ET-DTIB-Gi/ET-DSUDTI-Gi　取扱説明書」のP2およびP7には、番号が表示できない場合は[アイテガワカリマセン？]が表示されるとの説明がありますが、NTTと「INSナンバー・ディスプレイ」の契約をしていただくと、下記のように表示されます。

●かけてきた相手の方が、番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているとき

ヒ	ツ	ウ	チ											

●公衆電話から電話がかかってきたとき

コ	ウ	シ	ュ	ウ	テ゛	ン	ワ							

●サービスの契約条件や回線の条件により電話番号を通知できない場合

ヒ	ョ	ウ	シ゛	ケ	ン	カ゛	イ							

ISDNの＃ダイヤルスタート

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
731-1	―	―	ISDN関連用品

（ROM版数8-16より適用）

ISDN回線（INSネット64回線）を使用して外線に電話をかけるとき、相手番号を押した後に[スタート]ボタンを押す代わりに[#]ボタンを押すこともできます。

操作

❶外線をつかんで相手の電話番号をダイヤルします。
❷[#]ボタンを押します。⇒ダイヤルが外線に送出されます。
❸相手の方が応答すると通話ができます。

補足説明

●[#]ボタンでのスタートを中止する場合は、主装置のデータ設定変更が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●本設定はシステム内の全電話機に共通です。特定の電話機のみ機能の有無を設定することはできません。

ご注意

●[#]ボタンでスタートする設定（初期設定）になっている場合、[#]が含まれるダイヤルには発信できません。[#]を押す前までの番号で発信されます。但し、以下の場合を除きます。
・先頭が[#]の場合…先頭の[#]のみダイヤルに含んで発信されます。
・短縮ダイヤルで[#]が含まれた番号を発信する場合…[#]もダイヤルに含んで発信されます。
・プリセットダイヤルで発信するときに[#]が含まれている場合…[#]もダイヤルに含んで発信されます。（プリセットダイヤルに関してはP36をご覧ください。）
●相手先番号ダイヤル後、約4秒経過すると[#]ボタンを押さなくても自動的にダイヤルされます。

INSボイスワープ
INSボイスワープセレクト対応

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
731-13	ー	キーパッド（92）	ISDN関連用品

（・ROM版数9-1 ・ICUDより適用）

INSネット64の「INSボイスワープ」や「INSボイスワープセレクト」を利用することができます。

操作

❶サービスを契約している外線を捕捉してダイヤル操作します。
❷音声ガイダンスが聞こえます。
❸[キーパッド]ボタンを押します。（[キーパッド]ランプが赤点灯します。）
❹音声ガイダンスに従って引き続きダイヤル操作します。
} 追加でダイヤル操作が必要な場合
❺操作が終了したら、送受器を置きます。

補足説明

●操作手順（カスタマコントロール）は以下のとおりです。 ※［ガイダンス］は音声ガイダンスの略です。

機　能		操　作
転送サービスを開始する場合	無条件転送の場合	14211→［ガイダンス］
	無応答時転送の場合	14212→［ガイダンス］
	話中時転送の場合	14213→［ガイダンス］
	無応答時および話中時転送の場合	14214→［ガイダンス］
転送サービスを停止する場合		1420→［ガイダンス］
転送サービスの開始／停止の確認		1428→［ガイダンス］
転送先電話番号の登録	転送先リスト0へ登録する場合	1422→［ガイダンス］→[キーパッド]→転送先電話番号→［ガイダンス］
	転送先リスト1～4へ登録する場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→0→［ガイダンス］→1～4（リスト番号）→［ガイダンス］→転送先電話番号→［ガイダンス］
転送先リストの指定（転送先の選択）		1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→1→［ガイダンス］→0～4（リスト番号）→［ガイダンス］
無応答時転送の起動時間の設定		1423→［ガイダンス］→[キーパッド]→0～11（5～60秒、5秒単位）→［ガイダンス］
転送通知用トーキの設定	利用する場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→2→［ガイダンス］→1～3（パターン番号）→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→2→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
転送元案内トーキの設定	利用する場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→4→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→4→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
リモートコントロール機能の設定	利用する場合（暗証番号の設定）	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］→暗証番号（4桁数字）→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
登録内容の確認	リストに登録された電話番号の確認	1428→［ガイダンス］→[キーパッド]→0→［ガイダンス］
	転送通知用トーキあり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→[キーパッド]→1→［ガイダンス］
	リモートコントロール機能あり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→[キーパッド]→2→［ガイダンス］
	転送元案内のあり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］
INSボイスワープセレクト	選択電話番号の登録	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→2→［ガイダンス］→登録電話番号→［ガイダンス］
	登録番号転送の指定	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］
	登録番号着信の指定	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］
	全番号転送	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→3→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
	登録番号転送の確認	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→8→［ガイダンス］
	登録番号転送の削除	147→［ガイダンス］→[キーパッド]→9→［ガイダンス］→登録電話番号→［ガイダンス］

40．その他の機能

INSボイスワープ
INSボイスワープセレクト対応

補足説明

●キーパッドボタンの設定はP160を参照してください。
●キーパッドボタンを押す毎に、キーパッドボタンのON（ランプ点灯）／OFF（ランプ消灯）を切り替えることができます。（ラインキー付きデジタルコードレス電話機「HI-D3PS」のFキーに設定するキーパッドボタンはランプが点灯しません。）
●電話を切るとキーパッドランプは消灯します。
●「INSボイスワープ」、「INSボイスワープセレクト」の詳細については、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」、「INSボイスワープセレクト使用説明書」等をご覧になるか、NTTにお問い合わせください。

ご注意

●キーパッドボタンは音声ガイダンスが聞こえてから押してください。
●キーパッドボタンを押した後のダイヤルは約4秒後に送られますので、間隔をあけずにダイヤルしてください。
また、ダイヤル直後（約4秒以内）にもう一度キーパッドボタンを押すとダイヤル操作を取り消すことができます。（送出までの時間は「ISDN桁間タイマの設定（＊9286）」により1～9秒まで変更することが可能です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●追加でダイヤル操作が必要な機能は、必ずキーパッドボタンを押してください。（以降のキーパッドボタンの操作は不要ですが、間違って押してしまった場合は、もう一度キーパッドボタンを押してキーパッドランプが点灯してからダイヤルしてください。）
●「INSボイスワープ」、「INSボイスワープセレクト」をご契約している外線を捕捉して操作を行ってください。なお、ダイヤルイン契約で追加番号毎にご契約の場合は、下記の操作を行ってください。
・一般のダイヤルインの場合…追加番号で呼び出される電話機から操作を行います。
・ストレートラインDIの場合…追加番号に対応したDILINボタンを捕捉して操作を行います。
●「INSボイスワープ」、「INSボイスワープセレクト」はNTTとのご契約が必要です。

40．その他の機能

迷惑電話おことわりサービス対応

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
731-14	ー	キーパッド（92）	ISDN関連用品

（・ROM版数9-1 ・ICUDより適用）

INSネット64の「迷惑電話おことわりサービス」を利用することができます。

通話中に着信拒否を登録するとき

かかってきた電話が「いたずら電話」などの迷惑電話だったとき、通話中のダイヤル操作で、今後同じ電話番号から電話がかかってこなくなります。

❶ [キーパッド]ボタンを押します。
- [キーパッド]ランプが赤点灯します。

❷ [1][4][4][2]をダイヤルします。
⇩
- 通話中の相手の電話番号が、NTT側の着信拒否リストに登録されます。
- ダイヤル操作は相手にはわかりません。

❸ 通話が終わったら送受器を置きます。

電話を切った後に着信拒否を登録するとき

かかってきた電話が「いたずら電話」などの迷惑電話だったとき、電話を切った後でも1分以内にダイヤル操作を行うと、今後同じ電話番号から電話がかかってこなくなります。

❶ 直前に通話をしていた外線を捕捉します。

❷ [1][4][4][2]をダイヤルします。
⇩
- 音声ガイダンスが聞こえます。
- 直前にかかってきた相手の電話番号が、NTT側の着信拒否リストに登録されます。

❸ 送受器を置きます。

補足説明

- [キーパッド]ボタンの設定はP160を参照してください。
- [キーパッド]ボタンを押す毎に、[キーパッド]ボタンのON（ランプ点灯）／OFF（ランプ消灯）を切り替えることができます。（ラインキー付きデジタルコードレス電話機「HI-D3PS」のFキーに設定する[キーパッド]ボタンはランプが点灯しません。）
- 電話を切ると[キーパッド]ランプは消灯します。
- 着信拒否リスト以外に登録解除や登録内容の確認も行えます。
（[キーパッド]ボタンの操作は不要です。）　※［ガイダンス］は音声ガイダンスの略です。

機　能	操　作
最新の登録番号を削除する場合	1443→［ガイダンス］
全ての登録番号を削除する場合	1449→［ガイダンス］
電話をおことわりした回数を確認する場合	1444→［ガイダンス］

※「迷惑電話おことわりサービス」をご契約している外線を捕捉して操作を行ってください。なお、ダイヤルイン契約で追加番号毎にご契約の場合は、下記の操作を行ってください。
- 一般のダイヤルインの場合…追加番号で呼び出される電話機から操作を行います。
- ストレートラインDIの場合…追加番号に対応した[DILIN]ボタンを捕捉して操作を行います。

- 「迷惑電話おことわりサービス」の詳細については、NTTの「迷惑電話おことわりサービス使用説明書」等をご覧になるか、NTTにお問い合わせください。

ご注意

- 通話中に操作を行う場合に[キーパッド]ボタンを押し忘れると、NTT側の着信拒否リストに登録されません。また、相手の方にはプッシュ信号が聞こえます。
- [キーパッド]ボタンを押した後のダイヤルは約4秒後に送られますので、間隔をあけずにダイヤルしてください。また、ダイヤル直後（約4秒以内）にもう一度[キーパッド]ボタンを押すとダイヤル操作を取り消すことができます。（送出までの時間は「ISDN桁間タイマの設定（＊9286）」により1～9秒まで変更することが可能です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 電話を切った後に操作を行う場合は、直前に電話がかかってきた外線を捕捉してください。なお、ダイヤルイン契約で追加番号毎にご契約の場合は、下記の操作を行ってください。（[キーパッド]ボタンの操作は不要です。）
  - 一般のダイヤルインの場合…ダイヤルインで直前にかかってきた電話機から操作を行います。
  - ストレートラインDIの場合…直前にかかってきた[DILIN]ボタンを捕捉して操作を行います。
- 「迷惑電話おことわりサービス」はNTTとのご契約が必要です。

40．その他の機能

INSナンバー・リクエスト対応

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
731-15	ー	キーパッド（92）	ISDN関連用品

（・ROM版数9-1 ・ICUDより適用）

INSネット64の「INSナンバー・リクエスト」を利用することができます。

サービスを開始するとき

番号を通知しないでかかってきた場合に、NTT側で“番号を通知してかけ直すよう”音声ガイダンスを流します。

❶ サービスを契約している外線を捕捉します。

❷ 1 4 8 をダイヤルします。
⇩
・音声ガイダンスが聞こえます。

❸ キーパッドボタンを押します。
・キーパッドランプが赤点灯します。

❹ 1 をダイヤルします。
⇩
・音声ガイダンスが聞こえます。
・サービスが開始されます。

❺ 送受器を置きます。

サービスを停止するとき

番号を通知しないでかかってきた場合も、電話を受けられるようにします。

❶ サービスを契約している外線を捕捉します。

❷ 1 4 8 をダイヤルします。
⇩
・音声ガイダンスが聞こえます。

❸ キーパッドボタンを押します。
・キーパッドランプが赤点灯します。

❹ 0 をダイヤルします。
⇩
・音声ガイダンスが聞こえます。
・サービスが開始されます。

❺ 送受器を置きます。

補足説明

- キーパッドボタンの設定はP160を参照してください。
- キーパッドボタンを押す毎に、キーパッドボタンのON（ランプ点灯）／OFF（ランプ消灯）を切り替えることができます。（ラインキー付きデジタルコードレス電話機「HI-D3PS」のFキーに設定するキーパッドボタンはランプが点灯しません。）
  電話を切るとキーパッドランプは消灯します。
- 「INSナンバー・リクエスト」の詳細については、NTTの「INSナンバー・ディスプレイ使用説明書」等をご覧になるか、NTTにお問い合わせください。

ご注意

- キーパッドボタンを押した後のダイヤルは約4秒後に送られますので、間隔をあけずにダイヤルしてください。また、ダイヤル直後（約4秒以内）に、もう一度キーパッドボタンを押すとダイヤル操作を取り消すことができます。（送出までの時間は「ISDN桁間タイマの設定（＊9286）」により1～9秒まで変更することが可能です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- 「INSナンバー・リクエスト」はNTTとのご契約が必要です。なお、「INSナンバー・リクエスト」は「INSナンバー・ディスプレイ」のオプション機能ですので、「INSナンバー・リクエスト」のみのご契約はできません。
- 「INSナンバー・リクエスト」は契約者回線毎の契約となりますので、ダイヤルイン番号毎にサービスの開始／停止を設定することができません。

国際通話料金管理機能の変更

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
128	ー	ー	ー

（ROM版数9-1より適用）

国際通話をご利用する場合、ボタン電話装置側に登録した事業者のアクセス番号毎に通話料金管理を行うことができます。

補足説明

●ご利用になる事業者のアクセス番号以外に、電話をかける国毎の通話料金設定が必要になります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

ご注意

●最大8個までの事業者のアクセス番号（KDDIの001、NTT-Cの0033、JTの0041、IDCの0061等）を登録できますが、別々の通話料金を管理できるのは3個までです。4個以上登録する場合、共通の通話料金となるアクセス番号が発生します。

●アクセス番号（3または4桁）の先頭3桁が000～006及び010以外の場合は、サービスクラスで国際発信を規制できません。

40．その他の機能

「i（アイ）・ナンバー」サービス対応

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
731-12	ー	ー	ISDN関連用品

ROM版数8-16より適用
ICUのROM版数1-14より（ICUCは4-2より）適用

NTTの「i（アイ）・ナンバー」サービスを利用して、ダイヤルインと同等な機能をご利用いただくことができます。
なお、使用できる番号は1回線あたり3個までです。

主なご利用方法

●1つの回線で電話とファックスの電話番号を使い分けることができます。
・電話用の電話番号にかかってきたときは、各電話機に着信します。
・ファックス用の電話番号にかかってきたときは、ファックスのみ着信します。
●1つの回線で共通の電話番号と個人専用の電話番号を使い分けることができます。
・共通の電話番号にかかってきたときは、各電話機に着信します。
・個人専用の電話番号にかかってきたときは、個人専用の電話機（特定の電話機）のみ着信します。
●ダイヤルインと同様に「ストレートラインDI」を利用することも可能です。
・3つの電話番号を3つの部署で使い分けし、電話番号に対応した部署の各電話機に着信させることができます。
・特定の電話番号を転送電話にしたり、電話番号によって転送電話の転送先を使い分けたりできます。

特定の電話機への着信に応答するとき

❶ 対応電話機のみ着信音が鳴ります。
・外線ランプ“緑”が早く点滅します。
・内線ランプ“赤”が早く点滅します。

❷ 送受器をとります。
⇩
相手の方と通話できます。
※応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

電話機共通の着信に応答するとき

❶ 電話機の着信音が鳴ります。
（設定電話機のみ着信音が鳴ります。）
・外線ランプ“赤”が早く点滅します。

❷ 送受器をとり、点滅している外線ボタンを押します。
⇩
着信した外線ランプが“赤”から“緑”に変わり、相手の方と通話できます。

補足説明

●「i（アイ）・ナンバー」を利用できるのは「INSネット64回線」のみです。
●「i（アイ）・ナンバー」を利用する場合、主装置の設定以外にNTTとの契約が必要です。
●外線に電話をかける場合は、通常のISDN外線と同じ操作を行います。
●「オフフック応答機能」が設定されていると、電話機共通の着信に応答する場合も送受器をとるだけで応答できます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●「ストレートラインDI」を利用することもできます。「ストレートラインDI」のご利用方法は本取扱説明書のP47～52をご覧ください。
●発信操作時、ダイヤルが回線に送出される前に着信があると、着信が優先され、発信操作電話機には話中音（ツーツー…）が送出され、表示部に「ハッシン　デキマセンデシタ！」が表示されます。このとき、発信した電話機宛に着信した場合は着信を受けることもできず、相手の方には話中音（ツーツー…）が送出されます。

次ページへつづく

40．その他の機能

「i（アイ）・ナンバー」サービス対応

ご注意

●一つの回線で「i（アイ）・ナンバー」とダイヤルインとを併用することはできません。
●「i（アイ）・ナンバー」を利用する回線が複数あっても、NTTの「代表取扱サービス」はご利用できません。（NTT側の仕様）
●「i（アイ）・ナンバー」を利用する回線が複数あった場合に、発信したときに相手の方に通知される電話番号は下記のようになります。

使用する外線 / 発信する電話機	特定の番号が含まれている回線	特定の番号が含まれていない回線
特定の番号に着信する電話機	着信に対応する番号を通知	発信回線の契約者回線番号を通知
特定の番号に着信しない電話機	発信回線の契約者回線番号を通知	発信回線の契約者回線番号を通知

ボイスメモ機能ー着信通知（ポケットベルを呼び出す場合）

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
317	ー	ー	VCU及び4VMUまたはVCUF

（ROM版数8-15より適用
VCU,VCUFのROM版数1-10より適用）

メールボックスにメッセージが録音されるとポケットベルを呼び出すことができますが、VCUまたはVCUFのバージョンによっては下記の機能もご利用することができます。

●VCFまたはVCUFに添付の「取扱説明書」の9章も合わせてご覧ください。

ポケットベル呼出リトライ中に新しいメッセージが録音されたときの機能選択

通常はポケットベルの呼出リトライ中に新しいメッセージが録音されても、これまでの着信通知を継続しますが、設定によっては、新しいメッセージが録音された時点で新たに着信通知を開始させることができます。

補足説明

●設定を変更する場合、主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●リトライとは、ポケットベルを呼び出した後、ポケットベルを持っている人がメッセージを聞く操作を一定時間行わなかった場合に、再度ポケットベルを呼び出すことをいいます。リトライは最大2回まで行われます。

ご注意

●新しいメッセージが録音されるタイミングによっては、新しいメッセージが録音されても新たな着信通知が開始されない場合があります。（ポケットベルを呼び出している最中に新しいメッセージが録音された場合は新たな着信通知は開始されません。呼出のリトライ待機中に新しいメッセージが録音された場合にのみ、新たな着信通知が開始されます）

別のポケットベルを呼び出すとき

ポケットベルの呼び出しはリトライも含めて合計3回まで行われますが、その後もポケットベルを持っている人が聞く操作を一定時間行わなかった場合に、別のポケットベルを呼び出すこともできます。

補足説明

●別のポケットベルを呼び出す場合も、呼び出し回数はリトライも含めて合計3回までです。

40．その他の機能

Viシリーズ電話機接続

データ設定早見表No.	指定電話機	プログラマブルキー	オプション
―	―	―	―

Viシリーズの電話機を接続することができます。
ただし、Viシリーズの主装置に接続した場合と異なる点がありますのでご注意ください。

ご注意

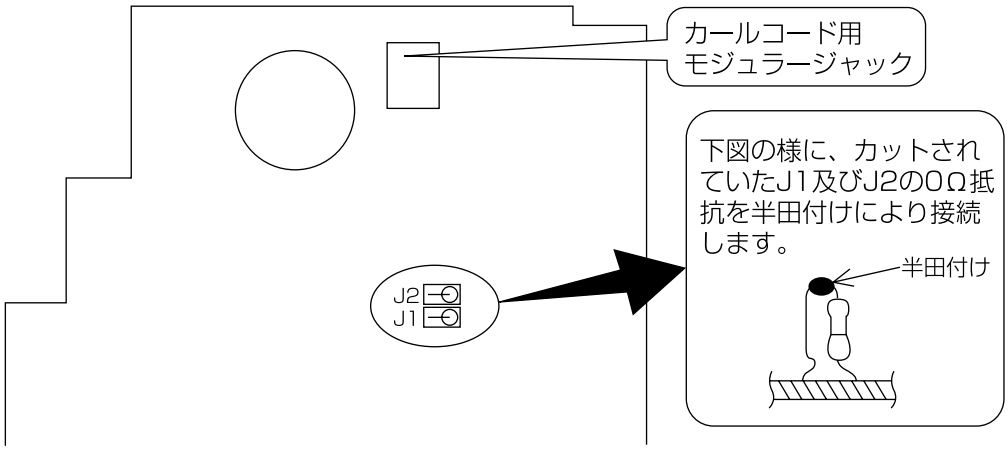
●ハンズフリーについて…

- ハンズフリー通話をご利用いただく場合、Viシリーズ・オプションユニットの『ET-HFU-Vi』（TELSDに搭載するタイプ）は使用できません。Giシリーズ・オプションユニットの『ET-2HFU-Gi』（主装置に搭載するタイプ）を使用してください。
- Viシリーズの場合は『ET-HFU-Vi』が実装されたTELSDのみハンズフリー通話が可能でしたが、Giシリーズに接続するとTELECを除く他のViシリーズボタン電話機でもハンズフリー通話が可能となります。（ET-2HFU-Gi搭載時）

◆工事店の方へのお願い

既製品のVi電話機（TELSD）にてET-HFU-Viが搭載されている場合は、下記の手順でET-HFU-Viを取り外してください。

①電話機の底板にあるネジ4本と送受器のモジュラープラグを外します。また、電話機ケーブルが接続されている場合は、電話機ケーブルのモジュラープラグも外してください。
②底板を持ち上げて底板を開けます。
③ET-HFU-Viから出ているコネクタ付ケーブルをET-TELU-SD-Viから外します。
④ET-HFU-Viを固定しているネジ3本を外し、ET-HFU-Viを取り外します。
⑤ET-TELU-SD-Viの工注ストラップ線（0Ω抵抗）がカットされていますので、半田付けにより再度接続します。（下図参照、ストラップ線の位置は基板の版数によって図と若干異なる場合があります。）
※0Ω抵抗はリード線が塗料におおわれていますので、塗料をニッパ等ではがしてから半田付けしてください。確実に接続できないと、スピーカ受話やマイク送話ができなくなる場合があります。



●電話機の操作方法について…

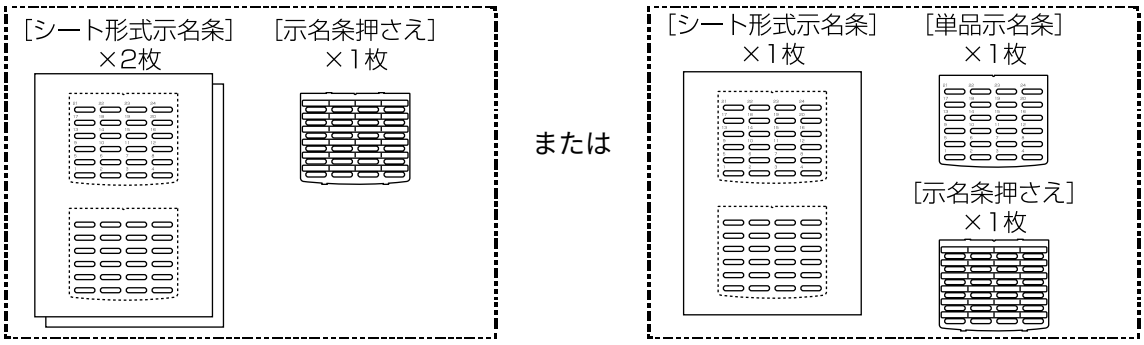
- 電話機の操作方法はGiシリーズのボタン電話機と同様になります。
- Vi用ボタン電話機に添付の「使い方順序早見表」はViシリーズ主装置に接続したときの操作方法を記載しておりますので、異なる部分があります。本取扱説明書の付録ページ「使い方順序早見表」をご利用ください。
- Vi用ボタン電話機に添付の「短縮ダイヤルカード」はViシリーズ主装置に接続したときのものです。短縮番号記入欄はそのまま使用可能ですが、短縮ダイヤル登録操作の説明が異なります。（電話番号入力後の[X]ボタンを押す操作が[保留]ボタンを押す操作となります。）

41．示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法

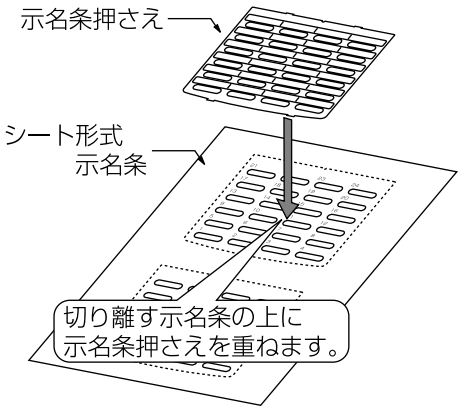
ボタン電話機の外線ボタン部の窓に電話番号等を記入することにより、更に使い易くなります。

ボタン電話機に示名条および示名条押さえが添付されています。
（工事のときに、取付済の場合もあります。）

●示名条はシート形式のものが2枚添付されている場合と、シート形式のものが1枚と単品のものが1枚添付されている場合とがあります。（下図は24ボタン用の例です。）



●シート形式の示名条はミシン目から切り離して使用します。示名条の上に示名条押さえを重ねると、切り離しやすくなります。（右図参照）



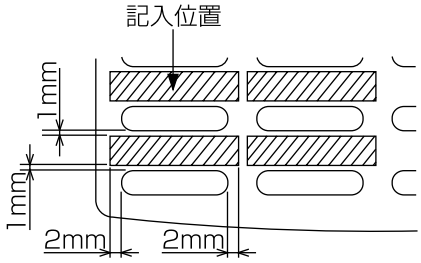
「　」Gi-TEL「　」の場合はやや異なります

●形状がやや異なります。

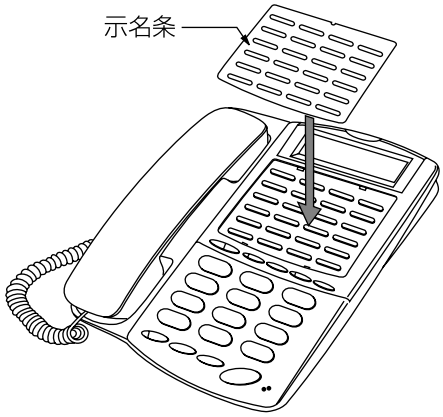
●示名条はミシン目から切り離すタイプとなっていません。（リバーシブルタイプのものを1枚添付）

❶ 電話番号や機能名称等を該当するボタン穴の上に記入します。

・記入位置は下図の範囲内としてください。



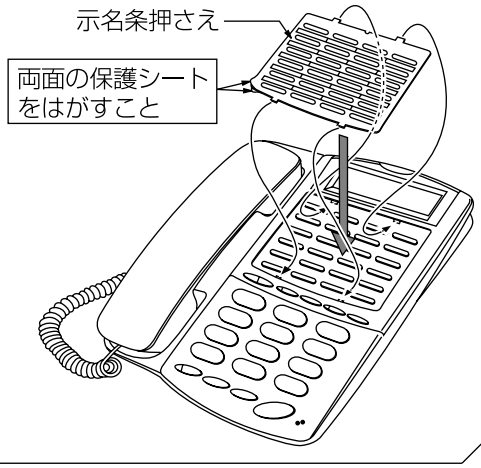
❷ 示名条を電話機に取り付けます。



❸ 示名条押さえを電話機に取り付けます。

・<u>両面についている保護シートは、必ずはがしてください。</u>

・示名条押さえの上下にある突出部を電話機の溝に挿入します。（下側から入れると取り付けやすくなります。）



41．示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法

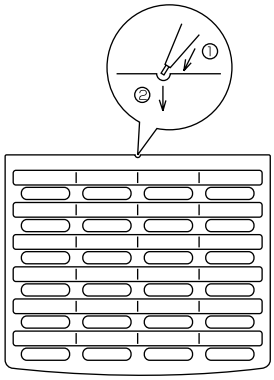
知っていると便利なこと

●シート形式の示名条は、プリンタで印刷することができます。（プリンタによっては印刷できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。）
また、上側の示名条のみ数字が印刷されています。お好みのものを使用してください。

●示名は両面に記入することができます。（リバーシブルタイプ）
但し、数字が印刷されているものも、裏側は無地となっています。

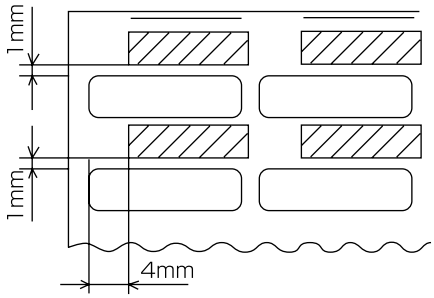
●シート形式の示名条は10枚セットで別売りもしております。
・12ボタン用：ET-SHIMEI（12）-SJ
・24ボタン用：ET-SHIMEI（24）-SJ

●電話機に取り付け済みの示名条に記入する場合は、下記の手順で示名条を電話機から外してください。（右図参照）
①先のとがったものを溝にいれます。
②下側に押すと、示名条押さえが外れます。
（「　」-Gi-TEL「　」の場合は、溝が右側部分にあります。）

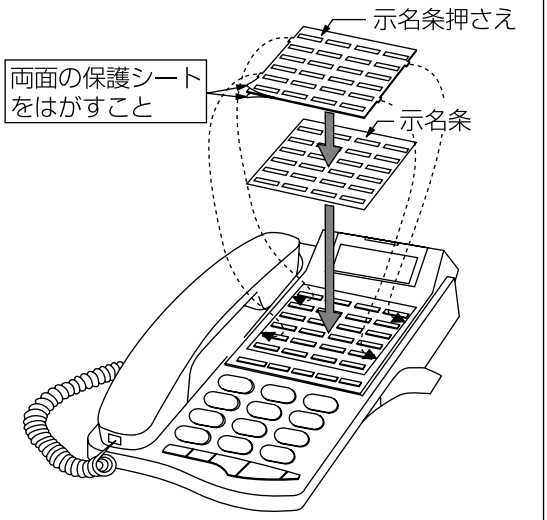


「　」Gi-TEL「　」の場合は、以下の説明に従ってください。

❶ 電話番号や機能名称等を該当するボタン穴の上に記入します。
・記入位置は下図の範囲内としてください。



❷ 示名条を電話機に取り付けます。
・<u>両面についている保護シートは、必ずはがしてください。</u>
・「　」Gi-TEL「　」の示名条押さえは両側に突出部があります。この部分を電話機の溝に挿入します。



42．短縮ダイヤルカードの取付方法

短縮ダイヤルカードを電話機に取り付けます。

短縮ダイヤルカードは、短縮ダイヤルカード、短縮ダイヤルカード入れで構成されています。

●使い方によって、短縮ダイヤルカードを貼る面や、貼る向きが異なります。

●短縮ダイヤルカードは、システム短縮80個、電話機短縮20個を記入することができます。

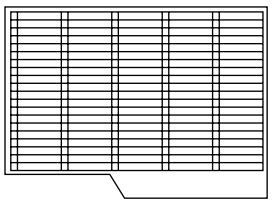
「　」Gi-TEL「　」の場合はやや異なります

●短縮ダイヤルカード入れの形状が異なります。（表裏のないリバーシブルタイプ）

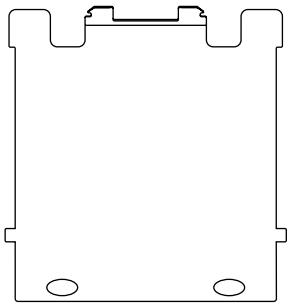
●立てて使うことはできません。（引き出し式のみ）

●取り付け方は、「壁掛けで使う場合」と同様に行ってください。

［短縮ダイヤルカード］



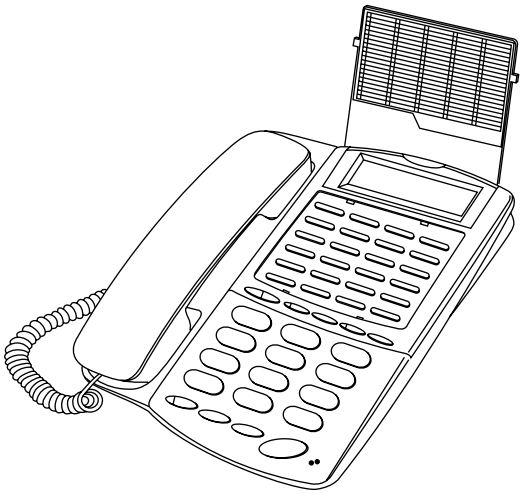
［短縮ダイヤルカード入れ］



※短縮ダイヤルカード入れは両面に保護シートが貼ってありますので、はがしてから使用してください。

立てて使う場合

電話機の後ろの部分に短縮ダイヤルカード入れを立てて使います。

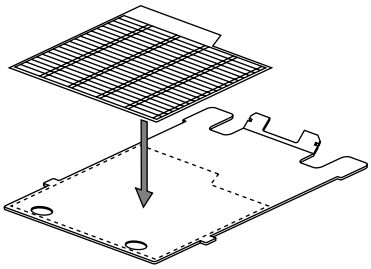


以下の手順で、短縮ダイヤルカード入れを取り付けてください。

❶ 短縮ダイヤルカードを裏紙からはがし、短縮ダイヤルカード入れに貼ります。

※手前いっぱいに合わせて貼ります。

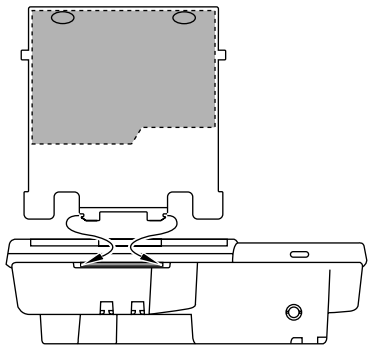
※下図に示す面に貼ってください。

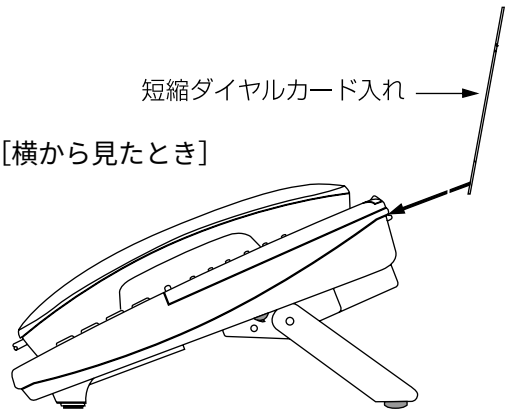


❷ 電話機の後ろ側に短縮ダイヤルカード入れを差し込む溝がありますので、短縮ダイヤルカード入れの曲がっている部分を差し込みます。

※やや斜めにして、片側から差し込むと入りやすくなります。

※外すときも片側ずつ行います。



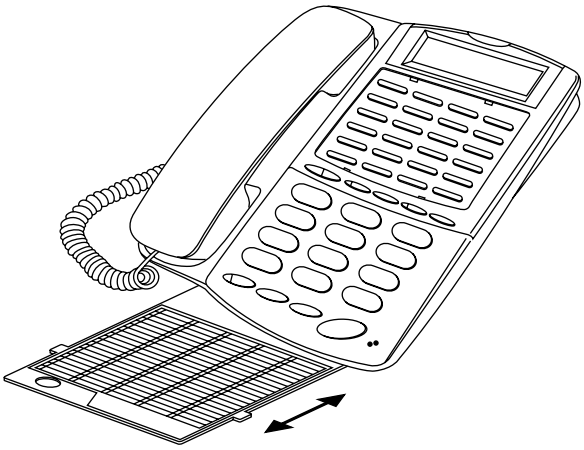


［横から見たとき］

42．短縮ダイヤルカードの取付方法

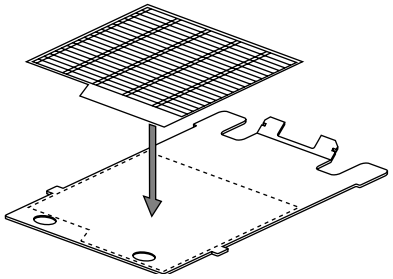
引き出し式で使う場合

電話機の下から短縮ダイヤルカード入れを引き出して使います。

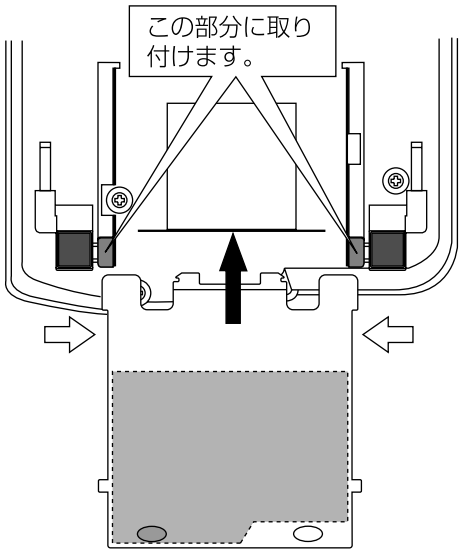


以下の手順で、短縮ダイヤルカード入れを取り付けてください。

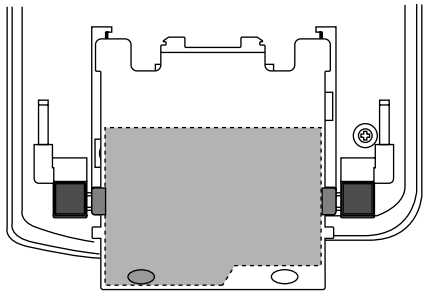
❶ 短縮ダイヤルカードを裏紙からはがし、短縮ダイヤルカード入れに貼ります。
※手前いっぱいに合わせて貼ります。
※下図に示す面に貼ってください。



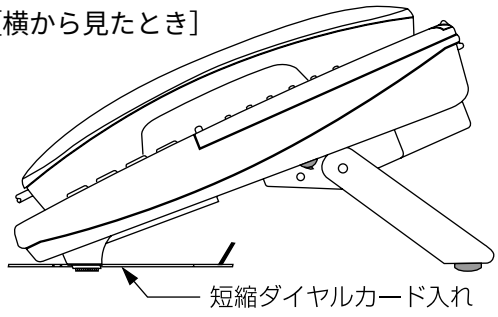
❷ 短縮ダイヤルカード入れをたわませながら、電話機底面に取り付けます。
※電話機を机上に置いて使う場合は、下図に示す網掛け部分に短縮ダイヤルカード入れを取り付けます。



❸ 取り付け後の状態は、下図のとおりです。



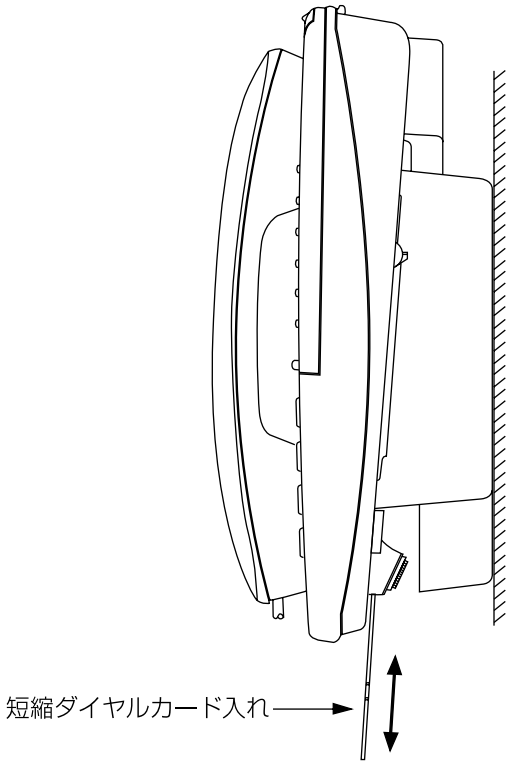
［横から見たとき］



42．短縮ダイヤルカードの取付方法

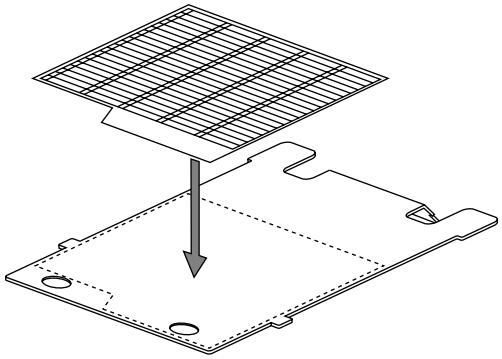
壁掛けで使う場合

電話機を壁に掛けて使う場合は電話機の下からダイヤルカード入れを引き出して使います。

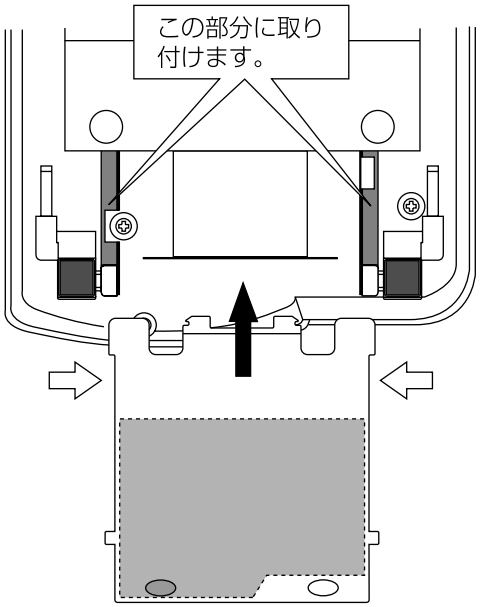


以下の手順で、短縮ダイヤルカード入れを取り付けてください。

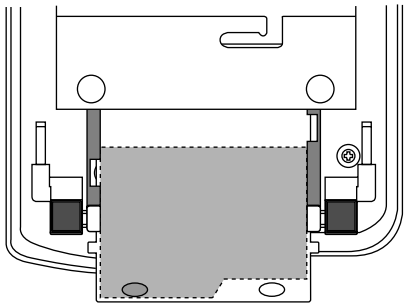
❶ 短縮ダイヤルカードを裏紙からはがし、短縮ダイヤルカード入れに貼ります。
※手前いっぱいに合わせて貼ります。
※下図に示す面に貼ってください。（机の上に置いて使うときの引き出し式とは貼る面が異なりますので、注意してください。）



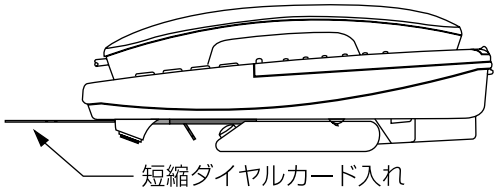
❷ 短縮ダイヤルカード入れをたわませながら、電話機底面に取り付けます。
※電話機を壁に掛けて使う場合は、下図に示す網掛け部分に短縮ダイヤルカード入れを取り付けます。（机の上に置いて使うときの引き出し式とは取り付け位置が異なりますので、注意してください。）



❸ 取り付け後の状態は、下図のとおりです。



［横から見たとき］

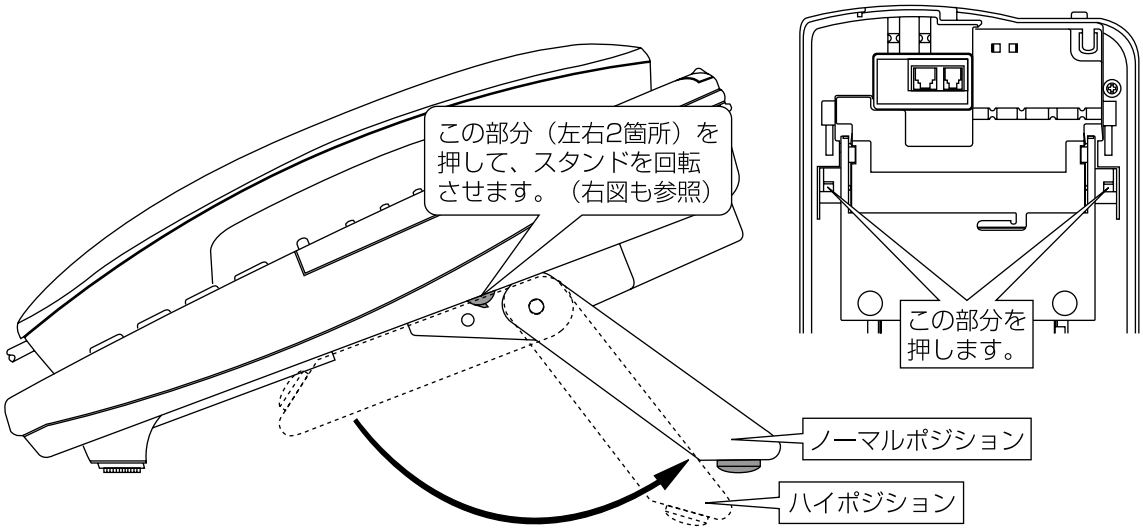


43．ボタン電話機の角度調整方法

ボタン電話機のスタンドは、角度を調整することができます。お使いやすい角度に調整してください。

調整方法

電話機底面の両脇にスタンドをロックする部分がありますので、ここを押しながらスタンドを回転させます。2段階で角度を調整することができます。

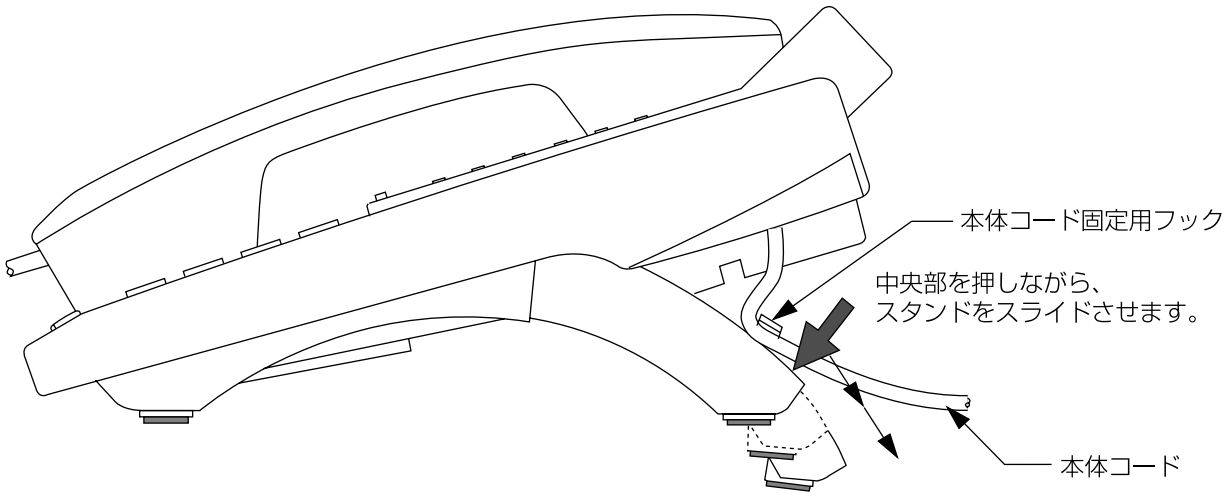


ご注意

- ●必ず、スタンドをロックする部分を押しながら、スタンドを調整してくだい。無理にスタンドを動かすと、破損する恐れがあります。（収納されているスタンドを引き出すときは不要）
- ●スタンドはロックする位置で使用してください。ロックしない位置で使用すると、使用中に電話機が下がることがあります。

「　」Gi-TEL「　」の場合は、調整方法が異なります。

スタンドの中央部を押して、スタンドをスライドさせます。
3段階で角度を調整することができます。



ご注意

- ●スタンドはロックする位置で使用してください。ロックの中間位置にしておくと、使用中に電話機が下がることがあります。

44．停電のときのご注意及び操作

1．商用電源が停電（バッテリー接続時におけるバッテリーからの給電が断たれた場合も含む）及び復電の場合
1-1）停電時の動作状況
ボタン電話機の機能は一切使用できません。
1-1-1）停電用電話機がありの場合
停電用電話機から対応する外線の発信、着信通話が可能です。
1-1-2）停電用電話機がない場合
電話機はご使用できません。
1-2）復電した場合
電話機が使用できるようになります。

45．故障かな？と思ったら…

1．1台の電話機が使用できないとき、電話機の本体コードが抜けていないか確認してください。
2．1台の電話機で通話ができないとき、送受器のコードが抜けていないが確認してください。
3．全体の電話機が使用できなくなった場合、主装置の電源プラグが抜けていないか確認してください。
4．全体の電話機が突然使用できなくなった場合は、電源スイッチをOFFにして約10秒後、ONにしてみてください。
5．設置工事終了後、電源スイッチONしたとき、または外線を接続したとき、外線ランプ（赤）が数秒間点灯することがあります。

46．アフターサービスについて

1．保証書（主装置に添付してあります。）
保証書は販売店からお渡しいたしますから、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容を良くお読みの後、大切に保存してください。
2．保証期間中に修理を依頼されるときは、下記の4項目を調べていただき、お求めの販売店にご連絡ください。
①ご住所・お名前・電話番号
②製品名・購入日（保証書をご覧ください。）
③故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
④訪問ご希望日
また異常のある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（万一の事故、火災、感電、やけど、けがなどの防止のため、必ずお守りください。）
3．保証期間経過後、修理を依頼されるときお求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。電池の交換についても有料とさせていただきます。
4．保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お求めの販売店にお問い合わせください。

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　( )…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　設…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　指…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　シ…システム共通機能　▭…機能ボタン

項目			操作手順	記事
外線通話関係	電話をかける	送受器をとってかけるとき	↰→ [外] →電話番号□…□	
		送受器をとるだけでかけるとき	↰→電話番号□…□　（注）本機能を設定すると「送受器をとるだけで外線からの電話を受けられる」以外の送受器をとって行なう操作ができなくなります。	設
		送受器をとらずにかけるとき	[外] →電話番号□…□	
		[外] を押さずにかけるには	□〔初期0〕→電話番号□…□	設
		一度かけた相手に再度かけなおすとき（サーチリダイヤル）	(ﾌﾘｾｯﾄ)→ 再発信 （1回：直前のダイヤル，2回：2回前のダイヤル，3回：3回前のダイヤル）→ [外]	
		相手が話し中のとき（スーパーリトライ）	〈オンフックダイヤル〉→話中音→ 再発信 →アラーム（ピピ）が聞こえたら 再発信	設
		短縮ダイヤルを使ってかけるとき（システム短縮ダイヤル）	[外] → 短縮 →短縮番号□□〔00～79〕（又は□□□（1000メモリ000～999 / 500メモリ 000～499）） 短縮 →短縮番号□□〔00～79〕（ 〃 ）	設
		短縮ダイヤルを使ってかけるとき（電話機短縮ダイヤル）	[外] → 短縮 →短縮番号□□〔80～99〕（又は80～89） 短縮 →短縮番号□□〔80～99〕（ 〃 ） システム短縮ダイヤルを1000メモリにした場合には電話機短縮ダイヤルは使用できません。	設
		ワンタッチダイヤルでかけるとき	[外] →( )（ワンタッチダイヤルを登録したボタン） ( )（ワンタッチダイヤルを登録したボタン）	設
	電話をうける	電話をうけるとき	↰→ [外]	
		送受器を取るだけで電話をうけるとき	↰（送受器をとるだけ）	設
		外線自動選択応答	↰→□〔初期8〕	
	保留	外線保留	〈外線通話中〉 保留	
		自己保留	〈外線通話中〉 (自己保留)	
	転送	オンフック転送	〈外線通話中〉 [内線] →内線番号□…□→〈内線通話〉→(転送)→↳ 〈外線通話中〉 [内線] →内線番号□…□→〈内線通話〉→↳	設
		簡易転送	〈外線通話中〉 [内線] →内線番号□…□→(転送)→↳ 〈外線通話中〉 [内線] →内線番号□…□→↳	設
	外線指定捕捉		↰→ [内線] →特番□（又は□□）→外線番号□□	設
	外線アッドオン		〈外線通話中〉 [内線] →内線番号□…□→〈内線通話〉→(3者会議)	ｵﾌﾟｼｮﾝ
	2外線アッドオン		〈外線通話中〉 [内線] → [外] →（電話番号□…□）→〈外線通話〉→(3者会議)	ｵﾌﾟｼｮﾝ
	外線通話モニタ		(聴話)→モニタしたい [外]	
	外線割込通話		↰→割り込みたい [外]	ｵﾌﾟｼｮﾝ 設
	トーン切替	手動	〈外線通話中〉 #→番号□…□	
		自動	〈外線通話中〉→番号□…□	設
	転送電話（手動）		〈外線通話中〉 [内線] → [外] →（電話番号□…□）→〈外線通話〉→(転送)→↳	

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　[指]…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　[シ]…システム共通機能　[　]…機能ボタン

項目			操作手順	記事
内線通話関係	内線個別呼出	内線発信	[内線] 又は↰→内線番号□…□、[スピーカ]→内線番号□…□	
		内線音声呼出	[内線] 又は↰→内線番号□…□→[✕]、[スピーカ]→内線番号□…□→[✕]	
	内線一斉呼出		[内線]→[7][0]	
	内線一斉呼出への応答		[内線]→[7][7]	
	内線グループ呼出		[内線]→□□〔グループ1：71，グループ2：72，グループ3：73，グループ4：74〕	[設]
	内線保留		〈内線通話中〉[保留]　再応答：↰→[保留]	
	内線自動転送		〈内線通話中〉[内線]→内線番号□…□→〈内線通話〉→(転送)	
	内線3者通話		〈内線通話中〉[内線]→内線番号□…□→〈内線通話〉→(3者会議)	オプション
	代理応答		↰ (代理応答)　・同一グループ内のみ可	
	不在転送登録（内線への転送）	登録	(不在設定)→転送先の内線番号□…□→[保留]	
		解除	(不在設定)	
	不在転送登録（外線への転送）	登録	(不在設定)→[短縮]→短縮番号（A）□□〔80～99〕→短縮番号（B）□□〔80～99〕→[保留]	
		解除	(不在設定)	
	話中・応答遅延転送の登録	登録	[i]→[1][3]→□(1～3)→転送先の内線番号□…□→[保留]→[i] 1 話中転送 2 応答遅延転送 3 話中転送＋応答遅延転送	
		解除	[i]→[1][3]→[フック]→[保留]→[i]	
	ドアホン着信の応答	ドアホン着信表示設定電話機	↰	[設] オプション
		ドアホン着信表示設定なし電話機	↰→特番□（又は□□）	

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　( )…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　[指]…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　[シ]…システム共通機能　▩…機能ボタン

項目			操作手順	記事
登録関係	プログラマブルキー登録		[i]→[※]→[※]→[外]（登録するボタン：外線1～24）→□□（機能番号）→[保留]→[i] （○：ランプ表示（赤），●：ランプ表示（緑），◎ランプ表示（赤，緑））	
	短縮ダイヤルの登録	システム短縮	[i]→[短縮]→短縮番号□□（又は□□□）〔00～79〕→電話番号□…□→[保留]→[i] （登録できる相手番号は記号を含めて最大24桁）	[指][シ]
		電話機短縮	[i]→[短縮]→短縮番号□□〔80～99〕→電話番号□…□→[保留]→[i] （登録できる相手番号は記号を含めて最大24桁）	
	ワンタッチチェーンダイヤル	登録	〔登録例〕 ①短縮番号[0][0]に0123456789を登録し、短縮番号[0][1]に06123456789を登録します。 ②短縮番号[0][2]に短縮[0][0]と短縮[0][1]の登録操作をします。 [i]→[短縮]→短縮番号[0][2]→[短縮][0][0]→[短縮][0][1]→[保留]→[i] 短縮番号に012345678906123456789が登録されます。	[設]
		発信方法	[外]→[短縮]→短縮番号[0][2]	
	ワンタッチダイヤルの登録		[i]→( )（プログラマブルキーでダイヤルを登録したボタン）→[短縮]→短縮番号□□（又は□□□）〔00～99〕→[保留]→[i]	
	DSS/BLFの登録		[i]→( )（プログラマブルキーでダイヤルを登録したボタン）→内線番号□…□→[保留]→[i]	

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　( )…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　[指]…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　[シ]…システム共通機能　▢…機能ボタン

項目			操作手順	記事
登録関係	夜間切替タイマーの設定	設定	[i]→[4]→□曜日→□□時□□分→□□時□□分→モード□→[保留]→[i] （0日曜～6土曜／7全曜日）　（昼開始時間（24時間制））　（昼終了時間（24時間制））　（1：夜間／2：外出／3：休日）	[指][シ]
		解除	[i]→[4]→□曜日→[フック]→[保留]→[i] （0日曜～6土曜／7全曜日）	[指][シ]
	年・月・日・曜日の設定		[i]→[5]→□□年→□□月→□□日→□曜日→[保留]→[i] 西暦の下2桁　（0日曜～6土曜）	[シ]
	時分調整		[i]→[6]→□□時□□分→[保留]→[i] 24時間制	[シ]
	BGM ON/OFF		[i]→[7] ／ [i]→[7]	[設] オプション
	収容位置表示		[i]→[8]→[i]（[8]を押した時に表示されます。）	
	転送電話機能相手先の登録		[i]→[9][4]→着信外線番号□□→夜間切替モード□ （0昼モード,1夜間モード,2外出モード,3休日モード,4全モード一括） →短縮番号（A）□□→短縮番号（B）□□→[保留]→[i] （00～79）　（00～79）	[シ] [指] オプション
	不在表示の登録		(不在設定)→[#]→□→[#]→□□□□→[保留] （1～9）　（時間又は月日） 1：ヤスミ　デス 2：シュッチョウ　デス 3：リセキ　デス 4：ガイシュツ　デス 5～9：※ ※お好みのメッセージを最大8文字まで登録することができます。	[設]

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　[指]…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　[シ]…システム共通機能　[　]…機能ボタン

項目			操作手順	記事
通話料金集計	最後の通話料金のモニタ		[i]→[2][0]→[保留]→[i]　・消費税含まず　（[保留]を押した時に表示されます。）	
	電話機毎の料金モニタ		[i]→[2][9]→内線番号□…□→[保留]→[i]　・消費税含む （[保留]を押した時に表示されます。）	[指]
	累計金額及び予算使用率のモニタ		[i]→（[2][1]（今回）／[2][2]（前回））→（内線番号□…□（他電話機の料金を見る場合）／[#]グループNo.□□（グループ単位の場合）／[#][#]（トータルの場合））→[保留]→[i] ・消費税含まず （[保留]を押した時に表示されます。）	[指]
	通話料金のクリア		[i]→[3][2]→パスワード□□□□＋（内線番号□…□（他電話機の料金をクリアする場合）／[#]グループNo.□□（グループ単位の場合）／[#][#]（トータルの場合）） →[保留]→[i]	[設][指]
	割引料金適用日	登録	[i]→[9][1]→□（1～8）→（[#]）→□□月□□日→[保留]→[i] （[#]）：平日（1月2日，1月3日を除く）の場合のみ入力する。	[指] [シ]
		解除	[i]→[9][1]→□（1～8）→[フック]→[保留]→[i]	[指] [シ]

予算登録	登録	[i]→[3][1]→パスワード□□□□→（・内線番号□…□（電話機単位の場合）／・[#]グループNo.□□（グループ単位の場合））→[#]→[10万円台][1万円台][千円台][百円台]（予算4桁／（グループ単位の場合5桁）） →[保留]→[i]	[設] [指]
	解除	[i]→[3][1]→パスワード□□□□→（・内線番号□…□（電話機単位の場合）／・[#]グループNo.□□（グループ単位の場合））→[#]→[フック]→[保留]→[i]	[設] [指]

付 録

Giシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…送受器をとる　↳…送受器を置く(戻す)　[外]…外線ボタン　(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）
[内線]…内線ボタン　[フック]…フックボタン　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。
〈 〉…操作中　〔 〕…初期値　[指]…指定電話機(特定電話機)からのみ設定可　[シ]…システム共通機能　▩…機能ボタン

	項目		操作手順	記事
留守モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法	リモコン		〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[1]→リモコンNO.□→□→[#] （1～4）（0：OFF,1：ON）	[設] オプション
	夜間切替		〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[2] →切替操作電話機の内線番号□…□→モード番号□→[#] 0：昼 1：夜間 2：外出 3：休日	[設]
	転送電話機能	転送電話機能切替	〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[3] →切替操作電話機の内線番号□…□→□→[#] 0：転送電話機能なし 1：転送電話機能	[設] オプション
		転送先（A面／B面）の変更	〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[4]（または[5]） →外線番号（またはDILIN番号）□□→モード番号□→短縮番号（A）□□ （00～79） 0：昼 1：夜間 2：外出 3：休日 →短縮番号（B）□□→[#] （00～79）	[設] オプション
		転送先（A面／B面）切替	〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[6] →切替操作電話機の内線番号□…□→切替番号□→[#] （0：A面，1：B面）	[設] オプション
	外線への不在転送先変更		〈一次応答信号を聞く〉[#]→パスワード□□□□→[7] →変更したい電話機の内線番号□…□→短縮番号（A）□□→短縮番号（B）□□ 〔80～99〕　〔80～99〕 →[#]	[設] オプション

販売店名

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しております。